

令和元年

農林水産業気象災害年報

令和3年9月

岩 手 県

目 次

I 気象の概況

1	年間の気象概況	1
2	旬別の気象概況	1
3	主な気象データ	4

II 農林水産物の生育状況

1	水稻	7
2	畑作物（小麦、大豆）	9
3	野菜（きゅうり、トマト、ピーマン、ほうれんそう、ねぎ、 キャベツ、レタス）	11
4	花き（りんどう、小ぎく）	13
5	果樹（りんご、ぶどう）	13
6	飼料作物（牧草、飼料用とうもろこし）	15
7	特用林産物（乾しいたけ、まつたけ）	16
8	水産物（養殖わかめ、養殖こんぶ、養殖ほたてがい、養殖かき）	16

III 農林水産業気象災害の発生状況

1	2月4日の暴風災害	17
2	3月11日の大雨・強風災害	19
3	3月31日から4月1日の降雪災害	22
4	4月5日から6日の強風災害	24
5	4月11日の降雪災害	25
6	4月20日の降霜災害	28
7	5月2日の強風災害	29
8	5月11日の降霜災害	30
9	6月1日の降雹災害	31
10	6月5日の降雹・落雷災害	33
11	6月15日から16日の豪雨災害	36
12	6月22日から23日の豪雨災害	38
13	8月27日から28日の豪雨災害	40
14	10月4日の豪雨災害	43
15	10月12日から13日の台風第19号災害	45
16	10月25日の台風第21号災害	51
17	12月27日の降雪災害	54
18	12月31日の暴風雪災害	56

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

- 1 6月22日から23日の豪雨災害…………… 59
- 2 10月12日から13日の台風第19号災害…………… 59

【参考資料】

- 1 農林水産部災害対策実施マニュアル…………… 61
- 2 農作物等気象災害防止対策本部設置要綱…………… 81
- 3 農業共済事業の種類と仕組み…………… 85
- 4 漁業共済事業の種類と仕組み…………… 87
- 5 森林災害復旧造林事業と被害森林整備事業の概要…………… 90
- 6 森林保険制度と仕組み…………… 91
- 7 農作物災害対策要綱…………… 93
- 8 農作物災害復旧対策事業の実施状況…………… 94
- 9 平成元年以降における農林水産業気象災害…………… 96

I 気象の概況

1 年間の気象概況

【天候の特徴】

- ・ 1月：多照
- ・ 2～3月：高温
- ・ 4月：低温
- ・ 5月：高温、多照
- ・ 6月：多雨
- ・ 7月：少雨
- ・ 8月～10月：高温
- ・ 10月：台風第19号
- ・ 11～12月：多照

1月は、日照時間が平年より多く、降水量は少なかった。

2月は、下旬の気温が高く、また特に沿岸の降水量が少なかった。

3月も、引き続き気温が高く、日照時間も多かった。

4月は、特に内陸で気温が低く、上旬、下旬は曇りや雨または雪の日が多かった。

5月は、日照時間がかなり多く、気温もかなり高かった。

6月は、降水量が多く、23日は内陸を中心に大雨となった。

7月は、沿岸を中心に曇りや雨の日が多かったが、平年と比べ降水量は少なかった。

8月は、中旬以降は曇りや雨の日が多く、27日から28日にかけて沿岸を中心に大雨となった。

9月は、高気圧に覆われた日が多いため気温が高く、日照時間も多かった。降水量はかなり少ない。

10月は、12日から13日にかけて台風第19号により沿岸を中心に大雨、暴風となり甚大な被害が発生した。

11月は、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

12月は、内陸や山沿いを中心に曇りや雨または雪の日が多いところもあったが、月の後半は特に沿岸を中心に晴れた日が多いところもあった。

2 旬別の気象概況 ※岩手県の天候のまとめ（盛岡地方気象台作成）より抜粋

〈1月〉：降水量が少ない、日照時間が長い

上旬：冬型の気圧配置となることが多く、沿岸を中心に晴れた日が多かったが、内陸や山沿いでは曇りや雪または雨の日が多い所もあった。

中旬：高気圧に覆われたこともあり、沿岸を中心に晴れた日が多かったが、内陸や山沿いでは低気圧や冬型の気圧配置等の影響で曇りや雪または雨の日が多い所もあった。

下旬：冬型の気圧配置や低気圧及び寒冷前線の影響で、内陸は山沿いを中心に曇りや雪の日が多く、沿岸は雪の日もあったが晴れた日が多かった。

〈2月〉：気温が高い、沿岸の降水量が少ない

上旬：低気圧や前線及び冬型の気圧配置等の影響で、内陸や山沿いを中心に曇りや雪または雨の日が多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や冬型の気圧配置等の影響で内陸や山沿いを中心に曇りや雪または雨の日が多かった。

下旬：低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨または雪の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多

かった。

〈3月〉：平均気温が高い、日照時間が多い

上旬：低気圧や冬型の気圧配置の影響で曇りや雪または雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

中旬：前半は低気圧や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨または雪の日が多く、後半は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

下旬：高気圧に覆われたこともあったが、低気圧や冬型の気圧配置等の影響もあり、内陸は曇りや雪または雨の日が多く、沿岸は晴れた日が多かった。

〈4月〉：平均気温が低い

上旬：低気圧や気圧の谷等の影響で曇りや雨または雪の日が多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。

〈5月〉：平均気温が高い、日照時間が記録的に多い

上旬：低気圧や前線等の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

下旬：低気圧や寒冷前線の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

〈6月〉：降水量が多い

上旬：前半は高気圧に覆われて晴れた日が多く、後半は低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。

下旬：前半は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や梅雨前線等の影響で曇りや雨の日が多かった。

〈7月〉：降水量が少ない

上旬：晴れた日もあったが、梅雨前線やオホーツク海高気圧等の影響で沿岸を中心に曇りや雨の日が多かった。

中旬：晴れた日もあったが、梅雨前線や低気圧及びオホーツク海高気圧等の影響で沿岸を中心に曇りや雨の日が多かった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、気圧の谷や低気圧等の影響で曇りや雨の日が多かった。

〈8月〉：平均気温が高い、27日から28日の大雨

上旬：後半は低気圧や前線等の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

中旬：前線や低気圧及びオホーツク海高気圧等の影響で曇りや雨の日が多かった。

下旬：前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、27日から28日は沿岸を中心に大雨となり、住家の床上浸水等の被害が発生した。

〈9月〉：平均気温が高い、降水量が少ない、日照時間が多い

上旬：前線や台風第15号等の影響で曇りや雨となることもあったが高気圧に覆われることが多く、沿岸を中心に晴れた日が多かった。

中旬：前線や低気圧の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

下旬：台風第17号や前線の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

〈10月〉：台風第19号の記録的な大雨、平均気温が高い、降水量が多い、日照時間が少ない

上旬：天気は周期的に変化し、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や低気圧等の影響で曇り

や雨の日もあった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や低気圧及び台風の影響で曇りや雨の日が多かった。12日から13日は台風第19号の影響で大雨や暴風となり、人的被害や住家被害等が発生した。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。

<11月>：降水量が少ない、日照時間が多い

上旬：前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

中旬：天気は周期的に変化し、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や低気圧及び冬型の気圧配置の影響で曇りや雨または雪の日もあった。

下旬：前線や低気圧及び冬型の気圧配置の影響で曇りや雨または雪となることもあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

<12月>：日照時間が多い

上旬：冬型の気圧配置が続いたことや前線等の影響で、内陸や山沿いでは曇りや雨または雪の日が多いところがあったが、高気圧に覆われることもあり、沿岸を中心に晴れた日が多いところもあった。

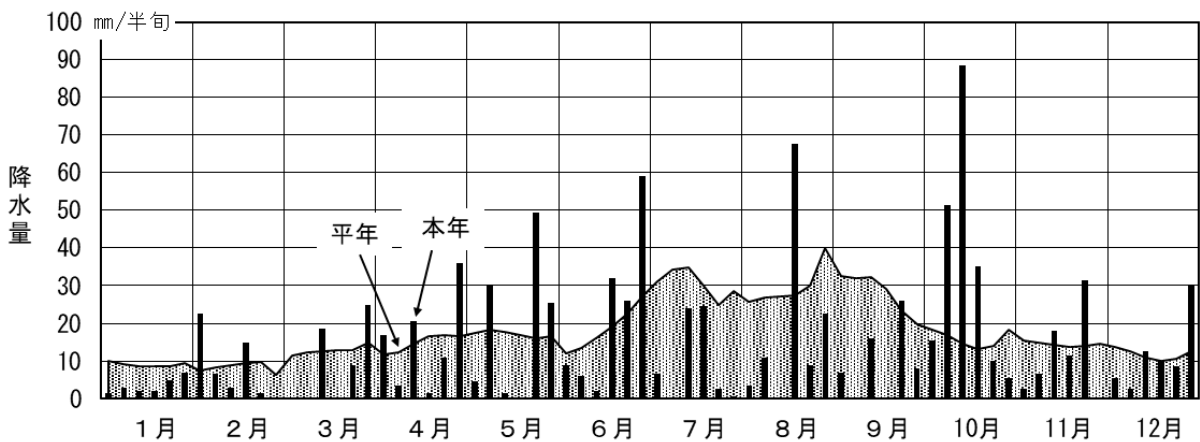
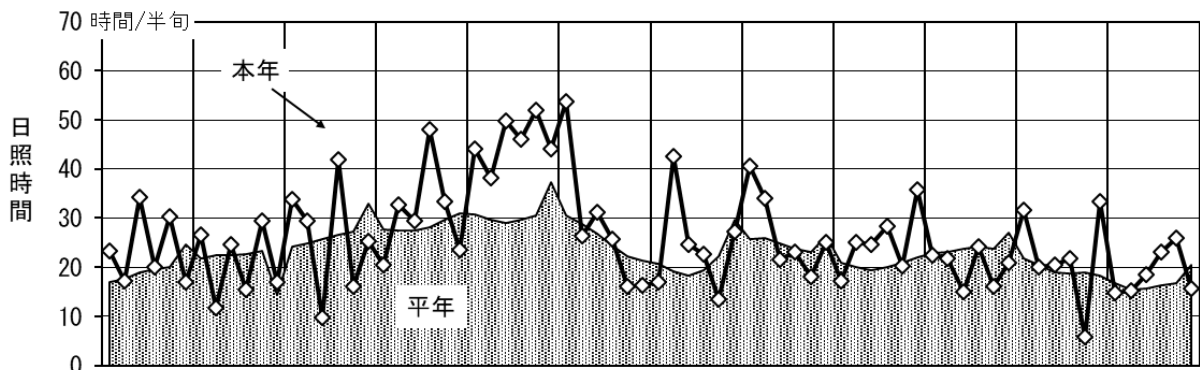
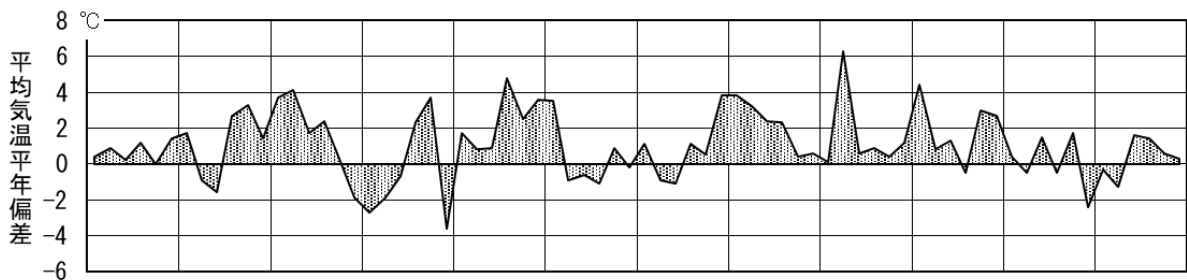
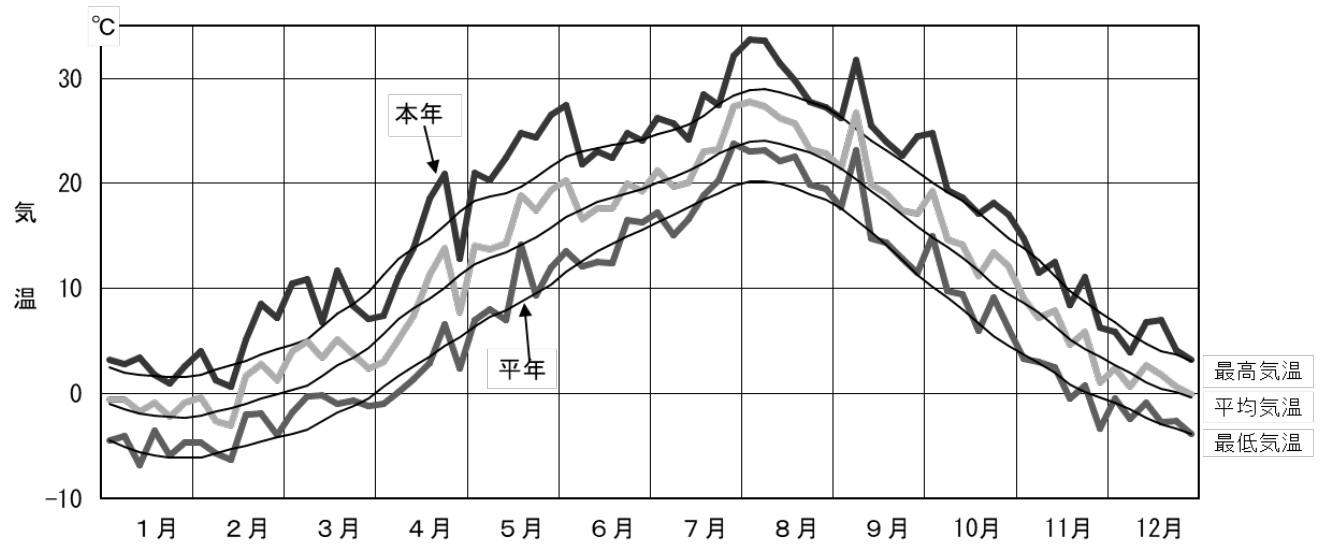
中旬：低気圧や前線及び冬型の気圧配置の影響で曇りや雨または雪の日もあったが、高気圧に覆われることもあり、沿岸を中心に晴れた日が多かった。

下旬：低気圧や前線及び冬型の気圧配置等の影響で曇りや雪または雨の日もあったが、冬型の気圧配置は長続きせず高気圧に覆われることもあり、晴れた日もあった。

3 主な気象データ

(1) 盛岡における気温、降水量、日照時間

2019年の気象経過[旬別：盛岡地方気象台]



(2) 梅雨入り、梅雨明け（東北北部）

	月 日	平 年 (平年差)	昨 年 (昨年差)
梅雨入り	6月15日頃	6月14日頃 (1日遅い)	6月11日頃 (4日遅い)
梅雨明け	7月31日頃	7月28日頃 (3日早い)	7月19日頃 (12日遅い)

(3) 気象官署（盛岡、宮古、大船渡）における記録更新（第5位まで）

① 月平均気温

気象官署	月	記録 (°C)	備 考
大船渡	3	5.3	高い方から5位
盛岡	5	16.4	高い方から2位
宮古	5	15.5	高い方から3位
大船渡	5	15.9	高い方から2位
盛岡	8	25.4	高い方から5位
大船渡	8	24.9	高い方から5位
盛岡	10	14.1	高い方から1位
宮古	10	14.7	高い方から3位
大船渡	10	15.8	高い方から2位

② 日最高気温

気象官署	月 日	記録 (°C)	備 考
盛岡	5月27日	33.6	高い方から1位
盛岡	5月26日	31.9	高い方から4位
大船渡	5月26日	34.7	高い方から1位
大船渡	7月31日	35.2	高い方から4位
大船渡	7月29日	35.2	高い方から5位
宮古	9月8日	33.8	高い方から5位
大船渡	9月10日	33.4	高い方から3位
盛岡	10月2日	29.2	高い方から1位
盛岡	10月1日	27.5	高い方から2位
大船渡	10月2日	28.2	高い方から1位

③ 日最低気温

気象官署	月 日	記録 (°C)	備 考
大船渡	5月27日	18.3	高い方から1位
盛岡	7月29日	25.2	高い方から1位
大船渡	7月29日	24.4	高い方から5位
宮古	8月1日	24.8	高い方から4位
大船渡	8月1日	25.9	高い方から2位
盛岡	9月9日	25.3	高い方から1位
宮古	9月9日	24.0	高い方から5位

気象官署	月 日	記録 (°C)	備 考
大船渡	9月9日	24.0	高い方から5位
盛岡	10月4日	18.8	高い方から3位
宮古	10月4日	19.2	高い方から3位
大船渡	10月4日	19.9	高い方から1位

④ 月間日照時間

気象官署	月	記録 (時間)	備 考
盛岡	5	274.0	多い方から1位 通年の極値更新
宮古	5	275.8	多い方から1位
大船渡	5	278.0	多い方から1位 通年の極値更新

⑤ 月降水量

気象官署	月	記録 (mm)	備 考
宮古	1	1.5	少ない方から1位
大船渡	1	3.0	少ない方から1位
盛岡	9	57.0	少ない方から5位
大船渡	9	60.0	少ない方から3位
盛岡	10	206.0	多い方から5位
宮古	10	675.0	多い方から1位 通年の極値更新
大船渡	10	508.0	多い方から1位
宮古	11	1.5	少ない方から1位

⑥ 日降水量

気象官署	月 日	記録 (mm)	備 考
大船渡	8月8日	58.0	多い方から1位 通年の極値更新
大船渡	8月28日	39.5	多い方から5位
宮古	10月13日	210.5	多い方から3位
宮古	10月12日	200.5	多い方から4位
大船渡	10月12日	130.5	多い方から3位

⑦ 日最大1時間降水量

気象官署	月 日	記録 (mm)	備 考
宮古	10月13日	84.5	多い方から1位 通年の極値更新
宮古	10月4日	55.0	多い方から3位
宮古	10月12日	54.5	多い方から4位
大船渡	10月13日	45.5	多い方から3位
大船渡	10月12日	45.0	多い方から4位
盛岡	11月24日	11.0	多い方から5位
大船渡	11月11日	28.0	多い方から4位

II 農林水産物の生育状況

1 水稲（作況指数は「103」、うるち米1等米比率は93.1%）

(1) 播種期・育苗期（播種盛期は平年並みの4月16日、苗質は平年に比べ良好）

県全体の播種盛期（50%終了）は平年並みの4月16日であった。育苗前半の4月は寒暖差が大きく、後半の5月は高温・多照で経過し、ハウス温度管理の難しい気象条件であったが、移植時の苗の充実度（風乾重/草丈）は平年に比べ良好であった。一方、屋外浸種や無加温育苗が行われている育苗施設では、4月前半の低温による出芽・生育の不揃いもみられた。

【農作物技術情報 号外 低温対策 H31. 4. 4 発行】

浸種期間の4月前半に低温が続く予想となり、低水温浸種による出芽不揃いが懸念されたことから、保温対策を呼びかけるため発行した。

(2) 移植期～活着期（移植盛期は平年並みの5月17日、活着は良好）

県全体の移植盛期（50%）は5月17日、同終期（90%）は5月23日といずれも平年並みであり、概ね適期内に作業が終了した。5月は期間を通じて平均気温・日照時間も平年を大きく上回り、活着は良好であった。

(3) 分けつ期（初期生育は良好）

高温多照は5月から6月第1半月まで続いたが、6月第2～6半月は気温・日照時間も平年並～やや下回り、特に北部が低温傾向となった。東北北部の梅雨入りは6月15日（平年差+1）であった。

各農業改良普及センター設置の生育診断圃における6月13日の県内一斉調査では、草丈はほぼ平年並み（平年差-0.8cm）、茎数はやや多く（平年比106%）、葉数は平年並み（平年差-0.1葉）であった。

また、6月25日調査においても、県平均の草丈は平年並み（平年差+0.6cm）、茎数は多く（平年比112%）、葉数は平年並み（平年差+0.2葉）であったが、低温傾向であった北部では草丈が平年に比べ短かった（平年差-5.0cm）。

(4) 本田生育期の土壌と稲体窒素栄養（6月下旬の窒素吸収量は平年より多い、土壌窒素濃度は平年並み）

6月25日時点の生育診断圃における稲体地上部乾物重・稲体窒素吸収量は、全県で平年を上回ったが（平年比126%）、土壌窒素濃度は平年並に低下していた（平年差-0.3ポイント）。利用可能な土壌窒素は幼穂形成期までに消尽されると見込まれたことから、追肥対応は幼穂形成期重点、窒素成分2kg/10a上限を基本とし（「銀河のしずく」は1kg上限）、低温時は追肥量を減らすか見送る対応とした（R1. 7. 1 稲作技術対策会議）。

(5) 幼穂形成期まで（低温により生育が一時停滞、低温対策を呼びかけ）

7月第1半月は気温・日照時間も平年並～やや上回ったが、幼穂形成期にかかる7月第2～3半月は低温で経過した。幼穂形成期の到達は、県平均で7月12日と平年並であったが、北部では低温の影響により幼穂発育が遅れ、平年に比べ2日遅かった。この期間、生育は停滞し、7月10日一斉調査での草丈は平年よりやや短く（平年差-2.6cm）、茎数は平年並（平年比100%）となった。

また、幼穂形成期における稲体地上部乾物重・窒素濃度・窒素吸収量は、県平均ではほぼ平年並み、北部は乾物重・窒素濃度が平年に比べ少なかったが、概ね、栄養診断基準の目標値の範囲内であった。

【農作物技術情報 号外 低温対策 R1. 7. 5 発行】

県内では中干の時期にあったが、幼穂形成期にかかる7月6日～19日ごろに低温が予想され、籾数減少などの影響が懸念されたことから、前歴深水への移行を呼びかける目的で発行した。

【農作物技術情報 号外 低温対策 R1. 7. 11 発行】

県内では幼穂形成期を迎えていたが、7月19日頃まで低温・日照不足が続く見込みであったことから、減数分裂期に向けた深水管理の呼びかけと、追肥対応や葉いもちに関する注意喚起を行った。

(6) 減数分裂期まで（天候は回復、減数分裂期は平年並～やや遅い）

幼穂形成期から減数分裂期の7月第4～5半旬は平年並の気温・日照時間で推移した。県全体の減数分裂期は7月25日で概ね平年並（平年+1日）であったが、北部は7月27日とやや遅かった（平年+3日）。なお、梅雨明けは平年より3日遅い7月31日頃であった。

(7) 出穂期～成熟期（出穂期は平年に比べ1～2日早い）

7月第6半旬以降、最高・最低気温とも平年を大きく上回ったことから、北部を含め生育ステージの遅れはほぼ解消され、県全体の出穂始期（10%出穂）は7月31日（平年-2日）、盛期（50%出穂）は8月4日（平年-1日）と若干早まった。

出穂から8月第4半旬まで、及び登熟後半の9月第2半旬は高温で推移したことから、登熟は急速に進み、県全体の成熟期は9月19日と平年に比べ早まった（平年差-5日）。

【農作物技術情報 号外 高温対策 R1. 8. 5発行】

出穂直後から高温・少雨傾向が続く予報であったことから、高温登熟対策として地温低下を目的とした水管理を呼びかけるため発行した。

【農作物技術情報 号外 台風対策 R1. 8. 9発行】

日本近海に複数の台風が発生し、接近する恐れがあったことから、事前対策のため発行した。

【農作物技術情報 号外 台風対策 R1. 9. 6発行】

台風第15号が9月9日に最接近する予報を受け、事前対策のため発行した。

【農作物技術情報 号外 台風対策 R1. 9. 20発行】

台風第17号が8月23日～24日に最接近する予報を受け、事前対策のため発行した。

(8) 刈取期（断続的な降雨により刈遅れ傾向、刈取盛期は平年より1日早い10月3日）

県全体の成熟期は平年に比べ5日早かったものの、刈取始期（10%）は9月23日（平年差-2日）、盛期（50%）は10月3日（同-1日）、終期（90%）は10月12日（同-1日）であったが、断続的な降雨や台風の影響でしばしば作業が捗らず、全般に刈遅れの傾向となった。

【農作物技術情報 号外 台風対策 R1. 10. 10発行】

台風第19号が10月12日～13日に接近する予報であったことから、事前対策のため発行した。

【農作物技術情報 号外 台風事後対策 R1. 10. 15発行】

台風第19号通過後の事後対策のため発行した。

(9) 収量及び収量構成要素（作況指数103）

農林水産省が公表した本県の令和元年産水稻の作況指数は「103」（やや良）となった。総収量は平年に比べ「やや多い」、登熟は「平年並み」であった（東北農政局「令和元年産水稻の収穫量（東北）」令和元年12月10日）。

普及センター生育診断圃では、穂数は平年比102%、登熟歩合は2.0ポイント高かったが、千粒重がやや小さく（平年比98%）、総収量は平年並み（同99%）、精玄米重も平年並み（同100%）であった。

(10) 品質（うるち1等米比率93.1%、全国3位）

令和元年産の1等米比率はうるち93.1%、もち84.2%で、うるち米2等以下の格付け理由は「形質」60.6%（総検査数量に占める割合4.2%、白未熟等）、「着色粒」19.0%（同1.3%）、「被害粒」14.2%（同1.0%、胴割粒等）であった。品種別の1等米比率は「ひとめぼれ」92.4%、「あきたこまち」96.4%、「いわてっこ」94.2%、「銀河のしずく」98.6%、「金色の風」98.2%（令和元年12月31日現在、東北農政局）であった。

本年は、登熟前半の気温がかなり高く、また少雨傾向であったために強制落水のような状態となったほ場も多く、さらに成熟期以降の断続的な降雨による刈り取りの遅れと相まって、胴割粒や白未熟粒で落等となる事例がみられ、特に県央・県南部で顕著であった。

(1) 病害虫

① 斑点米カメムシ

発生時期は、5月の高温により越冬世代は早まったが、6～7月が低温基調で推移したため第1・第2世代は平年並であった。

発生量は、出穂期まではほぼ平年並み、登熟後期は平年より低く推移した。一方、牧草地や雑草地では例年より多い傾向であった。

斑点米の発生面積は平年並みであったが、一部地域では「あきたこまち」などの割れ籾の多い品種、あるいはノビエ・ホタルイ類などの残草が多い圃場で被害が多い傾向であった。

② 病害

いもち病は、BLASTAMの感染好適条件の繰返しが1回のみであり、7月下旬から気温が大きく上昇したことから、葉・穂とも発生量は「少」であった。

紋枯病は、7月の低温・少雨の影響で初発は遅かったが、8～9月上旬の高温で垂直進展が進んだ。発生量は「並」であった。

2 畑作物

(1) 小麦

① 令和元年産小麦（平成30年播種）

ア 播種～初期生育

播種作業は連作圃場を中心に9月下旬から始まった。10月に入ってから天候に恵まれたため、作業は順調であった。また、水稻の収穫後で播種が遅れた圃場も11月が高温で少雨傾向であったため、分けつも進み、越冬前に十分な生育量を確保することができた。

イ 越冬後の生育

初雪は遅く、降雪量は少ないまま経過した。根雪期間は県北部、県中南部ともに0日であった。積雪がなく、気温も平年よりも高めに推移したため、生育は旺盛になったが、肥料不足となり葉が黄化したものや、広範囲で白鳥の食害が見られた。

3月に入り、現地では条件の整ったところから積極的に融雪期追肥が実施された。3月下旬～4月初めには低温となり、凍害が心配されたが、大きな影響はなかった。

ウ 茎立～出穂・開花

4月半ばまで気温が低く、生育は一時停滞したが、4月下旬からは好天に恵まれ徐々に生育は回復した。ナンブコムギの縞萎縮病は、越冬前に雨が少なかったことにより感染程度が低かったため、出穂期以降、生育への影響はほとんどみられなかった。幼穂形成期は平年よりも3日程度遅れたが、出穂期は平年並となった。出穂～開花までの期間はやや短く、赤かび病の薬剤防除や追肥作業は概ね適期に行われた。

エ 生育・登熟状況

出穂後も天候に恵まれ、初期の登熟は順調であったが、6月に入ってから低温傾向となり、登熟スピードは緩慢となった。また、生育量が多い圃場が多かったため、強い風雨によって倒伏する圃場が見られた。平年に比べ、成熟期はやや遅く、稈長は長く、穂長はやや短かった。穂数は平年よりも多かった。

オ刈取り状況

収穫作業は6月26日頃から始まり、7月1日以降本格化した。雨の合間を縫って、収穫作業は順調に進んだ。

カ 成熟期調査結果（生育診断圃を中心とした）

- ・出穂 ナンブコムギ平年並み・ゆきちから平年より2日程度遅い。
- ・成熟 ナンブコムギ・ゆきちからとも平年より2日程度遅い。
- ・稈長 ナンブコムギ・ゆきちからとも平年よりやや長い。
- ・穂長 ナンブコムギ・ゆきちからとも平年よりやや短い。
- ・穂数 ナンブコムギ・ゆきちからとも平年より2割程度多い。

キ 収穫量及び検査結果

農林水産省発表による令和元年産県平均単収は、平均収量対比（直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）131の239kg/10aとなった（30年産167kg/10a・対比91、29年産203kg/10a・対比115、28年産214kg/10a・対比122）。

令和元年産麦類の検査結果（令和2年3月末確定値）は、検査数量が9,619t（30年産5,871t、29年産7,834t、28年産8,144t）、一等比率が93.6%（30年産77.5%、29年産89.4%、28年産91.6%）となった。

ク 病害の発生（病虫害防除所調査結果から）

- ・雪腐病：発生圃場率は平年よりも低く、県北部で広く発生が見られたが程度は軽かった。
- ・縞萎縮病、萎縮病：発生圃場率は平年よりも低くなった。2年以上の連作圃場のナンブコムギで発生程度が高かった。
- ・赤かび病：6月中旬の巡回調査では、発生圃場率は平年より高かった。地域別では、県南部で発生圃場率が高かった。

② 令和2年産麦（令和元年播種）

播種作業は連作圃場を中心に9月下旬頃より始まり、播種作業は天候に恵まれたため順調に進んだ。また、播種が遅れた圃場も10月下旬から11月の気温が高く、少雨傾向だったため、越冬前に生育量を確保することができた。初雪は遅く、降雪量は少なく経過し、根雪期間は県北部、県中南部ともに0日であった。

(2) 大豆

① 播種～出芽期

6月中旬以降、降雨の影響が大きく、播種作業に遅れが生じた。特に作付面積の大きい県南部の生産組合では、適期内に作業が終わらず、播種適期を大きく超えて作業が行われたところが見られた。出芽は平年並み～遅れたところが多く、出芽揃いが良くない圃場が散見された。

② 子葉展開期～本葉展開期

6月中旬以降低温となり、生育が緩慢となった。7月に入ってから上中旬の天候は低温、日照不足で経過し、断続的な降雨による湿害が発生した。一転して7月第6半旬からは高温で経過し、水分不足となる圃場も発生するなど、乾湿の変動が激しく、生育はやや遅れた。

③ 開花期

8月に入ってからさらにはさらに干ばつ傾向が強くなり、品種を問わず開花期は遅れた。開花後は高温で日照時間も多かったことから、初期の登熟は順調であった。

④ 莢伸長期～莢肥大期

8月10日に台風の影響を受けて大雨となったが、その後は日照も多く、気温も高く推移したため、生育は順調であった。干ばつのため、平年と比べて主茎長がやや短く、分枝数もやや少なかった。9月以降たびたび台風が日本列島に接近し、前線の影響によって大雨となった。登熟スピードは緩慢になり、倒伏圃場が散見された。

⑤ 黄変期～成熟期、収穫期

気温は平年に比べて高く、台風第19号の影響もあって、降水量は平年と比べ多かった。黄変期は平年並みとなったが、台風や強風の影響を受けて、さらに倒伏は進んだ。

落葉はやや遅く、青立ち株や莢先熟（莢と茎のバランスが悪く、子実水分が低下しているが、茎が青々として水分下がっていない状態）が目立ち、収穫作業は断続的な降雨もあり遅れた。収穫が遅れたことや、倒伏が見られたことから、汚損粒や障害粒が目立った。子実は小粒傾向で、未熟粒も多かった。

⑥ 諸障害の発生状況

ア 紫斑病

平年よりも少発生。種子消毒の徹底、薬剤散布の実施により発生は少なかった。

イ ベと病

昨年に引き続き、シュウリュウを中心に発生した。

ウ 茎疫病

台風後に散見された。

エ 黒根腐病

連作圃場で多く見られる病害であるが、本年の発生は少なかった。

オ ウコンノメイガ

リュウホウを中心に生育が良好な圃場で発生が見られた。

カ マメシンクイガ

平年よりも被害は少なかった。

キ ダイズサヤタマバエ

近年発生が多くなっている。本年も莢への食害が多く見られた。

ク 吸汁性カメムシ類

発生量は平年並みとなった。主な寄生種はホソヘリカメムシ、ブチヒゲカメムシであった。子実調査では、発生圃場率は平年並みであった。

ケ 雑草害

播種時の土壌処理剤はほとんどの圃場で適期に実施されているが、播種時期に雨が多かったため、機械が圃場に入れず防除できなかつた圃場もあった。帰化アサガオ類、アレチウリといった難防除雑草と、大豆バサグラン液剤の効果が劣るヒユ類、シロザの発生が見られた。生育後半にはタデ類の発生が目立ち、連作圃場では、ツユクサやスギナ等の増加が見られた。

⑦ 収量及び品質

農林水産省発表による令和元年産県平均単収は、平均収量対比（直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）95の10aあたり125kgとなった（30年産136kg/10a、29年産116kg/10a、28年産147kg/10a）。

令和元年産大豆の検査結果（令和2年1月末日現在）は、検査数量が3,135 t（30年産4,409 t、29年産3,464 t、28年産5,088 t）、普通大豆の一等比率は58.4%であった（30年産59.5%、29年産24.6%、28年産47.0%）。

3 野菜

(1) きゅうり

露地普通作型では、定植後の6月から7月中旬にかけて曇天日が多く、日照不足や低温により生育が遅れたが、7月下旬以降は一転して高温となり、生育が進み一気に出荷量も増えた。8月中旬以降は、高温による成り疲れや草勢の低下が見られたが、秋以降は気温の低下が遅かったこともあり概ね順調な生育となった。

病害虫では、定植後の低温の影響で黒星病と斑点細菌病が多く見られた。また、一部では、収穫ピーク時の防除遅れ等によりべと病が多発したほ場も見られた。キュウリホモプシス根腐病については、夏期が高温傾向であったことに加え、土壌消毒等の対策技術の実践が進んだこともあり、全体的に被害程度は小さかった。

また、昨年は発生が少なかったフケ果について、今年は夏期の高温に加え、全国的な出荷量の増加に伴い荷動きが悪くなったことも影響し、発生が多くなった。

(2) トマト

雨よけ作型では、一時的な日照不足や低温による着色の遅れなどもあったが、気温の上昇にともなって収穫量も回復した。8月中旬以降は日焼け果や裂果の発生、落花など高温による障害が発生したが、秋以降は気温の低下が遅かったこともあり、最終的に収穫量は前年よりも多くなった。

病害虫では、梅雨時期から灰色かび病の発生が多かった。昨年に発生が多かったかいよう病については、今年も発生が見られたものの昨年よりは少なかった。また、秋以降の気温の低下が遅かったことで、オオタバコガによる被害が遅くまで見られた。

(3) ピーマン

施設作型では4月に一時低温になったが、その後は暖かくなり、定植後は概ね順調な生育となった。露地作型では定植時期の5月中下旬の気温が高く、定植後の活着がスムーズであった。その後6月中旬から7月中旬まで曇天が多く気温も低い傾向であり、ハウス・露地共に生育停滞や草勢低下がみられた。7月下旬から高温経過となったことで生育は回復し、8月上旬には出荷のピークを迎えた。一時収穫量が増えたことによる草勢低下も見られたが、8月下旬には回復し、その後も温暖に推移したため順調な生育となり、出荷量も維持された。今年度は面積の増加もあり、後半の生育が安定したことで、出荷量は前年を上回った。

病害虫は、7月に灰色かび病の発生が多かった。6月以降アブラムシ類やアザミウマ類の発生があったが、被害は少なかった。タバコガも7月以降継続的に発生が確認されたが、被害は少なかった。また、近年特に問題となっている尻腐れ果の発生は、今年も出荷初期や高温期に発生した。

(4) ほうれんそう

4月の低温の影響による生育停滞があり、生育のばらつき等がみられた。その後5～6月は、概ね生育が順調に推移した。7月中旬には低温・寡照となったことから、やや軟弱徒長の傾向がみられ、細い株の出荷となった事例があった。8月に入ってから、一転して高温で経過し生育停滞がみられ、高温・強日射の影響で発芽後の枯死、葉先枯れ等の生理障害が発生した。9月に入ってから、気温が低下してきたことに伴い生育は次第に回復し、その後の生育は概ね順調に推移した。

病害虫は、ケナガコナダニは軽微な被害であったが、7月に入るまで発生が確認される地域がみられた。高温期には萎凋病の発生がみられた。7月からはアザミウマ類、アブラムシ類の発生がみられ、8月に入るとシロオビノメイガ、ヨトウムシの発生も確認された。

(5) ねぎ

早い作型では3月下旬から定植が開始されたが、4月に降雪があったため倒伏等の被害が見られた。5月は高温経過で、順次苗の定植が進み概ね良好な生育となった。6月～7月は降雨の少ない時期もあったが、全体的にねぎに適した冷涼な気温で降雨も適度にあり、生育良好であった。6月下旬に集中豪雨による冠水被害を受けた地域があった。7月下旬から高温乾燥となり生育が停滞したが、8月下旬には回復し、その後温暖な気象により良好な生育が続いた。10月に台風第19号による倒伏等の被害があった。

病害は、6月にべと病の発生が多く、9月以降黄色斑紋病斑が見られた。虫害については6月下旬以降ネギアザミウマ、ネギハモグリバエの発生が多かった。

(6) キャベツ

高冷地キャベツの定植開始は平年並みの4月中旬となった。5月中旬に強風で茎が折れるほ場もあったが、好天に恵まれ生育は良好であった。6月上旬は少雨による一時的な生育停滞もあったが、例年通り6月下旬の出荷開始となった。7月は上旬の高温・乾燥と中旬の降雨により、裂球や2L品が増加し、2L品単価の下落に伴う圃場廃棄が見られた。8月上旬は高温・乾燥が続き、定植苗の枯死が見られた。8月下旬以降気温の低下とともに順調な生育となったが、8月上旬の苗枯死により10月の出荷量は減少傾向となった。

病害虫は根朽病の発生が6月に見られ、7月上旬に一部で根こぶ病見られた。8月下旬から9月上旬に株腐病の発生があったが平年並からやや少ない状況だった。9月中旬以降べと病の発生が見られた。タマナギンウワバは栽培期間を通し発生し、コナガの被害は少なかったものの、5月中旬から6月中旬及び8月上旬から9月中旬にかけて発生が見られた。

(7) レタス

平場の春レタスは4月の低温・降雪の影響による結球進展の遅れなどが見られ、概ね1～2週間程度生育の遅れが見られた。

高冷地レタスは、低温による育苗への影響は見られず、定植作業も順調に進んだ。生育は概ね順調で、8月に入り急な高温による萎れの発生が一部で見られたが、9月には気温も低下し、その後はまた順調な生育となった。

病害は6月中旬頃よりべと病、斑点細菌病、すそ枯れ病の発生が7月頃まで見られた。7月下旬からは、腐敗病、軟腐病の発生が始まり、8月には腐敗病、軟腐病により一時、出荷量の落ち込みも見られた。害虫は、8月頃からオオタバコガ、アザミウマ類の発生が見られた。

4 花き

(1) りんどう

① 育苗・定植期

2月中旬から3月中旬にかけて平年よりも高温傾向で推移し、積雪量も少なかったことから、萌芽期は平年より早まった地域が多かった。3月下旬から4月中旬までは低温傾向で推移し、降雪もあったため、展葉期は平年よりも遅れた地域が多かった。梅雨入りした6月中旬から7月中旬にかけては、低温傾向が続いたため生育が緩慢となり、7月下旬から8月中旬にかけては、一転して極端な高温と畑の乾燥が続いたため生育が抑制された。8月下旬以降は気温が平年並みに戻り、適度な降雨もあったため生育は回復した。品種全般に草丈や節数等の生育量は概ね確保され、平年並みとなった。

② 開花期

8月盆需要期向け品種の開花期は平年よりも遅れ、彼岸需要期向けの開花は平年並みから平年よりもやや遅れた。

③ 病虫害

病害については全般に少発傾向だったが、一部地域で黒斑病が多発した。

害虫については全般に平年並みから少発傾向だったが、一部地域でハダニ類とオオタバコガが多発した。

④ その他

県南部を中心として、早生種を主体に花卉の高温障害（花色の退色、花蕾の奇形）が発生した。

(2) 小ぎく

① 育苗・定植期

2月中旬から3月中旬にかけて平年よりも高温傾向で推移したため、採穂用親株は順調に生育し、8月咲品種の挿し芽は概ね平年どおりの時期に行われたが、3月下旬から4月中旬の低温により、一部地域で挿し芽の発根が遅れ、定植時期が平年よりも遅れた。9月咲品種は育苗、定植ともに順調で、概ね平年並の定植時期となった。

② 生育期・開花期

定植期以降、生育適温で推移し適度な降雨もあったため生育は全般に順調で、8月咲品種の開花は平年より早まった。ただし、7月下旬から8月中旬にかけての極端な高温と乾燥により、8月咲品種のうちでも比較的開花期の遅いものは開花抑制がみられた。この時期の高温と乾燥は9月咲品種にも影響して生育が抑制されたため、開花期は平年並みから平年よりもやや遅れた。

③ 病虫害

病害については、一部地域で白さび病とべと病が親株や育苗時から多発し、本圃でも定植直後から発生する例がみられた。

害虫については、一部地域でアブラムシ類とハダニ類が多発し、一部圃場で出荷に影響する例もみられた。

5 果樹

(1) りんご

① 花芽の状況

前年の開花量、着果量が少なかったこと、7月の日照時間が多かったことにより、りんごの花芽率は、「つがる」、「ジョナゴールド」はほぼ平年並、「ふじ」は平年よりやや高め、前年と比較すると、「つがる」はやや低いものの、「ジョナゴールド」、「ふじ」はやや高めとなった。また、弱小花芽率は、いずれの品種も平年、前年よりも低くなった。なお、一部の地域や品種によっては、花芽の褐変が確認された。

② 発芽期から展葉期

3月中旬までの高温により県南部の発芽は記録的に早まったが、3月下旬から4月上旬の低温で生育が停滞し、「ふじ」の発芽日は県平均で4月4日となり、平年より4日早く、前年よりは4日遅くなった。

発芽以降は、気温が平年より低めで経過し、「ふじ」の展葉日は4月15日となり、平年より2日早く、前年より6日遅くなった。

③ 開花期

「ふじ」の開花始期は5月4日となり、平年より3日早く、前年より5日遅くなった。今年の特徴として、例年より地域間、品種間差が少なく、開花が揃っていた。これは、4月下旬の低温で生育が抑制されていた花が、5月に入ってから高温により生育が揃ったためと考えられる。

「ふじ」の満開期は県平均で5月7日となり、平年より3日早く、前年より4日遅くなった。しかし、隔年結果（前年7月の高温乾燥、着果過多等）により、極端に開花量が少ない樹も例年以上に多く観察された。

④ 結実

「ふじ」で花数及び花そう結実率はほぼ平年並となったが、中心果結実率は平年を10%近く下回った。その要因として4月の凍霜害の影響、開花期間中の5月6、7日の降雨の影響と推察された。

なお、今年産「ふじ」の花芽率は77%と平年よりやや高めであり、花芽調査による花そう結実率は93%なので、平年並の作柄と推測した。

⑤ 果実生育

果実生育は、生育初期（5～6月）の高温と適度な降雨により順調に肥大したため、夏季の高温、少雨の影響でやや停滞したものの、平年並み以上となった。

品種別では、早生種の「つがる」は平年比100%、前年比100%と平年並かつ前年並、中生種の「ジョナゴールド」は平年比102%、前年比101%と平年よりやや大きくほぼ前年並となった。

晩生種の「ふじ」は平年比102%、前年比100%と平年よりやや大きくほぼ前年並となった。

⑥ 収穫期

早生種の「つがる」は、開花日が概ね平年並みであったこと、収穫期の果実品質が硬度、糖度、デンプン指数ともに平年並みだったことから、ほぼ平年並で収穫期を迎えた。一方、高温の影響で着色は遅れた。

中生種の「ジョナゴールド」は、9月中の果実品質が硬度はやや高く糖度はやや低いなど、熟期の進みは遅れていたが、収穫期はほぼ平年並みの果実品質となった。一方、9～10月は高温で経過したため、着色は遅れた。

晩生種の「ふじ」では、果実品質が糖度は平年より高くなったものの、硬度、デンプン指数はほぼ平年並みであったことから、収穫期は概ね平年並みとなった。一方、9～10月にかけて気温が高めで経過したため、「ふじ」の着色や蜜入りは平年より進みにくい状態であった。なお、晩生種は、台風19号の強風の影響で、キズ・打撲果が多かった。

⑦ 気象災害

展葉期を過ぎグリーンクラスター期前後の4月20日朝に、県内広く気温が低下し、りんご中心花の障害（欠損、めしべ、おしべの障害、花梗の短軸化など）が確認された。

6月上旬には大気の状態が不安定となり、県内各地で降雹が見られ、りんごへの打撲被害が確認された。

10月12～13日の台風第19号の影響では、県内広い範囲で暴風となったため、りんごの落果・倒木被害が発生した。県全体のりんごの被害額は2億6千万円に上るなど、大きな気象災害となった。

⑧ 病害虫

病害では、全県的に褐斑病の発生が多いものの、前年よりはやや少ない傾向となった。前年度から県北部で発生が多くなった黒星病は、被害程度の大きな園地は無かったが、県中部に拡大する傾向が認められた。その他の病害はほぼ平年並みであった。

虫害では、当初被害が懸念されたカメムシ類は少なく、シンクイムシ類の被害果が平年より多い傾向であった。ハダニ類の発生は、平年並みから少ない程度であったが、園地間差が非常に大きい傾向であった。

⑨ 作柄評価

作柄について、全農岩手県本部の取扱実績（令和2年2月末時点）から、数量で前年対比87%となり、これは台風第19号の被害で、県南部を中心に落果による減収や傷果等による品質低下によるものである。

また、販売単価は前年比106%となり、これは全国的な数量の減少や台風の影響もあって、概ね堅調な販売が晩生種まで維持された。

(2) ぶどう

① 発芽期から展葉期

4月下旬の低温の影響により、発芽期は5月3日と平年並で、生育が早かった前年より5日程度遅れた。

発芽以降の5月上旬は気温が高めで経過したため展葉期は5月9日と平年並、前年よりは6日遅くなった。

② 開花期から結実期

5月中下旬の記録的な高温で生育は大幅に進み、開花始めは6月5日と平年より9日、満開期は平年より10日早まり、平成27年に次いで観測史上2番目に早い開花となった。なお、開花期間中が比較的好天に恵まれたため、結実率は平年より高かった。

③ 新梢伸長期

5月の気温が高めで経過したため、初期生育はやや促進されたものの、夏季の高温少雨の影響から収穫期時点ではほぼ平年並となった。また、高温少雨の影響により、果実生育（房長・果径）は平年よりやや小さくなった。

④ 収穫期

「キャンベルアーリー」の着色は、始期で8月3日と平年より4日早く前年並み、終期は9月4日で平年より4日早く、前年より5日遅くなった。糖度は平年より高く熟度の進みは平年より早まった。

一方、地域や品種によっては8月上中旬の高温の影響で着色が進まず、果実の熟度より収穫は遅れた。また、収穫が遅れたことにより、8月20日前後のまとまった降雨の影響で、地域や品種によっては裂果の発生も見られた。

⑤ 病害虫

生育期間に降水量が少なかったこともあり、全般的に病害虫の発生は少なかった。

⑥ 作柄評価

生産量は、全農岩手県本部の取扱実績（令和元年12月末時点）から、前年比124%の出荷数量となったが、これは前年度裂果の発生などで出荷数量が減り、相対的に割合が高くなったためである。ただし、今年は一昨年のお出荷収量も上回っており、近年では出荷数量が多い年だった。販売単価については前年比98%であり、概ね堅調な単価が維持された。

6 飼料作物

(1) 牧草

① 1番草

生育はやや早い～平年並であった。収量は不良～平年並みと地域によりバラつきが大きかった。5月下旬以降の晴天により収穫が作業は順調に進んだが、生育期間中の降水量不足のため収量が少なくなった地域が多かった。

② 2番草

生育は、降水量不足のため、遅れた地域が一部あったが、その他の地域では平年並であった。収量は不良～やや良好と地域によりバラつきが大きかった。天候不順のため、収穫が遅れた地域もあった。

③ 3番草

生育は、生育期間中の天候に恵まれ、概ね平年並であった。収量は、やや不良～平年並であった。県南の一部地域では、2番草以降の生育不良のため、収量が平年よりやや不良となった。

(2) 飼料用とうもろこし

① 播種～生育・出穂期

消雪は早く、播種は5月上旬ごろから開始された、播種盛期は5月中旬となった。一部の地域では、播種後の少雨により、発芽後の生育遅延がみられた。7月中旬までの天候不順により生育が遅れ気味であったが、その後の天候回復により草丈が伸長し生育は平年並みとなった。出穂期は沿岸では遅延が見られたが、その他の地域では平年並だった。

② 収穫期

収穫は9月上旬より開始され、一部の地域で台風による収穫作業の中断があったが、概ね収穫作業は順調に進んだ。収量はやや良好～平年並であった。

③ 気象災害の発生状況

台風第19号により作業遅延が認められたが、その後の天候の回復で作業は順調に進んだ。

7 特用林産物

(1) 乾しいたけ

発生時期である4月は降雨が少なく、また、強風と寒暖差による過乾燥状態が続いたため、原木しいたけの生産量は、平成30年を下回る77 t（令和2年8月31日・林野庁公表）となった。

(2) まつたけ

発生時期である9月の気温上昇と少雨により、発生不良が見られ、生産量は不作であった平成30年の9.0tを大幅に下回る3.1 t（令和2年8月31日・林野庁公表）となった。

8 水産物

(1) 養殖わかめ

平成30年の秋以降、例年より水温が高めに推移したこと等により種苗の芽落ちが発生し、生産量は前年を下回る10,718 t（岩手県漁業協同組合連合会共販実績）となった。

(2) 養殖こんぶ

生育不良の発生もなく順調に生長し、生産量は前年並みの6,119 t（岩手県漁業協同組合連合会共販実績）となった。

(3) 養殖ほたてがい

中南部の海域を中心に種苗の変形・へい死が発生したこと等により、生産量は前年を下回る1,773 t（岩手県漁業協同組合連合会共販実績）となった。

(4) 養殖かき

成貝出荷が順調に行われ、生産量は前年を上回る5,856 t（県水産振興課調べ）となった。

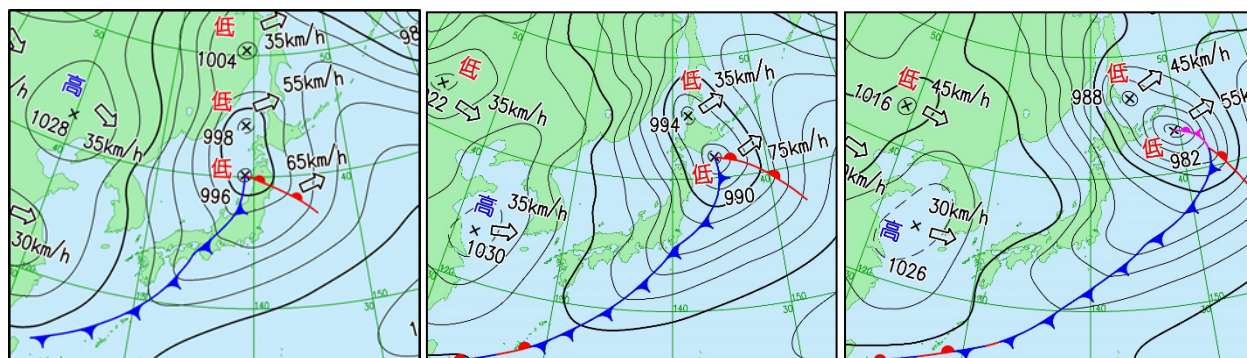
Ⅲ 農林水産業気象災害の発生状況

1 2月4日の暴風災害

(1) 気象概況

2月4日、前線を伴う低気圧が秋田沖にあって発達しながら三陸沖へ進んだ。低気圧の通過後、北日本は強い冬型の気圧配置となった。このため岩手県内は広い範囲で西よりの風が強まった。

○ 速報天気図

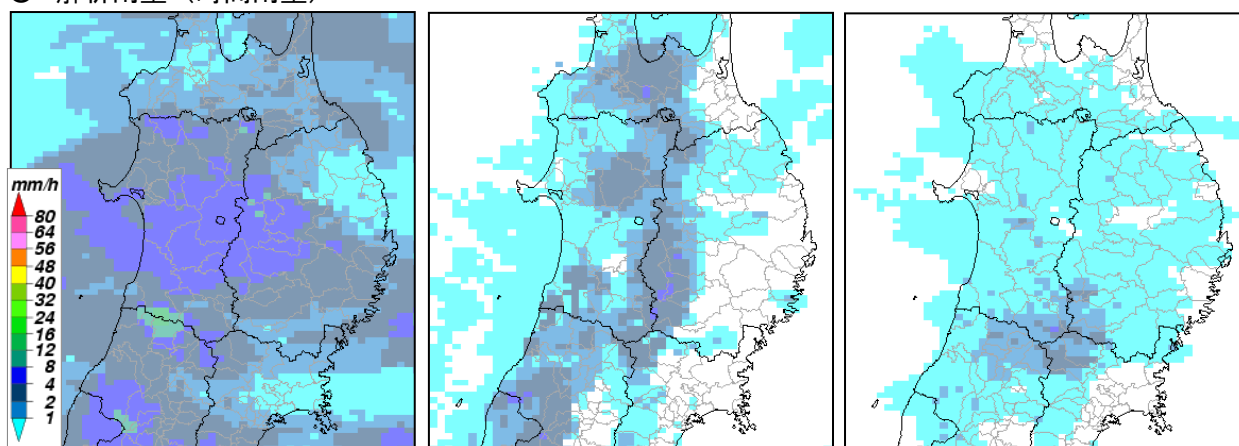


4日 03時

4日 09時

4日 15時

○ 解析雨量（時間雨量）



4日 03時

4日 09時

4日 15時

○ 警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(2月4日)

種別	地域
暴風雪	内陸
暴風	沿岸北部、沿岸南部
風雪	内陸
強風	岩手県
なだれ	二戸地域、盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市
乾燥	沿岸北部、沿岸南部
濃霧	岩手県
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市

○ 岩手県気象情報の発表状況(2月3日から4日)

発表日	時 分	標 題
2月3日	17時07分	暴風に関する岩手県気象情報 第1号
2月4日	05時33分	暴風に関する岩手県気象情報 第2号
2月4日	08時39分	暴風に関する岩手県気象情報 第3号
2月4日	10時28分	暴風雪に関する岩手県気象情報 第4号
2月4日	14時11分	暴風に関する岩手県気象情報 第5号
2月4日	16時30分	暴風に関する岩手県気象情報 第6号
2月4日	22時44分	暴風に関する岩手県気象情報 第7号

○ 主な地点の日最大風速・風向(16方位)と日最大瞬間風速・風向(16方位)(2月4日)

地点名	最大風速(m/s) (風向 起時)	最大瞬間風速(m/s) (風向 起時)
久慈	14.2 (西南西 4日07時51分)	24.9 (西 4日07時04分)
小本	13.1 (南西 4日07時32分)	22.3 (南西 4日07時26分)
盛岡	14.0 (西南西 4日07時07分)	25.9 (西南西 4日07時02分)
若柳	14.5 (西北西 4日08時47分)	23.9 (西北西 4日09時42分)
江刺	13.5 (西北西 4日10時38分)	20.0 (西北西 4日10時33分)
大船渡	10.7 (北北西 4日10時37分)	23.7 (北北西 4日11時00分)

(2) 被害状況

(単位：千円)

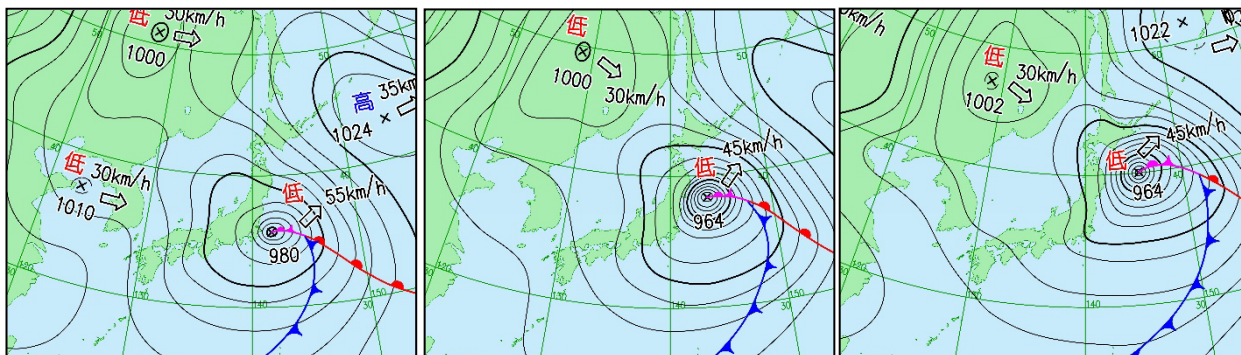
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農業施設	2,356	パイプハウス 42 棟	奥州市、一関市、矢巾町等 9 市町村
水産業	水産施設	180	水産関係施設 1 箇所	釜石市
	漁船	400	漁船 2 隻	釜石市
計		2,936		10 市町村

2 3月11日の大雨・強風災害

(1) 気象概況

3月11日、関東の東の低気圧が発達しながら東北東へ進み、夜には三陸沖へ達した。この低気圧の影響で沿岸では暴風雨となった。

○ 速報天気図

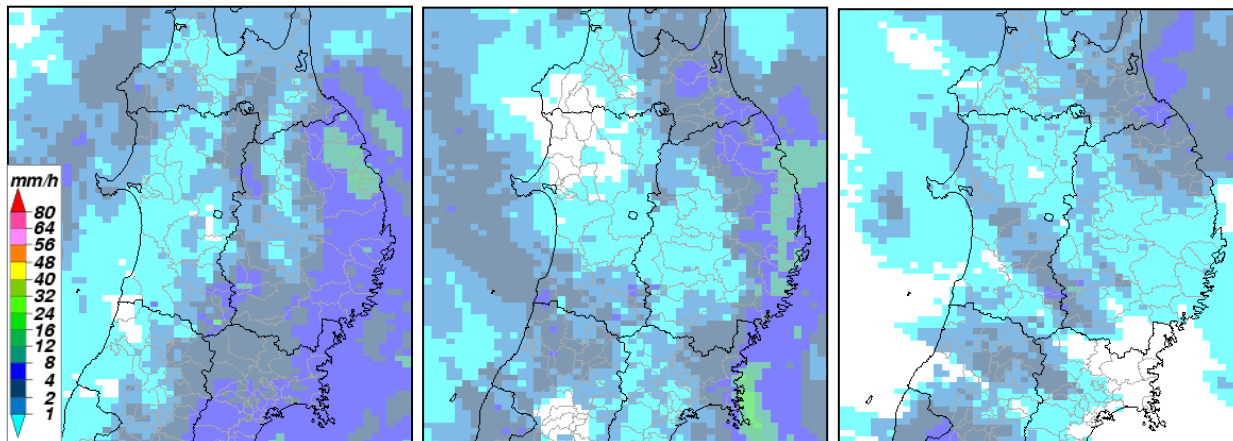


11日 09時

11日 15時

11日 21時

○ 解析雨量（時間雨量）



11日 09時

11日 15時

11日 21時

○ 警報（赤）・注意報（黄）の発表状況（3月11日）

種別	地域
暴風	沿岸北部、沿岸南部
洪水	洋野町
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雪	二戸地域、盛岡地域、沿岸北部
着雪	二戸地域、盛岡地域、沿岸北部
風雪	二戸地域、盛岡地域、沿岸北部
強風	岩手県
なだれ	二戸地域、盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市
大雨	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
洪水	九戸村、久慈市、洋野町、宮古市、岩泉町、釜石地域、大船渡市
融雪	内陸
濃霧	岩手県
高潮	宮古市、山田町、大槌町
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市

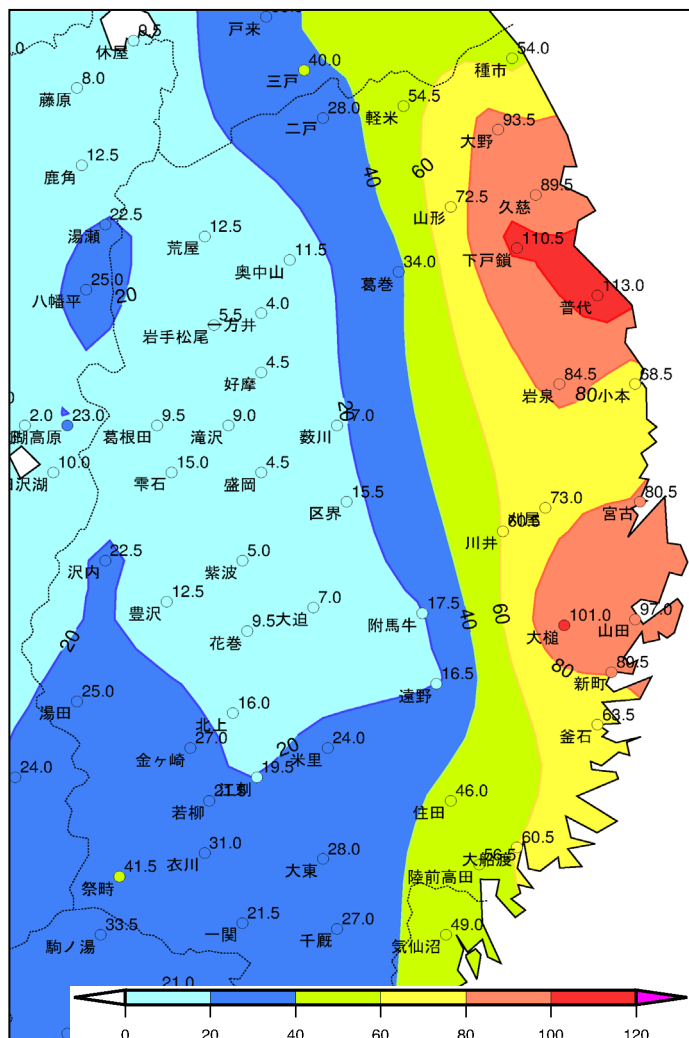
○ 岩手県気象情報の発表状況（3月10日から11日）

発表日	時 分	標 題
3月10日	06時21分	暴風と高波に関する岩手県気象情報 第1号
3月10日	17時22分	暴風と高波及び融雪に関する岩手県気象情報 第2号
3月11日	05時50分	暴風と高波及び融雪に関する岩手県気象情報 第3号
3月11日	17時20分	暴風と高波及び大雨に関する岩手県気象情報 第4号
3月11日	23時24分	暴風と高波及び大雨に関する岩手県気象情報 第5号

○ 主な地点の日降水量と日最大1時間降水量（3月11日）

地点名	日降水量(mm)	日最大1時間降水量(mm) (起時)
大野	93.5	11.0 (15時58分)
久慈	89.5	11.0 (16時17分)
下戸鎖	110.5	12.5 (13時28分)
普代	113.0	14.0 (16時06分)
岩泉	84.5	10.5 (14時49分)
宮古	80.5	9.0 (08時24分)
大槌	101.0	12.5 (14時32分)
山田	97.0	14.5 (16時16分)
新町	80.5	9.5 (15時44分)
陸前高田	56.5	13.5 (14時03分)

○ 日降水量分布図（3月11日）



○ 主な地点の日最大風速・風向（16方位）と日最大瞬間風速・風向（16方位）

（3月11日～12日）

地点名	最大風速(m/s)（風向 起時）	最大瞬間風速(m/s)（風向 起時）
小本	10.0（北東 11日07時46分）	14.8（北東 11日07時39分）
盛岡	11.9（北 11日15時10分）	18.8（北 11日15時09分）
宮古	9.9（北 11日13時57分）	20.4（北 11日13時55分）
紫波	12.6（北北西 11日16時01分）	18.6（北北西 11日14時57分）
花巻	11.5（北北東 11日18時49分）	15.9（北 11日16時29分）
若柳	12.1（西北西 12日02時36分）	20.1（西 12日02時36分）
大船渡	13.7（北北東 11日14時01分）	22.6（北 11日14時11分）

(2) 被害状況

（単位：千円）

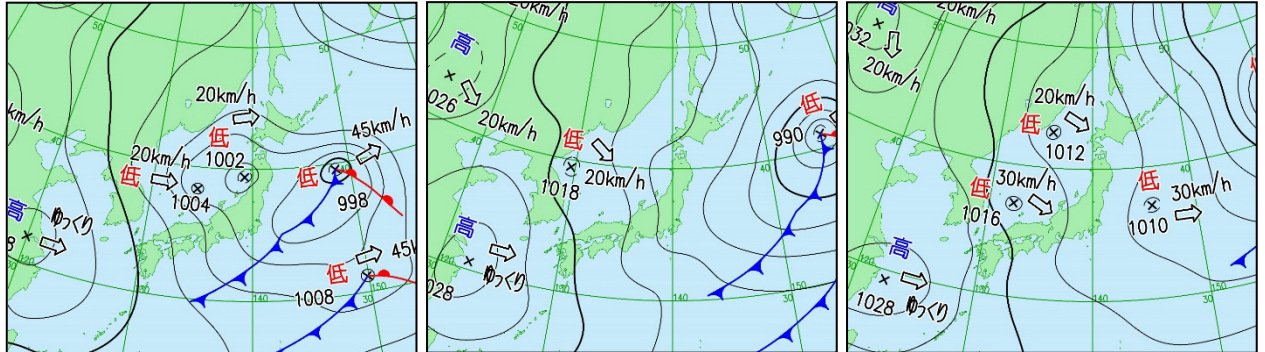
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農業施設	529	パイプハウス等6棟	奥州市、一関市、金ヶ崎町
水産業	養殖施設	1,050	養殖施設18台	宮古市、普代村
	漁港施設	16,250	漁港施設6箇所	久慈市、宮古市、大槌町
計		17,829		4市2町1村

3 3月31日から4月1日の降雪災害

(1) 気象概況

3月31日から4月1日にかけて、秋田県沖の低気圧と三陸沖の低気圧が北東へ進んだため、岩手県内は雪や雨となった。

○ 速報天気図

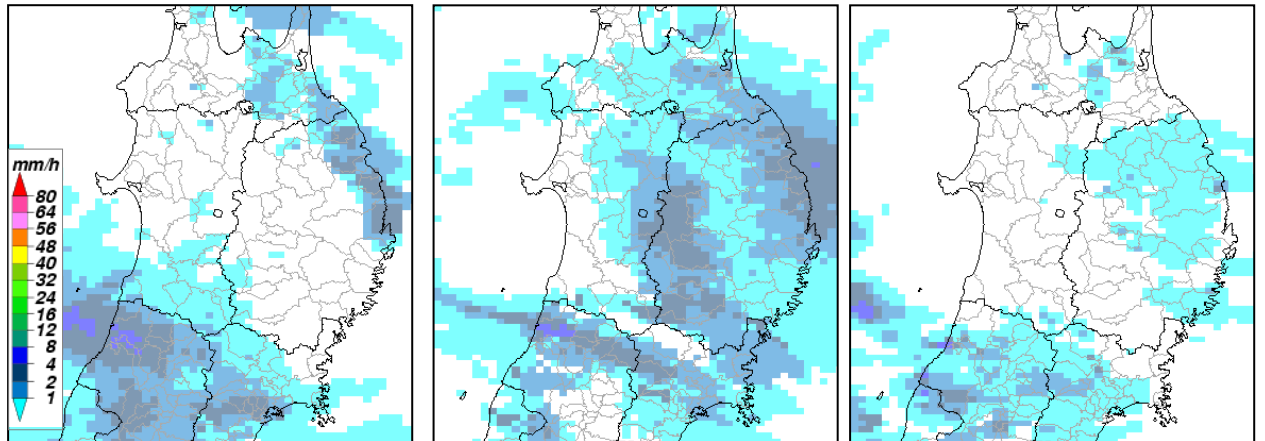


31日 09時

31日 21時

1日 09時

○ 解析雨量 (時間雨量)



31日 09時

31日 21時

1日 09時

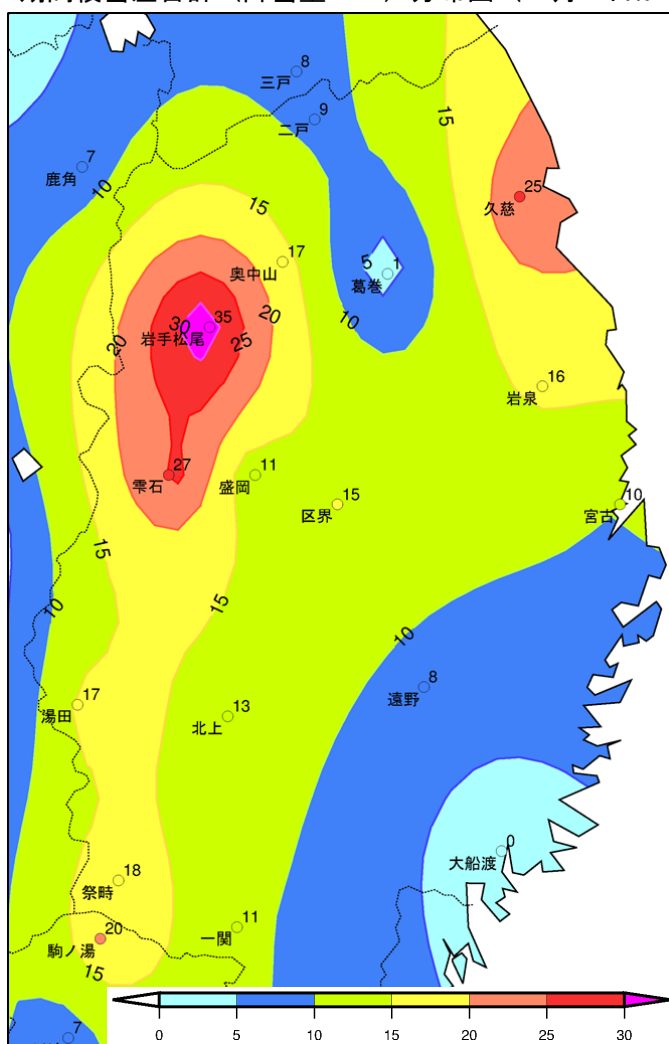
○ 注意報(黄)の発表状況(3月31日から4月1日)

種別	地域
大雪	二戸地域、盛岡地域、花北地域、遠野市、奥州金ヶ崎地域、一関市、沿岸北部、釜石地域
着雪	二戸地域、盛岡地域、花北地域、遠野市、奥州金ヶ崎地域、一関市、沿岸北部、釜石地域
風雪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
なだれ	盛岡地域
濃霧	岩手県
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市

○ 主な地点の期間積雪差合計（降雪量合計）と期間最深積雪（3月31日から4月1日）

地点名	積雪差合計(cm)	最深積雪 (cm) (起時)
久慈	25	26 (3月31日 24時)
奥中山	17	24 (4月01日 8時)
岩手松尾	35	38 (4月01日 7時)
雫石	27	26 (4月01日 2時)
湯田	17	83 (3月31日 24時)
祭時	18	56 (4月01日 6時)

○ 期間積雪差合計（降雪量：cm）分布図（3月31日から4月1日）



(2) 被害状況

(単位：千円)

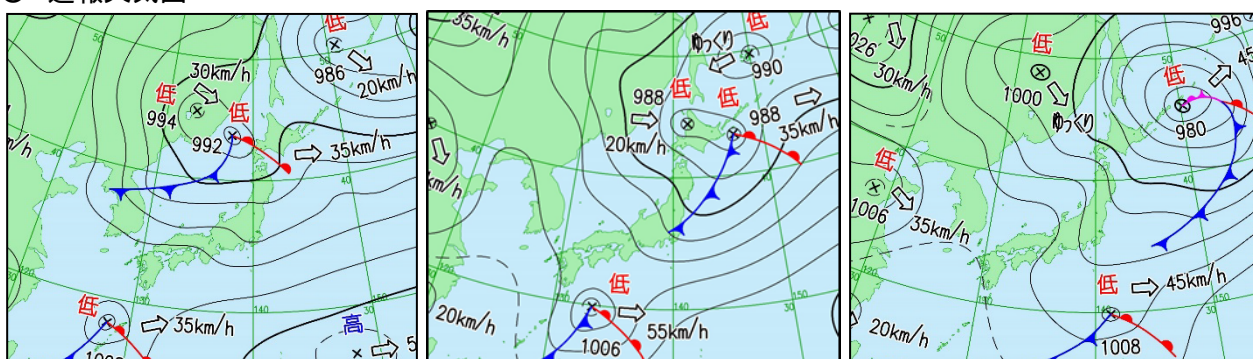
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	1,000	パイプハウス2棟	八幡平市
計		1,000		1市

4 4月5日から6日の強風災害

(1) 気象概況

4月5日から6日にかけて、日本海北部の低気圧が千島近海へ進みこの低気圧からのびる寒冷前線が北日本を通過し、岩手県内は風が強くなった。

○ 速報天気図



5日09時

5日21時

6日09時

○ 注意報(黄)の発表状況(4月5日から6日)

種別	地域
強風	岩手県
雷	内陸
なだれ	八幡平市、雫石町、花北地域、奥州金ケ崎地域、一関市
乾燥	沿岸北部、沿岸南部
濃霧	岩手県

○ 主な地点の期間最大風速・風向(16方位)と期間最大瞬間風速・風向(16方位)(4月5日から6日)

地点名	最大風速(m/s) (風向 起時)	最大瞬間風速(m/s) (風向 起時)
久慈	12.9 (西 6日13時13分)	21.6 (西 6日13時13分)
紫波	13.3 (西 6日22時57分)	21.2 (西 6日21時43分)
遠野	14.1 (西 6日10時00分)	22.0 (西北西 6日09時38分)
新町	12.5 (西北西 6日07時56分)	24.4 (北西 6日08時00分)
若柳	15.1 (西 6日12時10分)	24.1 (西北西 6日09時46分)
大船渡	13.5 (北北西 6日08時38分)	26.8 (北西 6日12時17分)

(2) 被害状況

(単位:千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農業施設	1,500	パイプハウス 17棟	一関市、陸前高田市、金ケ崎町
水産業 水産施設	140	水産関係施設 1箇所	大槌町
計	1,640		2市2町

5 4月11日の降雪災害

(1) 気象概況

4月10日に東海道沖にあった低気圧が、11日にかけて発達しながら関東の東へ進んだため、雨や雪が降った。

○ 速報天気図

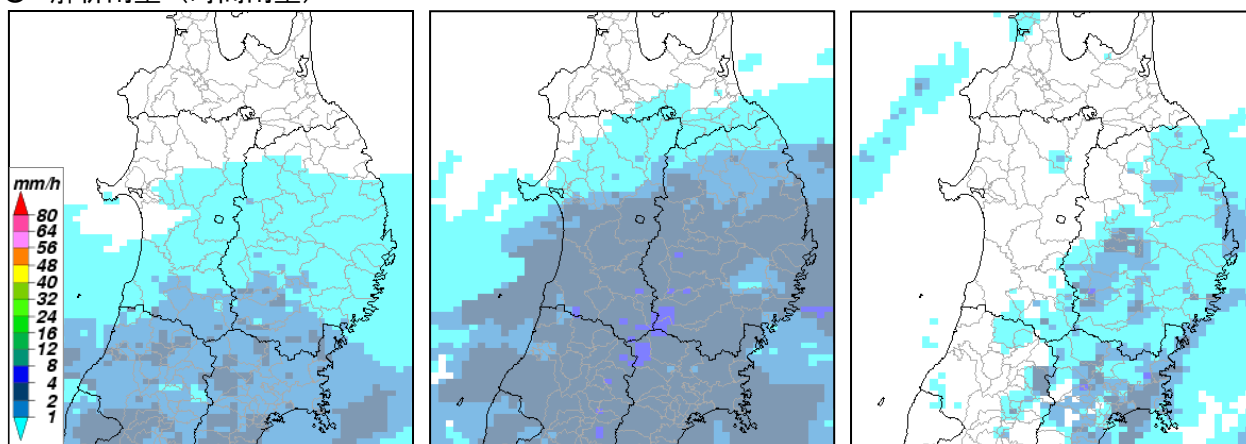


10日 21時

11日 03時

11日 09時

○ 解析雨量（時間雨量）



10日 21時

11日 03時

11日 09時

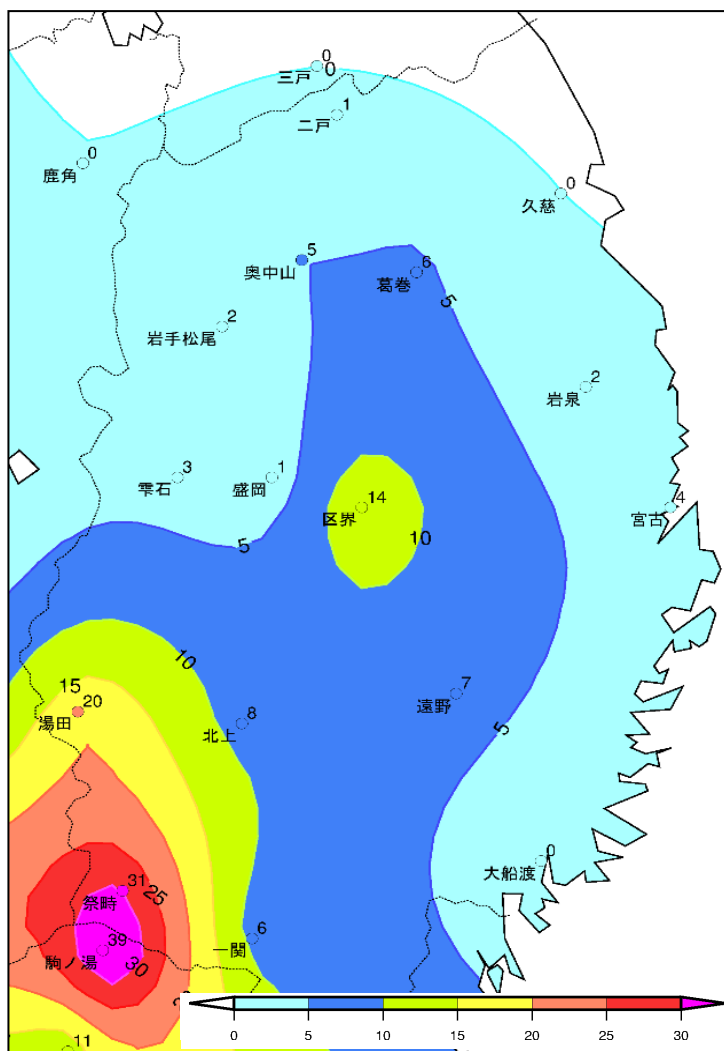
○ 注意報(黄)の発表状況(4月10日から11日)

種別	地域
大雪	花北地域、遠野市、一関市
着雪	花北地域、遠野市、一関市
なだれ	八幡平市、雫石町、花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市
濃霧	岩手県

○ 主な地点の期間積雪差合計（降雪量合計：cm）と期間最深積雪（cm） （4月10日から11日）

地点名	積雪差合計(cm)	最深積雪(cm)（起時）
区界	14	21（4月11日 8時）
湯田	20	62（4月11日 6時）
祭時	31	31（4月11日 7時）

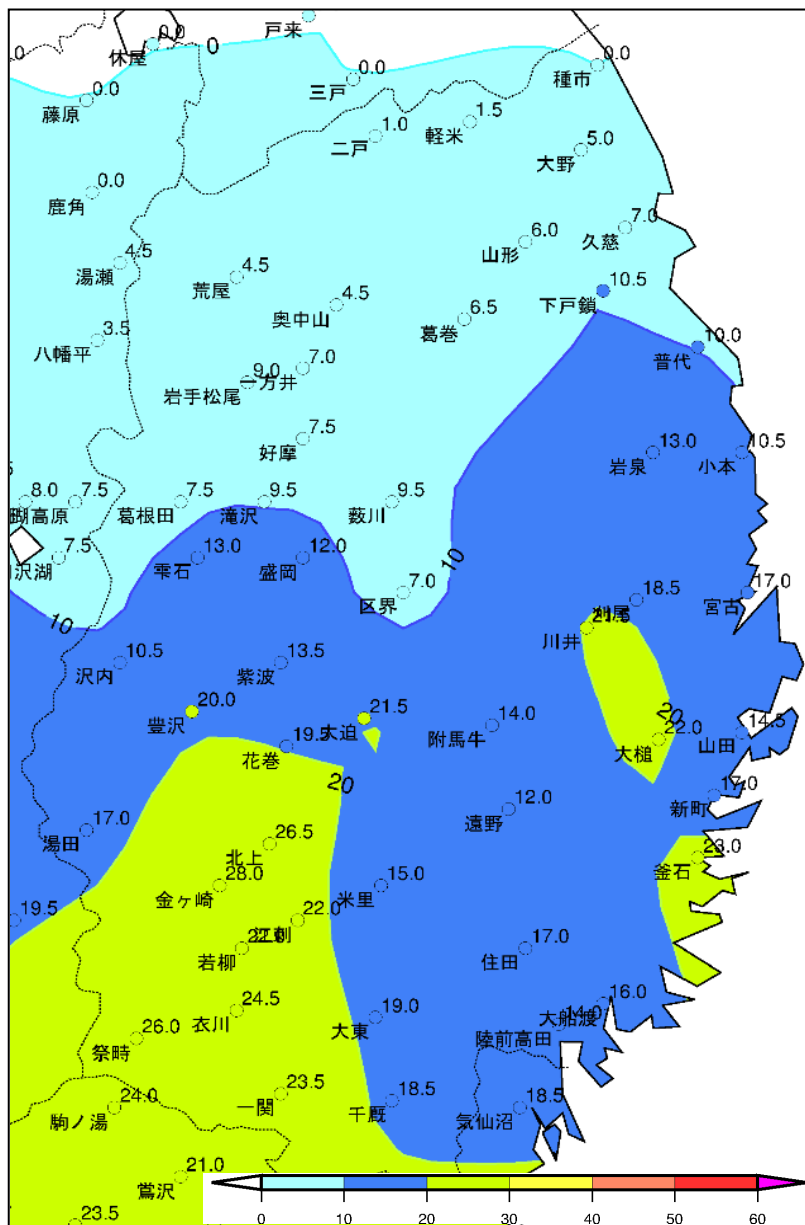
○ 期間積雪差合計（降雪量：cm）分布図（4月10日から11日）



○ 主な地点の期間合計降水量と、最大1時間降水量（4月10日から11日）

地点名	期間合計降水量(mm)	最大1時間降水量(mm) (起時)
大槌	22.0	2.5 (11日 06時58分)
金ヶ崎	28.0	4.5 (11日 03時37分)
北上	26.5	4.0 (11日 03時54分)
釜石	23.0	2.5 (11日 06時48分)
若柳	22.0	3.5 (11日 05時09分)
江刺	22.0	3.5 (11日 05時19分)
祭時	26.0	4.5 (11日 03時35分)
衣川	24.5	3.5 (11日 05時47分)
一関	23.5	3.5 (11日 05時43分)

○ 主な地点の期間合計降水量 (mm) 分布図 (4月10日から11日)



(2) 被害状況

(単位：千円)

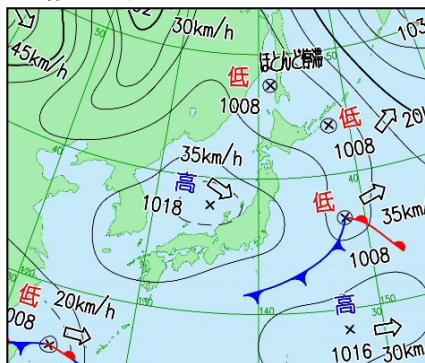
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	15,920	パイプハウス 19 棟等	花巻市、一関市、奥州市
計		15,920		3 市

6 4月20日の降霜災害

(1) 気象概況

4月20日は、東北地方は高気圧に覆われて晴れたため、岩手県内は明け方に放射冷却により、最低気温が平年を大きく下まわった。

○ 速報天気図

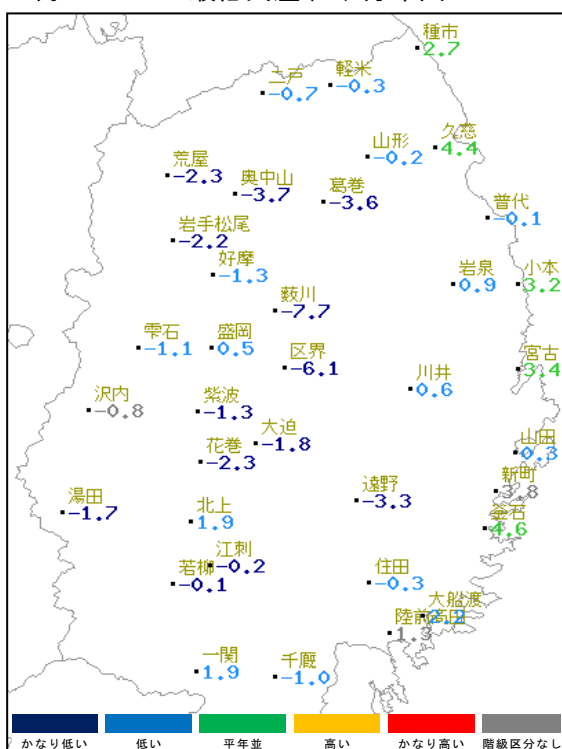


20日 09時

○ 注意報(黄)の発表状況(4月20日)

種別	地域
霜	岩手県
乾燥	岩手県

○ 4月20日の日最低気温(°C) 分布図



○ 4月20日の主な地点の日最低気温と平年差(°C)

	地点名	実況値	平年値	平年差
ア メ ダ ス	種市	2.7		
	荒屋	-2.3	2.0	-4.3
	奥中山	-3.7	1.2	-4.9
	葛巻	-3.6	1.5	-5.1
	岩手松尾	-2.2	2.3	-4.5
	好摩	-1.3	3.0	-4.3
	藪川	-7.7	-1.2	-6.5
	雫石	-1.1	2.5	-3.6
	区界	-6.1	0.0	-6.1
	紫波	-1.3	3.7	-5.0
	花巻	-2.3	3.5	-5.8
	大迫	-1.8	3.1	-4.9
	湯田	-1.7	1.6	-3.3
	遠野	-3.3	2.5	-5.8
官 署 等	盛岡	0.5	4.1	-3.6
	宮古	3.4	4.6	-1.2
	大船渡	2.2	5.4	-3.2
	山田	0.3		

(2) 被害状況

(単位：千円)

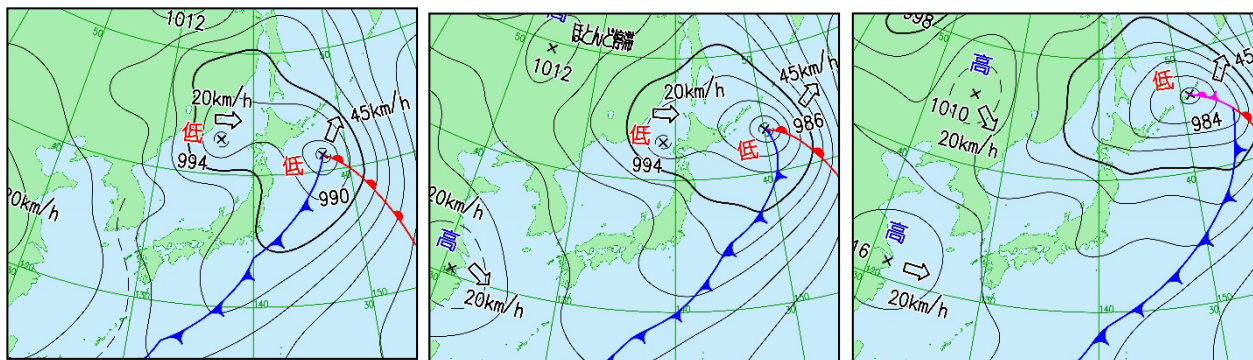
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農産物	10,838	りんご 12.26ha、おうとう 1.4ha	奥州市、盛岡市、紫波町
計		10,838		2市1町

7 5月2日の強風災害

(1) 気象概況

5月2日千島近海の低気圧が北東へ進み、別の低気圧が日本海北部を東へ進んだ。一方、高気圧が中国大陸から日本海へ張り出し、北日本は気圧の傾きが大きい状態となったため、岩手県内は風が強くなった。

○ 速報天気図



2日 03時

2日 09時

2日 15時

○ 注意報の発表状況(5月2日から3日)

種別	地域
強風	岩手県
なだれ	八幡平市、雫石町、花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市
濃霧	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市

○ 主な地点の期間最大風速・風向(16方位)と期間最大瞬間風速・風向(16方位) (5月2日から3日)

地点名	最大風速 (m/s) (風向 起時)	最大瞬間風速 (m/s) (風向 起時)
久慈	15.3 (西 2日 15時14分)	25.0 (西 2日 15時14分)
好摩	11.1 (南西 2日 16時11分)	24.1 (南西 3日 00時30分)
岩泉	11.7 (西南西 2日 16時13分)	27.0 (西南西 2日 16時04分)
小本	12.7 (南西 2日 16時03分)	23.0 (南西 2日 15時56分)
紫波	14.0 (西 2日 17時54分)	22.6 (西北西 2日 17時07分)
遠野	14.1 (西 2日 15時17分)	21.8 (西 2日 15時12分)

(2) 被害状況

(単位：千円)

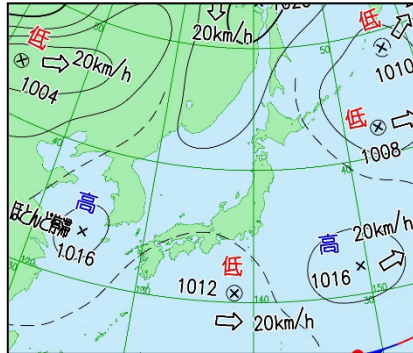
区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農業施設	400	パイプハウス 4棟	一関市
計	400		1市

8 5月11日の降霜災害

(1) 気象概況

5月11日は、日本付近は高気圧に覆われて晴れたため、岩手県内は明け方に放射冷却により、最低気温が平年を大きく下まわった。

○ 速報天気図

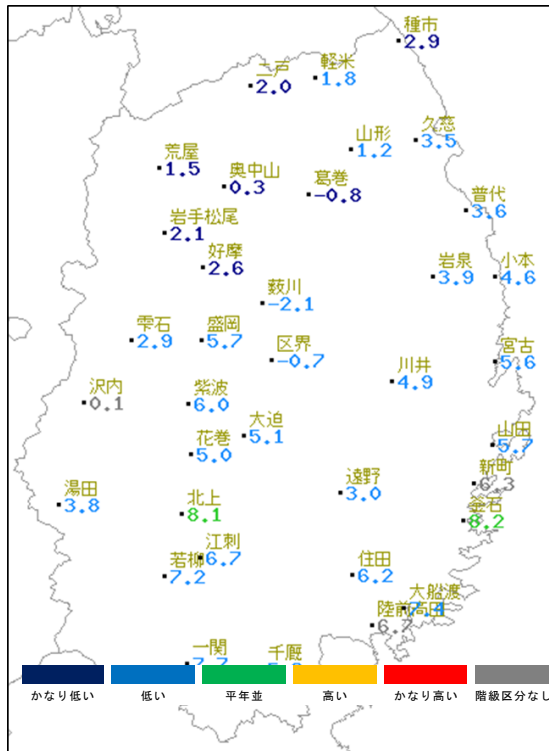


11日 09時

○ 注意報(黄)の発表状況(5月11日)

種別	地域
霜	二戸地域、盛岡地域、花北地域、遠野市、沿岸北部
乾燥	岩手県

○ 5月11日の日最低気温(°C)分布図



○ 5月11日の主な地点の日最低気温と平年差(°C)

	地点名	実況値	平年値	平年差
アメダス	軽米	1.8	6.1	-4.3
	山形	1.2	5.6	-4.4
	荒屋	1.5	6.2	-4.7
	奥中山	0.3	5.1	-4.8
	葛巻	-0.8	5.5	-6.3
	薮川	-2.1	2.6	-4.7
	区界	-0.7	3.8	-4.5
官署等	盛岡	5.7	8.1	-2.4
	宮古	5.6	8.2	-2.6
	大船渡	7.4	9.0	-1.6

(2) 被害状況

(単位：千円)

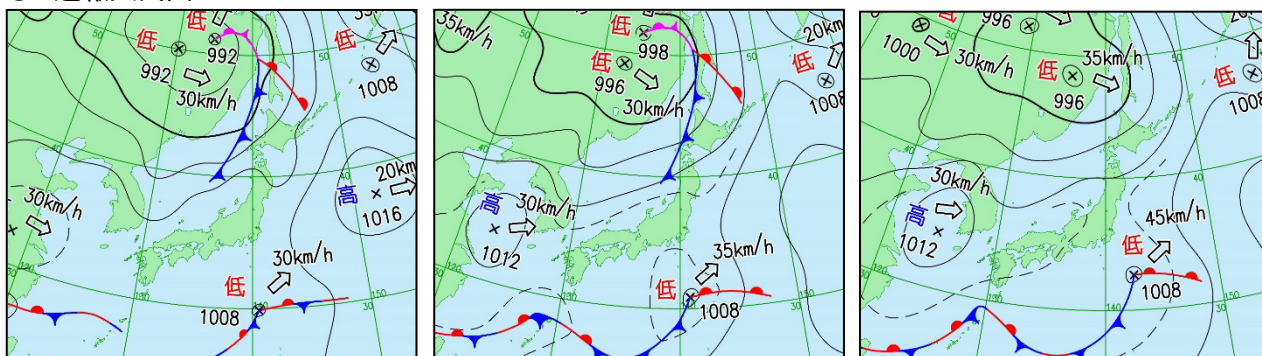
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農産物	56	りんご 0.6ha	洋野町
計		56		1町

9 6月1日の降雹災害

(1) 気象概況

5月31日から6月1日にかけて寒冷前線が北日本を通過したため大気の状態が不安定となり、岩手県内は所々で強い雨や雷雨となった。

○ 速報天気図

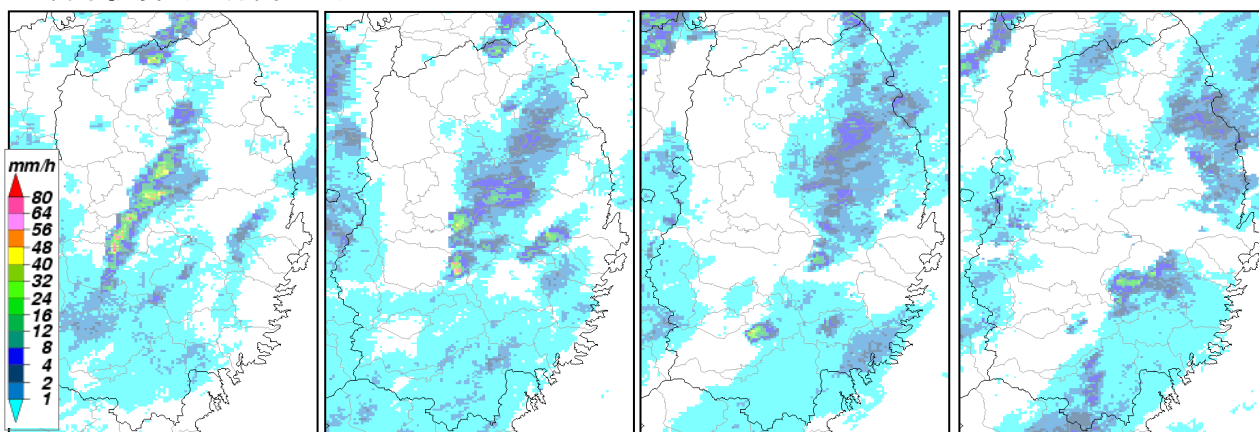


31日 15時

31日 21時

1日 03時

○ 降水強度 (10分間雨量)

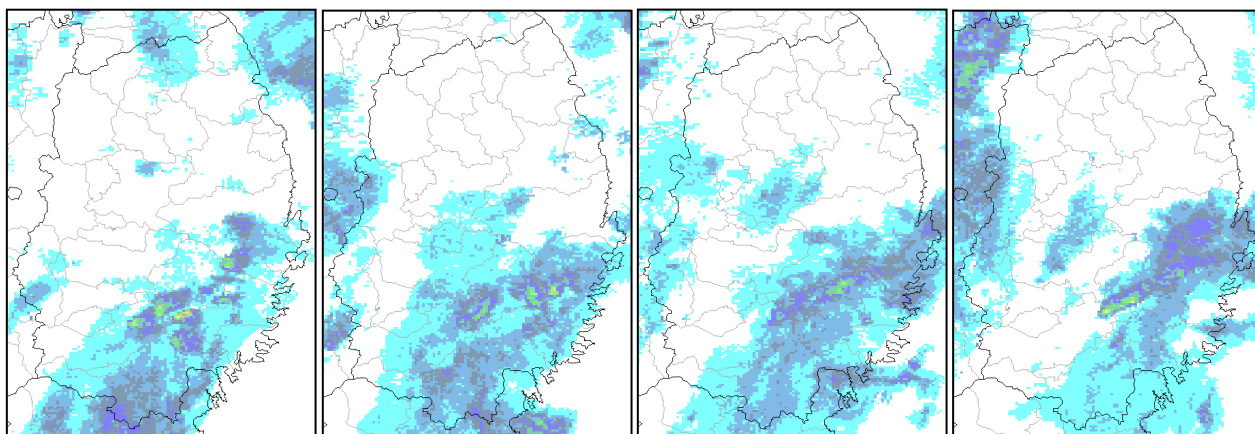


15時 00分

15時 30分

16時 00分

16時 30分



17時 00分

17時 30分

18時 00分

18時 30分

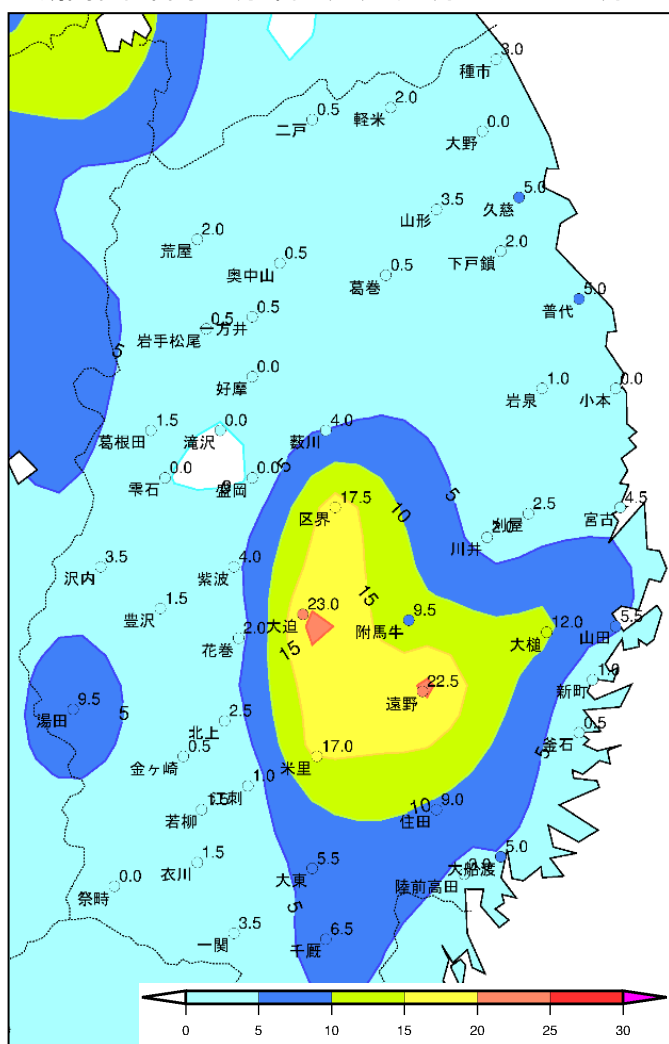
○ 注意報(黄)の発表状況(5月31日から6月1日)

種別	地域
雷	岩手県
濃霧	岩手県
乾燥	岩手県
霜	岩手県

○ 主な地点の期間合計降水量と、最大1時間降水量（期間：5月31日から6月1日）

地点名	期間合計降水	最大1時間降水量 (mm) (起時)
区界	17.5	10.5 (5月31日 16時20分)
大迫	23.0	10.5 (6月1日 13時17分)
附馬牛	9.5	3.0 (6月1日 13時58分)
大槌	12.0	7.0 (5月31日 19時05分)
湯田	9.5	5.5 (6月1日 12時26分)
遠野	22.5	10.0 (5月31日 18時46分)
米里	17.0	12.0 (5月31日 17時13分)
住田	9.0	7.5 (5月31日 18時09分)

○ 期間合計降水量分布図(mm) (5月31日から6月1日)



(2) 被害状況

(単位：千円)

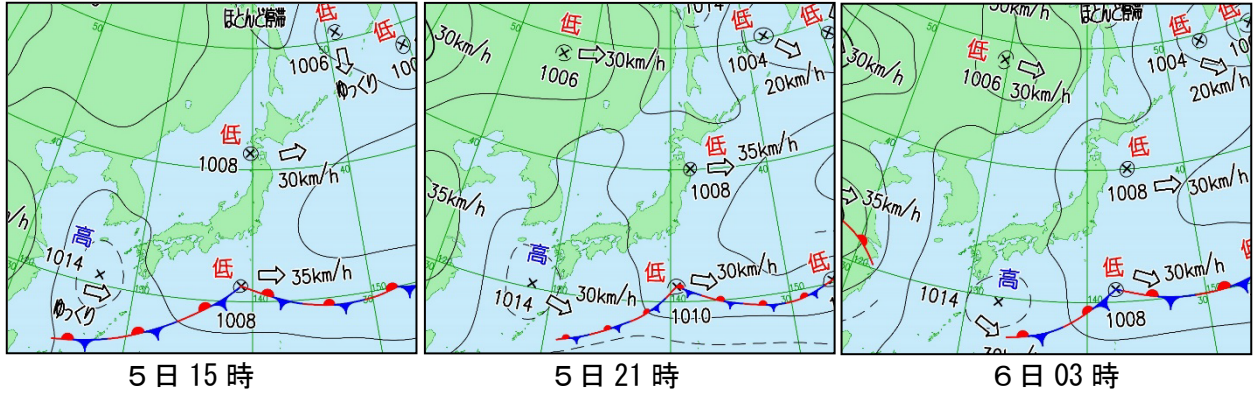
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農産物	363	りんご 1.3ha	紫波町
計		363		1町

10 6月5日の降雹・落雷災害

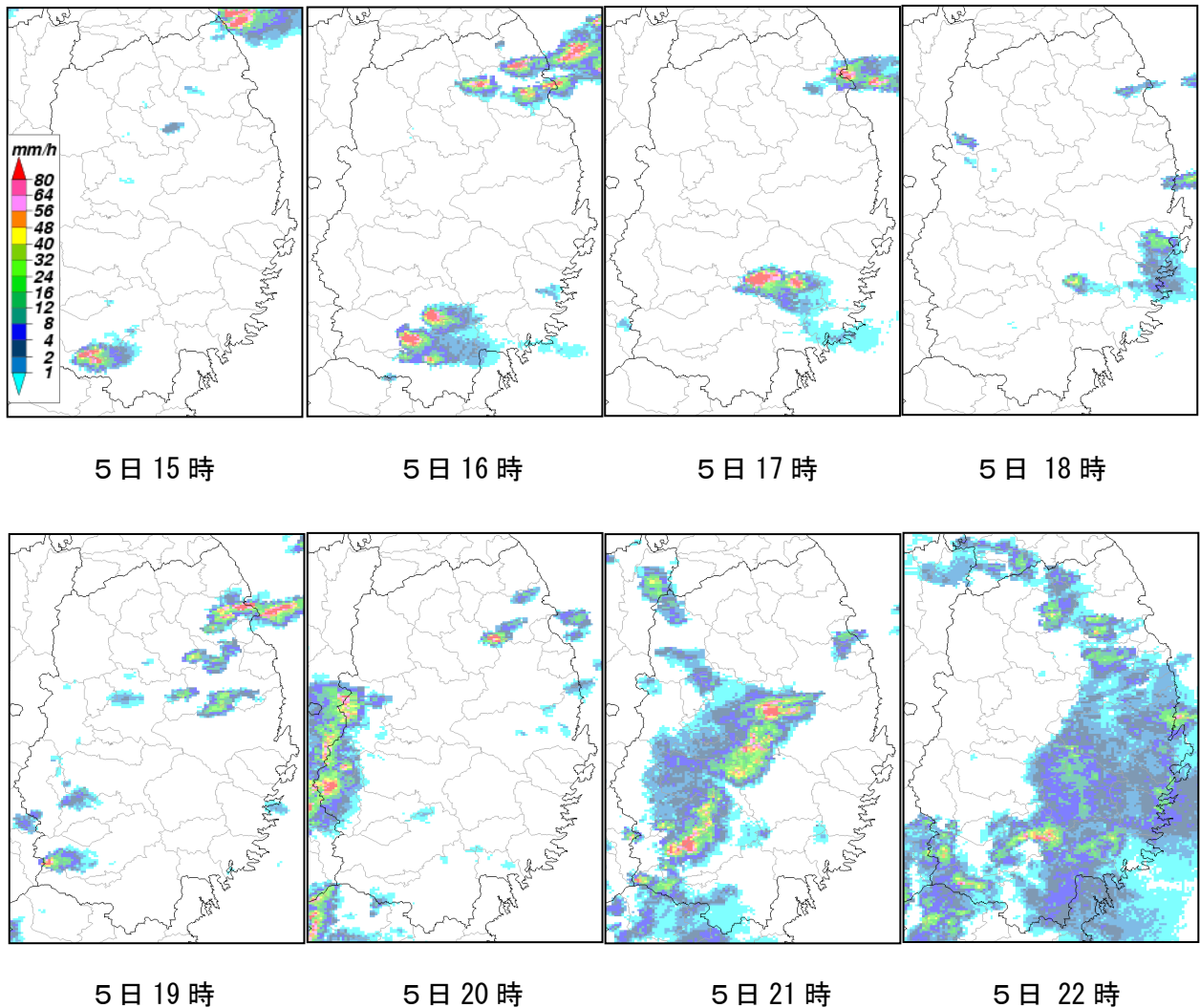
(1) 気象概況

6月5日上空に寒気を伴った気圧の谷が北日本を通過し、南から暖かく湿った空気が流れ込んだため大気の状態が不安定となった。このため岩手県では局地的に雷を伴って非常に激しい雨が降った。

○ 速報天気図



○ 降水強度 (10分間雨量)



○ 警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(6月5日から6日)

種別	地域
大雨(土砂災害)	両磐地域
大雨	遠野市、奥州市、両磐地域、久慈市、野田村、住田町
洪水	遠野市、奥州市、両磐地域、久慈市、住田町
雷	岩手県
濃霧	岩手県

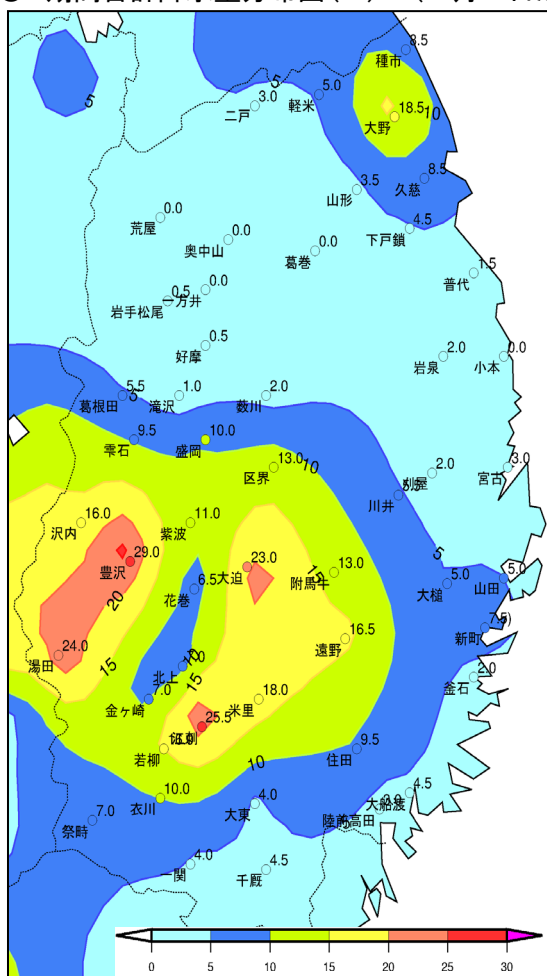
○ 岩手県気象情報の発表状況(6月5日から6日)

発表日	時分	標 題
6月4日	16時44分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第1号
6月5日	05時50分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第2号
6月5日	16時53分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第3号
6月5日	23時26分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第4号

○ 主な地点の期間合計降水量と、最大1時間降水量(6月5日から6日)

地点名	降水量期間合計(mm)	最大1時間降水量(mm) (起時)
大野	18.5	16.0 (6月6日 00時33分)
豊沢	29.0	22.5 (6月5日 21時18分)
大迫	23.0	14.5 (6月5日 21時48分)
湯田	24.0	19.5 (6月5日 21時02分)
江刺	25.5	16.0 (6月5日 23時34分)

○ 期間合計降水量分布図(mm) (6月5日から6日)



(2) 被害状況

ア 降雹

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農産物	4,902	りんご 18.08ha、キャベツ 0.11ha 等	奥州市
計		4,902		1 市

イ 落雷

(単位：千円)

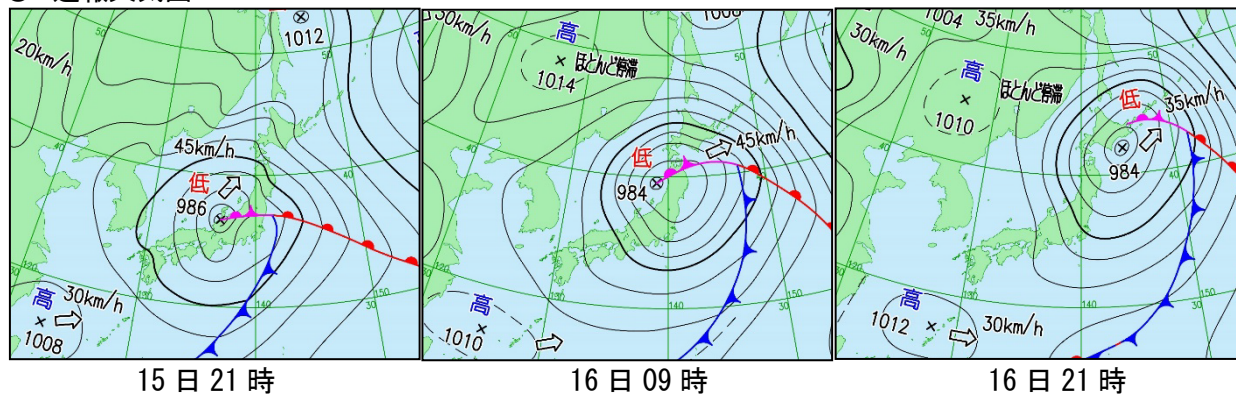
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業用施設	2,000	頭首工 1 箇所	遠野市
計		2,000		1 市

11 6月15日から16日の豪雨災害

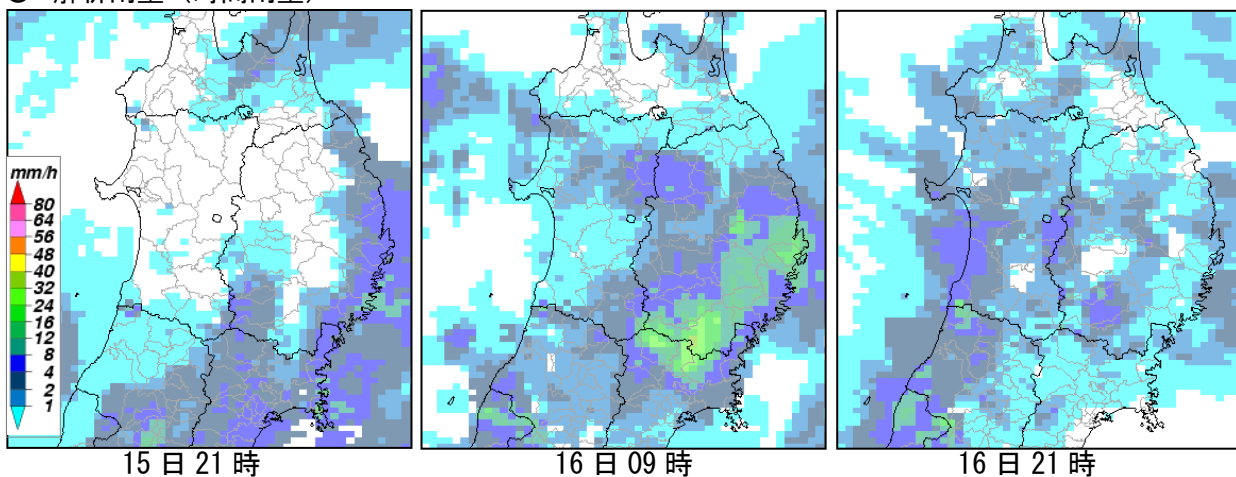
(1) 気象概況

6月15日、前線を伴った低気圧が発達しながら日本海を北東へ進み、16日には東北地方を通過し三陸沖へ進んだ。低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み岩手県内は大雨となった。

○ 速報天気図



○ 解析雨量（時間雨量）



○ 注意報（黄）の発表状況（6月15日から16日）

種別	地域
大雨	遠野市、奥州市、一関市、普代村、宮古地域、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
洪水	奥州金ヶ崎地域、一関市、宮古市、山田町、岩泉町、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
雷	岩手県
強風	岩手県
濃霧	岩手県
高潮	久慈市、普代村、野田村、宮古市、山田町
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市

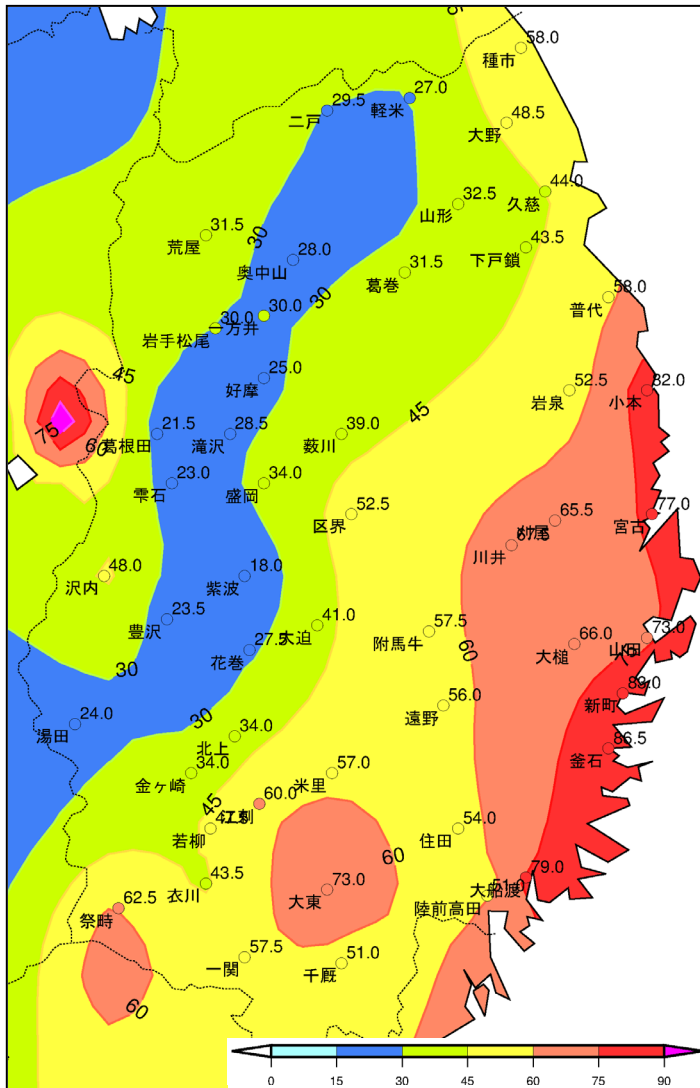
○ 岩手県気象情報の発表状況（6月14日から16日）

発表日	時分	標 題
6月14日	16時49分	大雨と強風及び高波に関する岩手県気象情報 第1号
6月15日	05時55分	大雨と強風及び高波に関する岩手県気象情報 第2号
6月15日	16時42分	大雨と強風及び高波に関する岩手県気象情報 第3号
6月16日	05時46分	大雨と強風及び高波に関する岩手県気象情報 第4号

○ 主な地点の期間合計降水量と、最大1時間降水量（6月15日から16日）

地点名	期間合計降水量	最大1時間降水量（mm）（起時）
小本	82.0	14.0（ 16日 09時51分）
宮古	77.0	19.0（ 16日 09時17分）
山田	73.0	16.0（ 16日 08時50分）
新町	83.0	16.5（ 16日 08時35分）
釜石	86.5	16.5（ 15日 23時41分）
大東	73.0	36.5（ 16日 09時30分）
大船渡	79.0	21.0（ 16日 08時13分）

○ 期間合計降水量分布図(mm)（期間：6月15日から16日まで）



(2) 被害状況

（単位：千円）

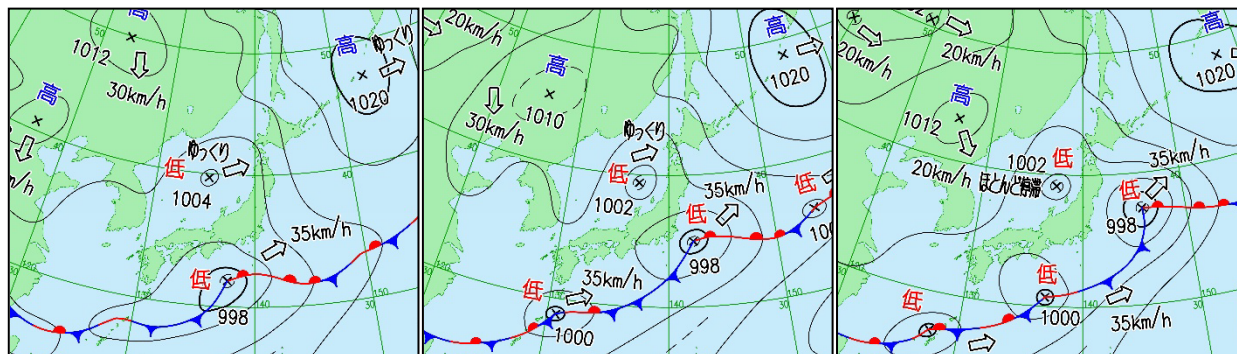
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業用施設	3,000	頭首工1箇所、水路1箇所	遠野市、一関市
計		3,000		2市

12 6月22日から23日の豪雨災害

(1) 気象概況

6月22日、低気圧が日本海中部にあってほぼ停滞する。また、別の前線を伴う低気圧が関東の東にあって北東に進んだ。県内は日本海中部にある低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込み大気の状態が不安定となり、内陸を中心に所々で大雨となった。

○ 速報天気図

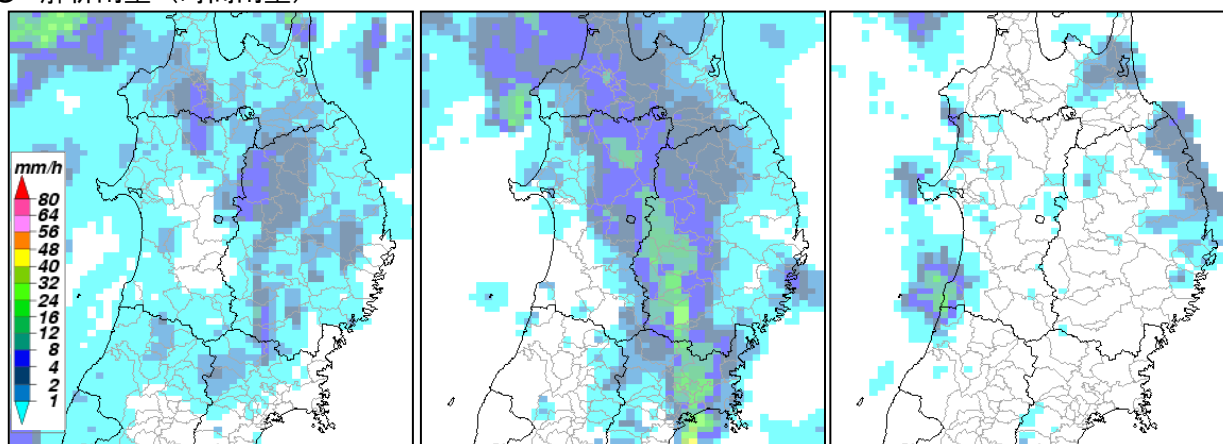


22日 09時

22日 21時

23日 09時

○ 解析雨量（時間雨量）



22日 09時

22日 21時

23日 09時

○ 警報（赤）・注意報（黄）の発表状況（6月22日から6月23日）

種別	地域
大雨（浸水害）	奥州市
洪水	奥州市
大雨	二戸市、盛岡市、八幡平市、雫石町、紫波町、矢巾町、花北地域、奥州金ケ崎地域、両磐地域、住田町
洪水	花北地域、奥州金ケ崎地域、両磐地域
濃霧	岩手県
雷	岩手県

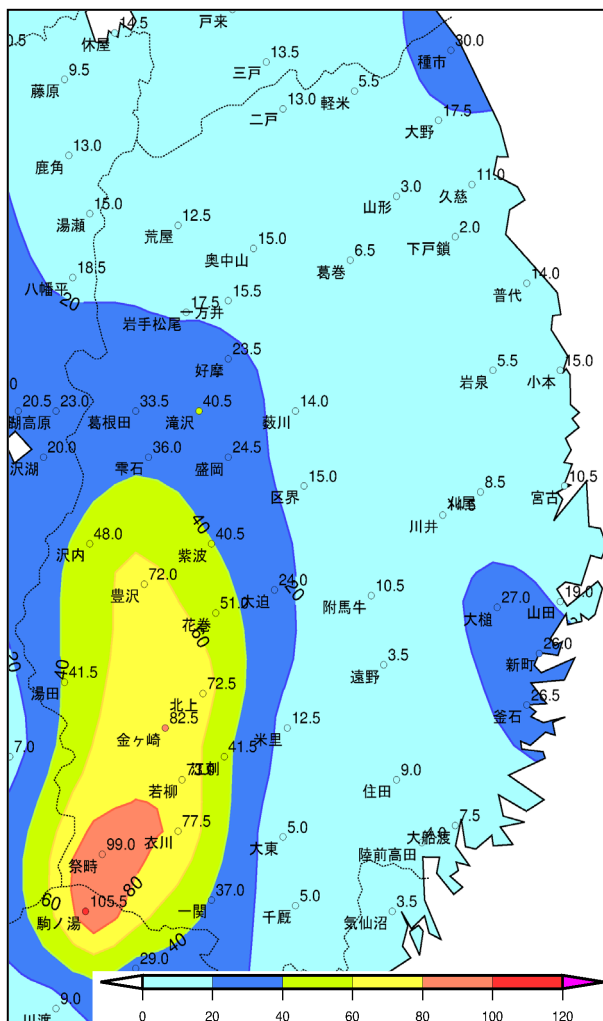
○ 岩手県気象情報の発表状況（6月22日から6月23日）

発表日	時分	標 題
6月23日	18時55分	大雨と雷に関する岩手県気象情報 第1号
6月23日	20時23分	大雨と雷に関する岩手県気象情報 第2号

○ 主な地点の期間合計降水量と、最大1時間降水量（6月22日から23日）

地点名	期間合計降水量(mm)	日最大1時間降水量(mm)（起時）
豊沢	72.0	17.0（22日 15時29分）
花巻	51.0	17.0（22日 06時43分）
湯田	41.5	21.5（22日 19時29分）
金ヶ崎	82.5	26.5（22日 20時32分）
北上	72.5	34.5（22日 05時37分）
若柳	73.0	20.0（22日 20時59分）
江刺	41.5	22.0（22日 05時14分）
祭時	99.0	26.0（22日 18時32分）
衣川	77.5	31.5（22日 21時01分）

○ 期間合計降水量分布図(mm)（6月22日から6月23日）



(2) 被害状況

(単位：千円)

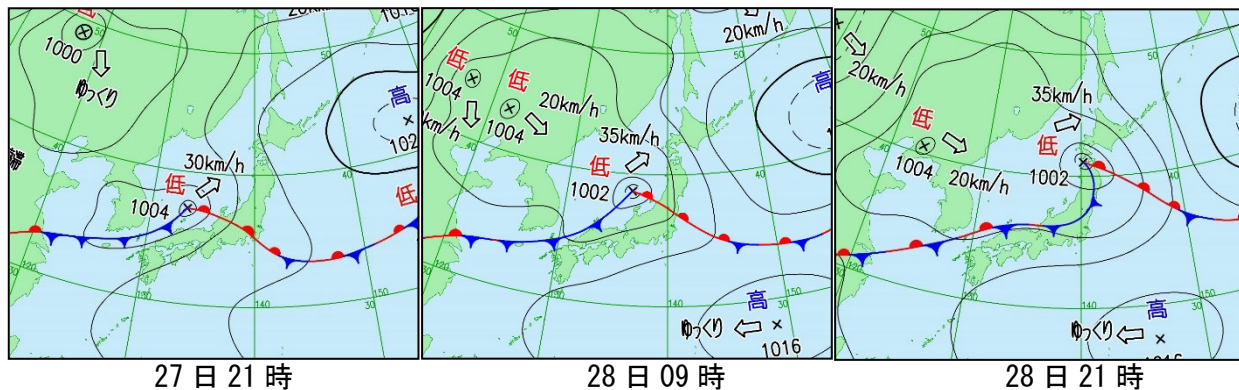
区分	被害額	被害状況	被害地域	
農業	農産物	32	大豆 0.3ha	奥州市
	農地・農業用施設	467,000	田 40 箇所、水路 28 箇所、ため池 9 箇所、頭首工 2 箇所	奥州市、一関市
計	467,032		2市	

13 8月27日から28日の豪雨災害

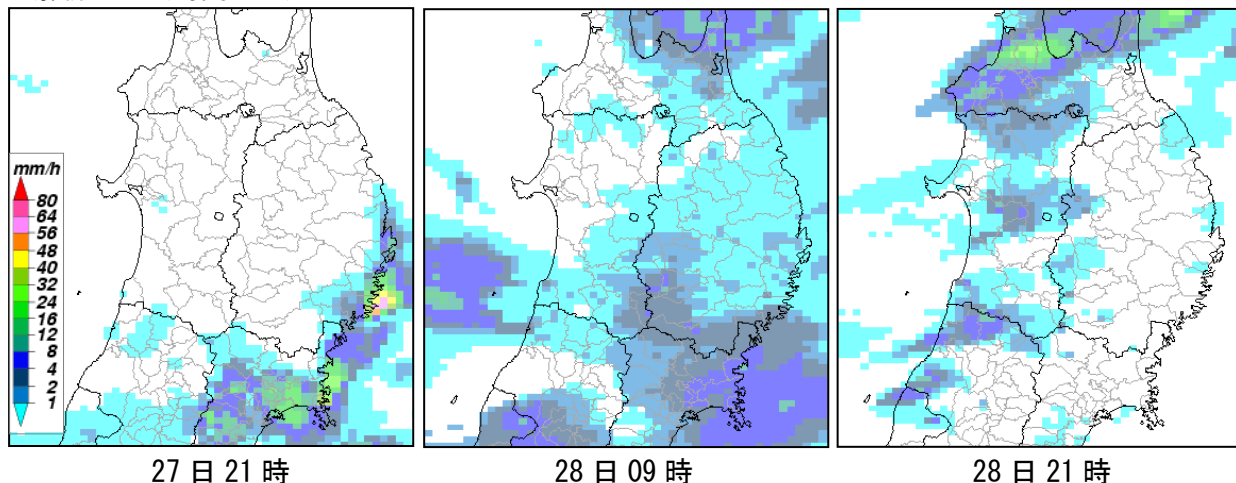
(1) 気象概況

8月27日から28日にかけて、華中から本州の南岸に停滞していた前線が北上し、山陰沖の前線上に低気圧が発生し発達しながら北東に進んだ。このため、岩手県内は暖かく湿った南よりの風の影響で沿岸を中心に大雨となった。

○速報天気図



○解析雨量（時間雨量）



○ 警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(8月27日から28日)

種別	地域
大雨(土砂災害)	遠野市、宮古市、山田町、岩泉町、沿岸南部
大雨(浸水害)	宮古市、山田町、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
洪水	遠野市、宮古市、山田町、沿岸南部
大雨	盛岡市、葛巻町、花巻市、遠野市、一関市、久慈市、普代村、宮古地域、沿岸南部
洪水	遠野市、久慈市、宮古市、山田町、岩泉町、沿岸南部
雷	岩手県
濃霧	岩手県
高潮	久慈市、普代村、野田村、宮古市、山田町、田野畑村

○ 岩手県土砂災害警戒情報の発表状況（8月27日から28日）

発表日時分	号数	市町村
27日 23時10分	第1号	大船渡市
27日 23時25分	第2号	大船渡市、釜石市
28日 00時10分	第3号	大船渡市、釜石市、大槌町
28日 01時20分	第4号	大船渡市、釜石市、大槌町、山田町
28日 01時50分	第5号	大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町
28日 02時20分	第6号	宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町
28日 04時10分	第7号	宮古市、大船渡市、遠野市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町
28日 04時40分	第8号	宮古市、大船渡市、遠野市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町
28日 07時25分	第9号	宮古市、大船渡市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町
28日 11時15分	第10号	大船渡市、釜石市、大槌町、山田町
28日 14時15分	第11号	解除

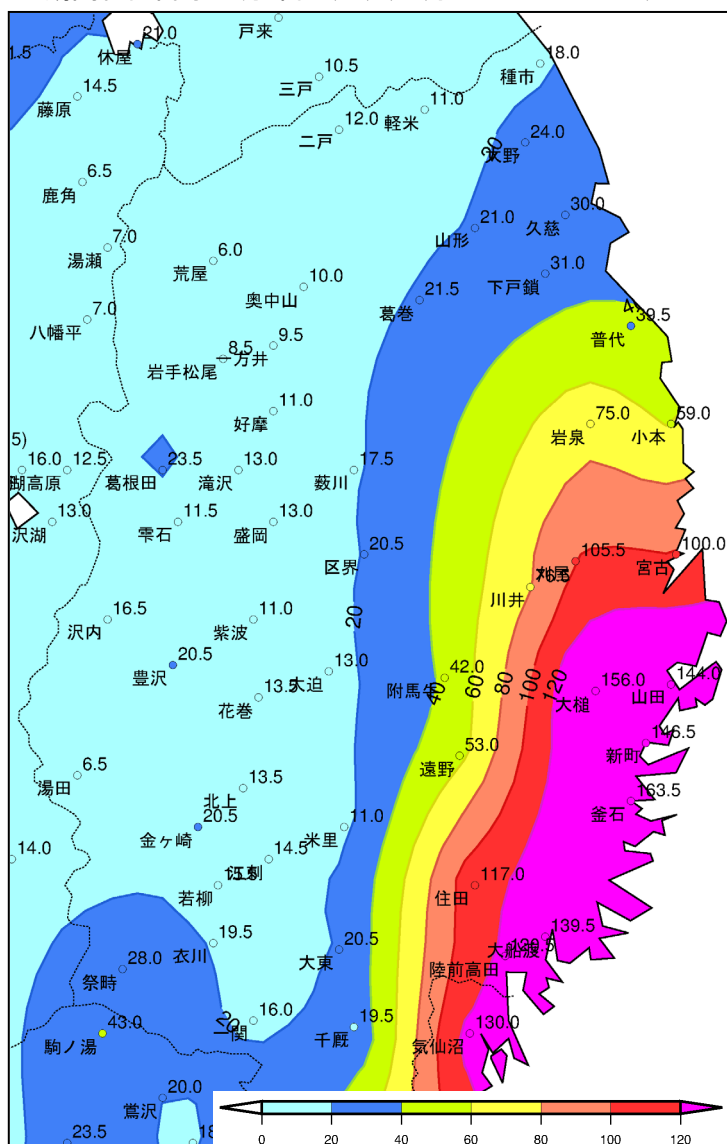
○ 岩手県気象情報の発表状況（8月27日から28日）

発表日 時 分	標 題
8月28日 00時21分	大雨と雷に関する岩手県気象情報 第1号
8月28日 01時40分	大雨と雷に関する岩手県気象情報 第2号
8月28日 04時16分	大雨と雷に関する岩手県気象情報 第3号
8月28日 06時08分	大雨と雷に関する岩手県気象情報 第4号
8月28日 11時46分	大雨に関する岩手県気象情報 第5号
8月28日 17時11分	大雨に関する岩手県気象情報 第6号
8月28日 20時25分	大雨に関する岩手県気象情報 第7号

○ 主な地点の期間合計降水量と、最大1時間降水量（8月27日から28日）

地点名	期間合計降水量(mm)	最大1時間降水量(mm)（起時）
刈屋	105.5	32.0（28日 05時30分）
宮古	100.0	19.5（28日 05時40分）
大槌	156.0	44.5（28日 03時23分）
山田	144.0	48.5（28日 01時17分）
新町	146.5	32.5（28日 00時26分）
釜石	163.5	38.0（28日 00時02分）
住田	117.0	33.5（28日 03時22分）
陸前高田	120.5	24.0（28日 01時49分）
大船渡	139.5	39.5（28日 01時34分）

○ 期間合計降水量分布図(mm) (8月27日から28日)



(2) 被害状況

(単位：千円)

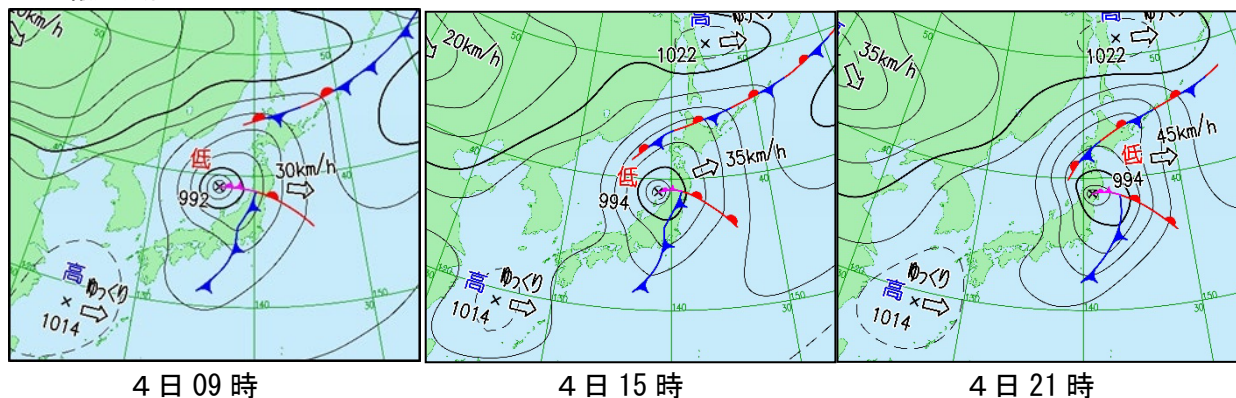
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農産物	3	水稻 0.1ha	大船渡市
	農地・農業用施設	2,000	農地 4箇所、水路 2箇所	釜石市
林業	林業施設	62,030	林道 84箇所、作業道 27箇所	陸前高田市、大槌町等 3市 3町
	森林	100	私有林 0.3ha	釜石市
水産業	漁港施設	13,230	水域施設 11箇所、輸送施設 1箇所	釜石市、大槌町等 3市 1町
計		77,363		4市 3町

14 10月4日の豪雨災害

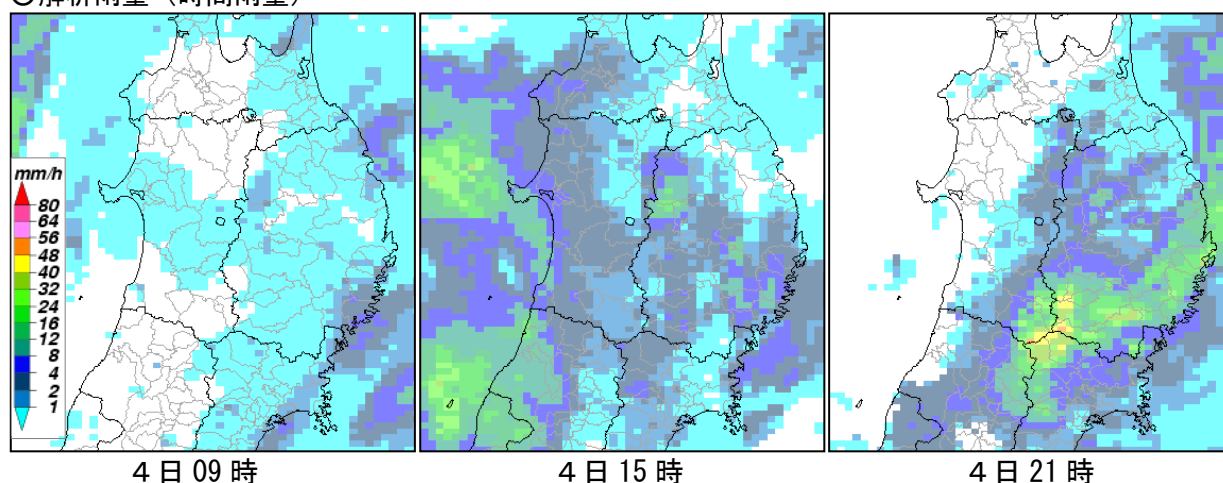
(1) 気象概況

10月3日に台風第18号が温帯低気圧に変わり、4日には東北地方を通過し三陸沖へ進んだ。この低気圧の影響で岩手県内は大雨となった。

○速報天気図



○解析雨量（時間雨量）



○ 警報（赤）・注意報（黄）の発表状況（10月4日）

種別	地域
大雨（土砂災害）	一関市、宮古市、山田町、大槌町
大雨（浸水害）	一関市、宮古市、山田町、釜石市
洪水	宮古市、山田町、釜石地域
大雨	北上市、遠野市、奥州金ケ崎地域、両磐地域、宮古地域、沿岸南部
洪水	北上市、遠野市、奥州金ケ崎地域、一関市、宮古市、山田町、岩泉町、沿岸南部
強風	岩手県
高潮	久慈市、普代村、野田村、宮古市、山田町、田野畑村、大槌町
濃霧	岩手県
雷	岩手県
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市

○ 岩手県土砂災害警戒情報の発表状況（10月4日）

発表日時分	号数	市町村
4日 19時57分	第1号	宮古市、大槌町、山田町
4日 20時55分	第2号	宮古市、一関市、大槌町、山田町
4日 22時05分	第3号	宮古市、大槌町、山田町
4日 23時00分	第4号	大槌町、山田町
4日 23時50分	第5号	解除

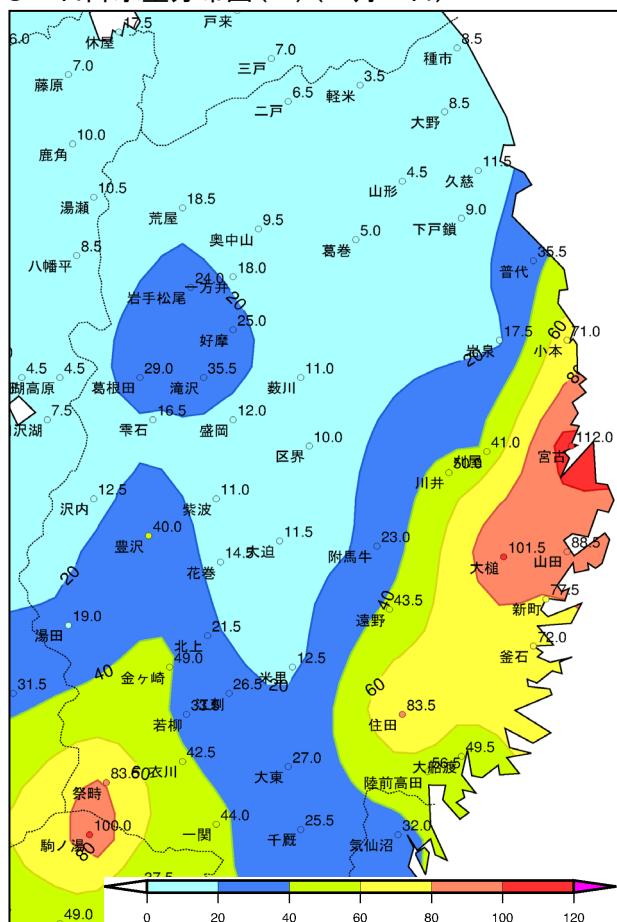
○ 岩手県気象情報の発表状況(10月3日から5日)

発表日	時分	標 題
10月3日	16時47分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第1号
10月4日	06時39分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第2号
10月4日	16時49分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第3号
10月4日	20時34分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第4号
10月5日	00時44分	大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第5号

○ 主な地点の日降水量と日最大1時間降水量(10月4日)

地点名	日降水量(mm)	日最大1時間降水量(mm) (起時)
小本	71.0	28.0 (19時59分)
宮古	112.0	55.0 (19時53分)
大槌	101.5	31.5 (19時05分)
山田	88.5	31.5 (21時00分)
新町	77.5	37.0 (22時01分)
釜石	72.0	24.0 (21時47分)
住田	83.5	27.5 (16時36分)
祭時	83.5	30.5 (20時27分)

○ 日降水量分布図(mm)(10月4日)



(2) 被害状況

(単位: 千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域
林 業	林業施設	2,500	治山施設1箇所	一関市
計		2,500		1市

15 10月12日から13日の台風第19号災害

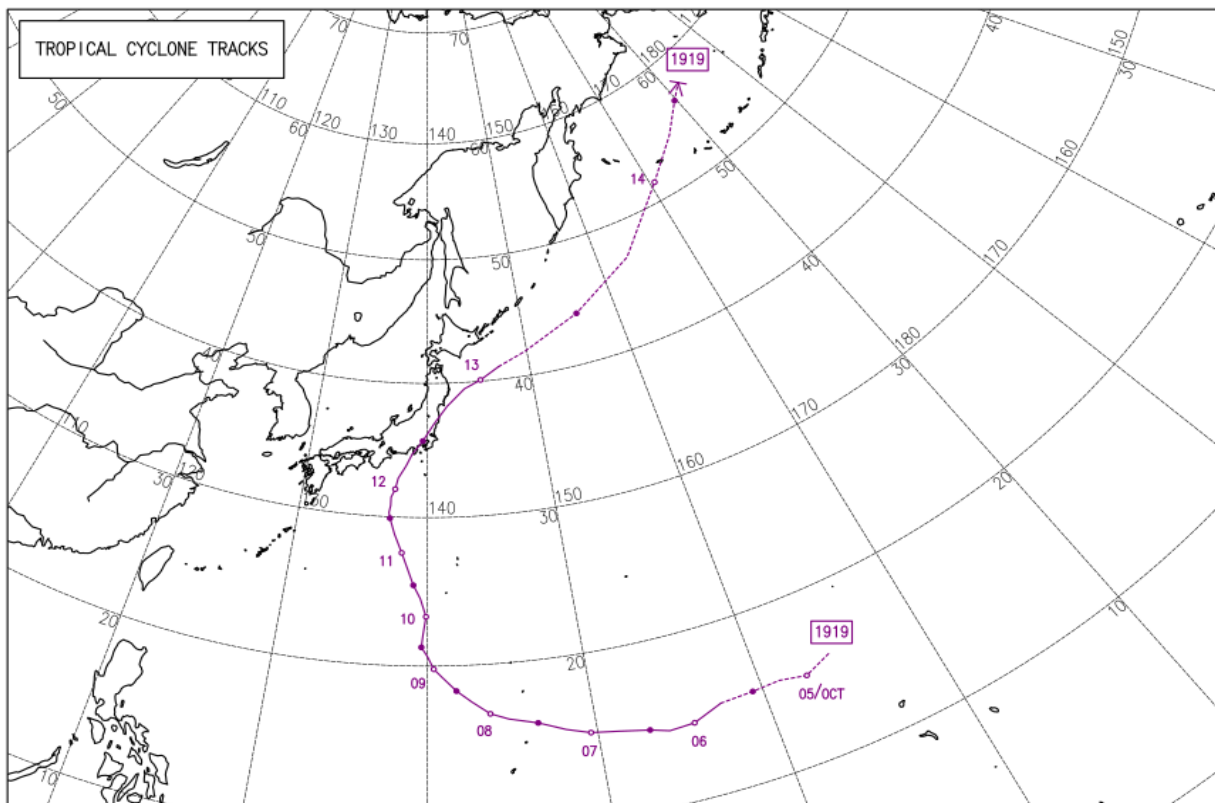
(1) 気象概況

10月6日3時に南鳥島近海で発生した台風第19号は、西へ進みながら急速に発達し、7日18時には猛烈な勢力となった。その後も猛烈な勢力を維持したまま北西へ進み、10日21時には父島の西南西で非常に強い勢力に変わって北上し、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した。台風はその後勢力を維持したまま関東地方を北東へ進み、13日未明には福島県を通過して明け方には宮城県沖に抜け、13日12時に北海道の南東海上で温帯低気圧となった。

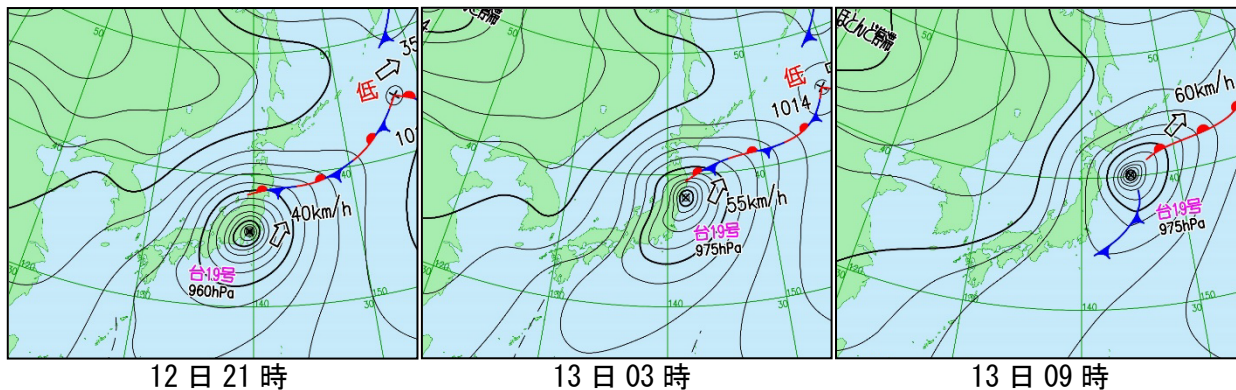
岩手県では、10月11日から前線の影響で雨が降り出し、12日には台風の接近により沿岸で夜遅くから非常に激しい雨となり、13日未明には沿岸北部で局地的に猛烈な雨となって、記録的短時間大雨情報を発表した。また、沿岸を中心にこれまでに経験したことのないような大雨となったため、13日0時40分宮古地域、釜石地域、大船渡地域と一関市に、1時55分には久慈地域にも大雨特別警報を発表し、最大級の警戒を呼びかけた。

10月11日15時から13日15時までの総雨量は、沿岸の広い範囲で300mm以上の記録的な大雨となった。

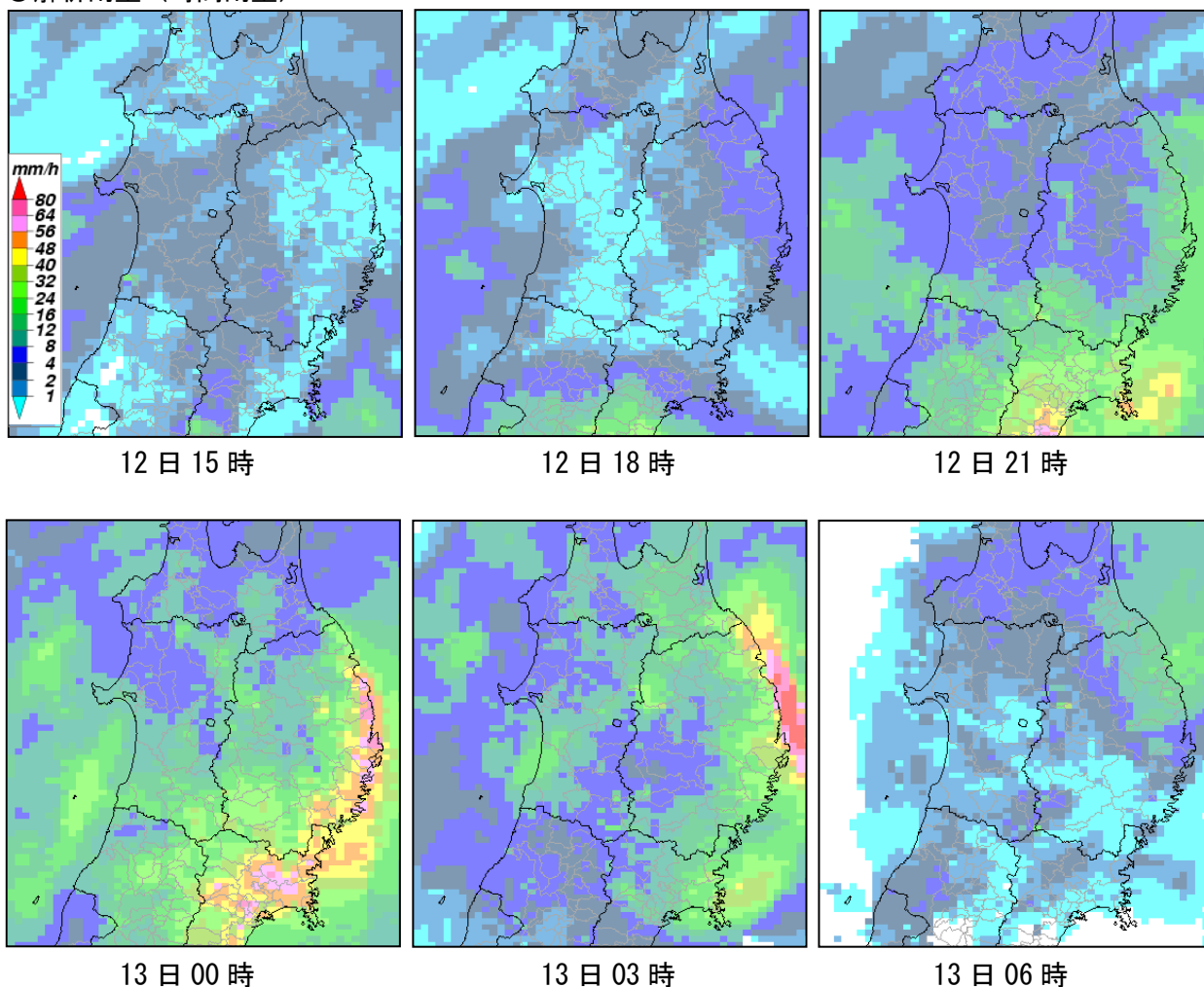
○台風経路図



○速報天気図



○解析雨量（時間雨量）



○ 特別警報（黒）・警報（赤）・注意報（黄）の発表状況（10月12日から13日）

種別	地域
大雨（土砂災害）	一関市、沿岸北部、沿岸南部
大雨（浸水害）	一関市、沿岸北部、釜石地域、大船渡市
大雨（土砂災害）	岩手県
大雨（浸水害）	軽米町、矢巾町、花巻市、北上市、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、沿岸北部、沿岸南部
洪水	二戸地域、盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、矢巾町、花北地域、遠野市、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、沿岸北部、沿岸南部
暴風	岩手県
高潮	宮古市、山田町、大槌町
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雨	岩手県
洪水	岩手県
強風	岩手県
雷	岩手県
濃霧	岩手県
高潮	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市

○ 岩手県土砂災害警戒情報の発表状況（10月12日から14日）

発表日時分	号数	市町村
12日 20時40分	第1号	一関市
12日 21時05分	第2号	一関市、釜石市
12日 21時20分	第3号	宮古市、一関市、釜石市、田野畑村
12日 21時30分	第4号	宮古市、大船渡市、一関市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村
12日 22時20分	第5号	宮古市、大船渡市、一関市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村
12日 22時40分	第6号	宮古市、大船渡市、一関市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村
12日 22時50分	第7号	宮古市、大船渡市、久慈市、一関市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村
12日 23時00分	第8号	宮古市、大船渡市、久慈市、一関市、陸前高田市、釜石市、奥州市、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村
12日 23時10分	第9号	宮古市、大船渡市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、奥州市、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村
12日 23時30分	第10号	宮古市、大船渡市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、奥州市、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
13日 00時30分	第11号	盛岡市、宮古市、大船渡市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、奥州市、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
13日 01時30分	第12号	盛岡市、宮古市、大船渡市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、奥州市、葛巻町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
13日 01時50分	第13号	盛岡市、宮古市、大船渡市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、八幡平市、奥州市、滝沢市、葛巻町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
13日 02時05分	第14号	盛岡市、宮古市、大船渡市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、八幡平市、奥州市、滝沢市、葛巻町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、軽米町、野田村、洋野町
13日 02時20分	第15号	盛岡市、宮古市、大船渡市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、滝沢市、葛巻町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、軽米町、野田村、洋野町
13日 02時50分	第16号	盛岡市、宮古市、大船渡市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、滝沢市、葛巻町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町
13日 03時10分	第17号	盛岡市、宮古市、大船渡市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、滝沢市、雫石町、葛巻町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町
13日 07時05分	第18号	宮古市、大船渡市、久慈市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町
13日 09時45分	第19号	宮古市、大船渡市、久慈市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、葛巻町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
13日 11時25分	第20号	宮古市、大船渡市、久慈市、一関市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
13日 13時40分	第21号	宮古市、久慈市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
13日 16時45分	第22号	宮古市、久慈市、釜石市、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、洋野町
13日 18時25分	第23号	宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村
13日 19時55分	第24号	宮古市、岩泉町、田野畑村
14日 00時10分	第25号	岩泉町
14日 00時40分	第26号	解除

○ 岩手県指定河川洪水予報の発表状況（10月12日から13日）

発表日時	標題
13日 01時40分	北上川上流洪水予報第1号（北上川上流氾濫注意情報）
13日 05時30分	北上川上流洪水予報第2号（北上川上流氾濫注意情報）
13日 08時30分	北上川上流洪水予報第3号（北上川上流氾濫注意情報）
13日 10時30分	北上川上流洪水予報第4号（北上川上流氾濫注意情報）
13日 17時50分	北上川上流洪水予報第5号（北上川上流氾濫注意情報）
13日 21時50分	北上川上流洪水予報第6号（北上川上流氾濫注意情報解除）

○ 岩手県気象情報の発表状況(10月10日から14日)

発表日	時 分	標 題
10月10日	16時48分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第1号
10月11日	06時29分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第2号
10月11日	17時20分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第3号
10月11日	17時40分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第4号
10月12日	07時05分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第5号
10月12日	07時33分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第6号
10月12日	11時40分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第7号
10月12日	11時51分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第8号
10月12日	12時44分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第9号
10月12日	16時36分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第10号
10月12日	17時09分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第11号
10月12日	21時31分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第12号
10月12日	23時39分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第13号
10月13日	00時41分	記録的な大雨に関する岩手県気象情報 第14号
10月13日	01時26分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第15号
10月13日	03時17分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第16号
10月13日	05時39分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第17号
10月13日	09時04分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第18号
10月13日	11時57分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第19号
10月13日	16時59分	令和元年 台風第19号に関する岩手県気象情報 第20号
10月14日	01時46分	大雨と高波に関する岩手県気象情報 第1号

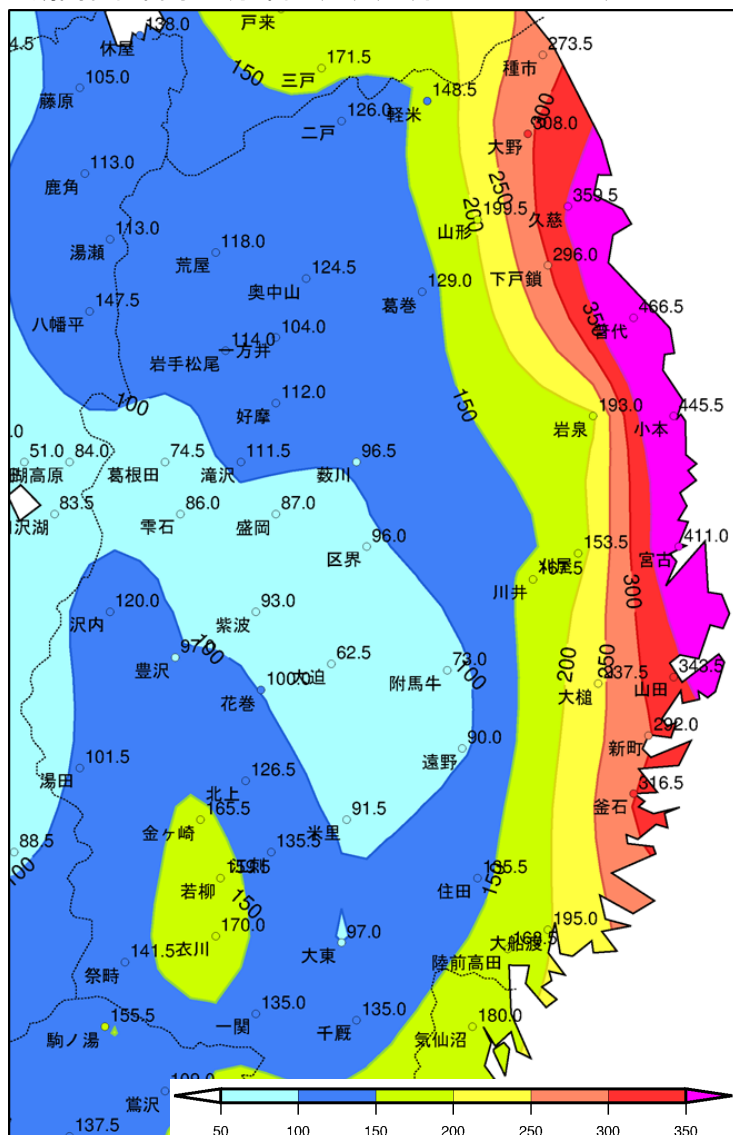
○ 岩手県記録的短時間大雨情報の発表状況(10月13日)

発表日	時 分	標 題
10月13日	00時38分	岩手県記録的短時間大雨情報 第1号
10月13日	01時17分	岩手県記録的短時間大雨情報 第2号
10月13日	01時48分	岩手県記録的短時間大雨情報 第3号
10月13日	02時15分	岩手県記録的短時間大雨情報 第4号

○ 主な地点の期間合計降水量と、最大1時間降水量(10月12日から13日)

地点名	期間合計降水量(mm)	日最大1時間降水量(mm) (起時)
種市	273.5	40.0 (13日 03時54分)
大野	308.0	49.0 (13日 01時59分)
山形	199.5	21.5 (13日 03時45分)
久慈	359.5	71.0 (13日 01時43分)
下戸鎖	296.0	32.0 (13日 01時52分)
普代	466.5	95.0 (13日 01時54分)
小本	445.5	93.5 (13日 01時55分)
宮古	411.0	84.5 (13日 01時21分)
大槌	237.5	43.0 (13日 00時15分)
山田	343.5	77.5 (13日 00時59分)
新町	292.0	57.0 (13日 00時43分)
釜石	316.5	60.0 (13日 00時45分)
大船渡	195.0	45.5 (13日 00時08分)

○ 期間合計降水量分布図(mm) (10月12日から13日)



○ 主な地点の期間最大風速・風向(16方位)と、期間最大瞬間風速・風向(16方位) (10月12日から13日)

地点名	最大風速(m/s) (風向 起時)	最大瞬間風速(m/s) (風向 起時)
岩泉	14.4 (東北東 13日 04時39分)	27.3 (東北東 13日 05時19分)
盛岡	15.9 (北 13日 03時29分)	26.7 (北 13日 04時49分)
宮古	12.2 (北 13日 04時16分)	27.9 (北北東 13日 04時47分)
紫波	18.8 (北北西 13日 03時55分)	27.3 (北北西 13日 04時33分)
花巻	19.3 (北 13日 04時01分)	27.8 (北 13日 04時06分)
新町	15.6 (北北西 13日 04時37分)	30.1 (北北東 13日 03時31分)
釜石	6.9 (西北西 13日 06時07分)	28.6 (北北東 13日 04時40分)
若柳	15.9 (北北西 13日 04時26分)	26.4 (北 13日 04時24分)
江刺	14.0 (北北西 13日 04時16分)	26.2 (北北西 13日 04時17分)
陸前高田	11.4 (北北東 12日 22時07分)	26.8 (北 12日 21時58分)
大船渡	15.5 (北西 13日 05時20分)	31.6 (北 13日 03時41分)

(2) 被害状況

(単位:千円)

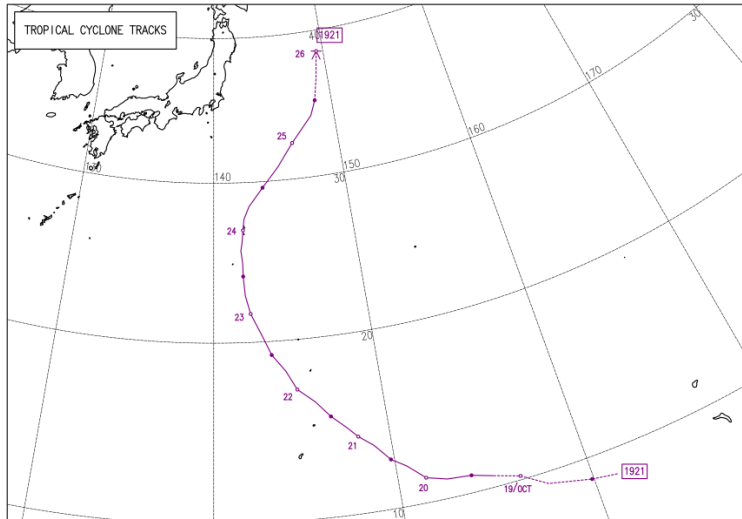
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農業施設	194,024	パイプハウス・畜舎等 471棟、農業機械 139 台	久慈市、宮古市、花巻市等 25 市町村
	農産物	404,013	水稲 35.7ha、麦類 2.0ha、豆類・雑穀 214.1ha、野菜 62.1ha、花き類 0.4ha、飼料作物 255.1ha、果樹 518.8ha	奥州市、花巻市、一関市等 24 市町村
	家畜等	33,641	ブロイラー61,584羽、アイガモ 600羽、生乳 9,491kg、飼料用ロール 42,960kg	久慈市、一関市、田野畑村等 7 市町村
	農地・農業用施設	1,343,000	農地 114.7ha、農業用施設 758 箇所、農村生活環境施設 3 箇所、農地海岸保全施設 2 箇所	一関市、宮古市、山田町等 25 市町村
林 業	林業施設	1,602,071	林道 721 箇所、作業道 165 箇所、治山施設 21 箇所、林産施設 6 箇所、特用林産施設 9 箇所	宮古市、久慈市、普代村等 21 市町村
	林産物	2,139	特用林産物等 3 箇所	釜石市、久慈市、洋野町
	森林・林地荒廃	3,386,261	森林 16.85ha、山腹崩壊等 99 箇所	釜石市、宮古市、普代村等 17 市町村
水産業	水産施設	771,606	水産関係施設 55 箇所、サケ・マスふ化場 7 箇所、内水面水産施設 1 箇所	宮古市、大船渡市、釜石市等 7 市町村
	漁船	56,780	漁船 89 隻	宮古市、釜石市、山田町等 6 市町村
	漁具	239,152	定置網等 56 件	宮古市、久慈市、釜石市等 11 市町村
	養殖施設	24,663	養殖施設 188 台	宮古市、久慈市、山田町等 6 市町村
	水産物	178,056	かき、ほたて等 7 地区	宮古市、大槌町、田野畑村等 4 市町村
	漁港施設	1,064,625	漁港施設 130 箇所	宮古市、大船渡市、山田町等 11 市町村
	海岸施設	63,770	堤防・護岸等 22 箇所	宮古市、大船渡市、釜石市等 8 市町村
	漁場施設	300,000	ケーソン 1 箇所	宮古市
計	9,663,801		14 市 14 町 4 村	

16 10月25日の台風第21号災害

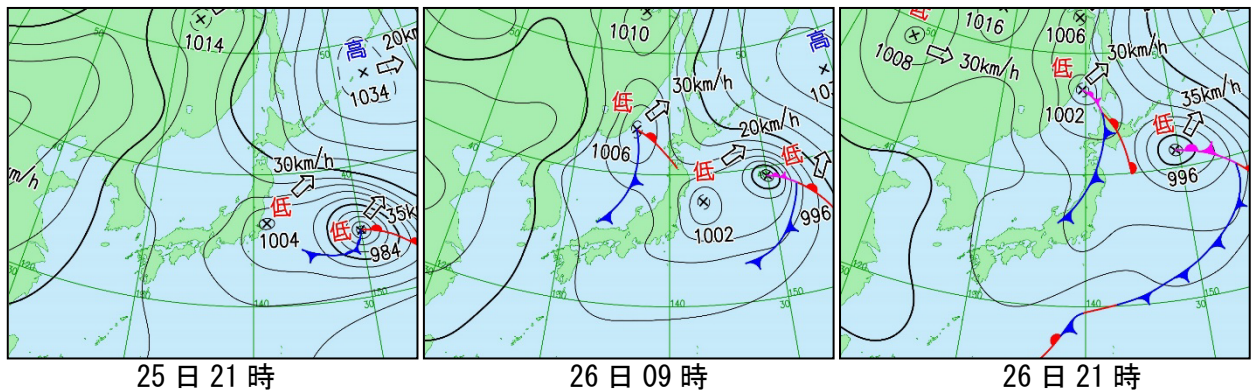
(1) 気象概況

10月25日から26日にかけて低気圧が三陸沖を北東へ進んだ。また、日本の東を北上した台風第21号からの暖かく湿った空気が低気圧に向かって流れ込んだため、25日夜を中心に大気の状態が非常に不安定となった。

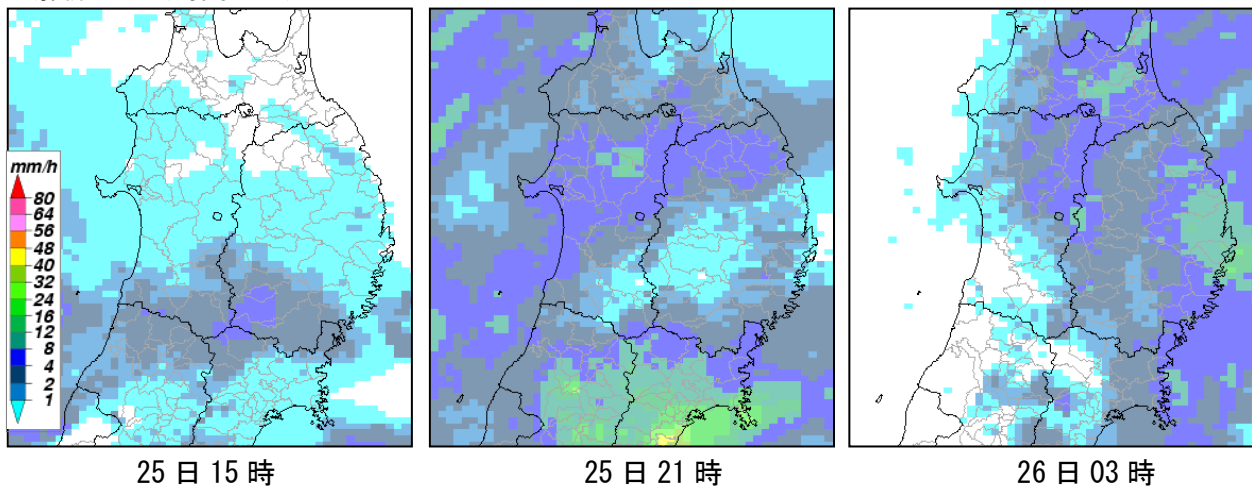
○台風経路図

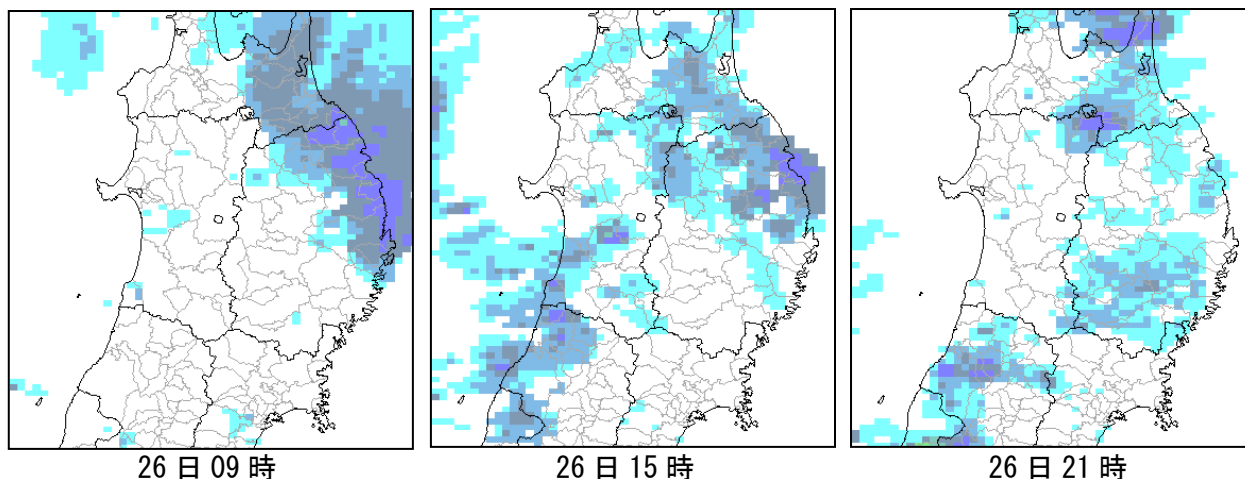


○速報天気図



○解析雨量（時間雨量）





○ 警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(10月25日から26日)

種別	地域
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雨(土砂災害)	宮古市、岩泉町
大雨	二戸地域、八幡平市、葛巻町、遠野市、一関市、沿岸北部、沿岸南部
洪水	遠野市、洋野町、宮古市、岩泉町、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
強風	岩手県
雷	岩手県
濃霧	岩手県
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市

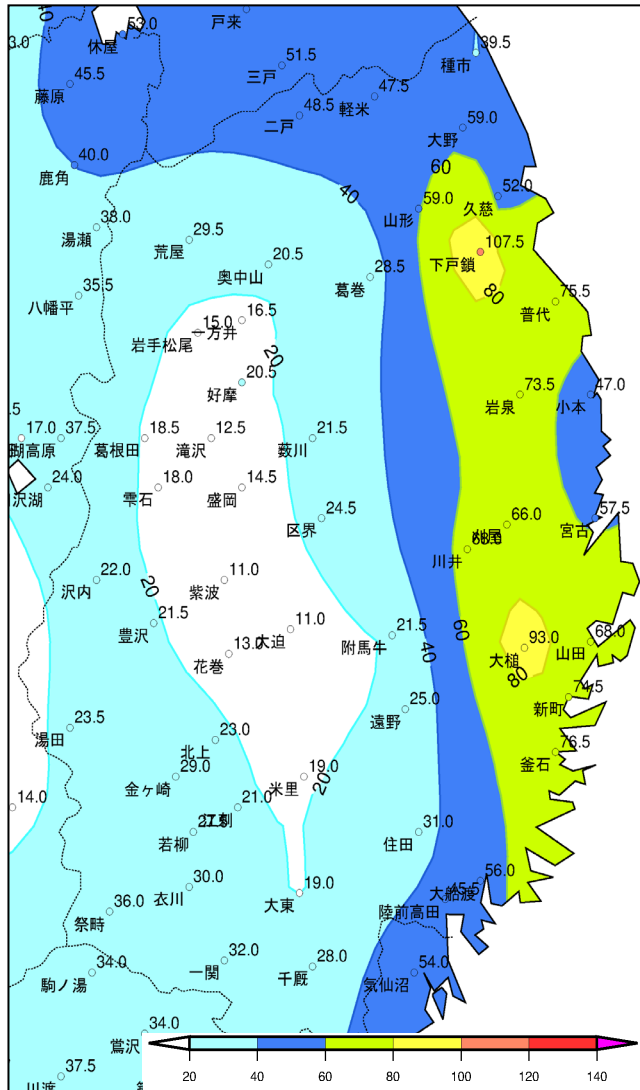
○ 岩手県気象情報の発表状況(10月24日から26日)

発表日	時分	標 題
10月24日	16時41分	大雨に関する岩手県気象情報 第1号
10月24日	17時01分	大雨に関する岩手県気象情報 第2号
10月25日	05時50分	大雨と高波に関する岩手県気象情報 第3号
10月25日	06時20分	大雨と高波に関する岩手県気象情報 第4号
10月25日	16時34分	大雨と高波に関する岩手県気象情報 第5号
10月25日	16時56分	大雨と高波に関する岩手県気象情報 第6号
10月25日	23時37分	大雨と高波に関する岩手県気象情報 第7号
10月26日	05時24分	高波と大雨に関する岩手県気象情報 第8号
10月26日	09時12分	高波と大雨に関する岩手県気象情報 第9号
10月26日	11時24分	高波と大雨に関する岩手県気象情報 第10号

○ 主な地点の期間合計降水量と最大1時間降水量(10月25日から26日)

地点名	期間合計降水量(mm)	日最大1時間降水量(mm) (起時)
下戸鎖	107.5	13.0 (26日 04時59分)
普代	75.5	7.0 (26日 03時33分)
岩泉	73.5	9.5 (26日 01時52分)
川井	68.0	11.0 (26日 01時33分)
大槌	93.0	13.0 (26日 01時09分)
山田	68.0	12.0 (26日 00時54分)
新町	74.5	13.0 (26日 01時05分)
釜石	76.5	14.5 (26日 00時35分)

○ 期間合計降水量分布図(mm) (10月25日から26日)



○ 主な地点の期間最大風速・風向(16方位)と期間最大瞬間風速・風向(16方位)
(10月25日から26日)

地点名	最大風速(m/s) (風向 起時)	最大瞬間風速(m/s) (風向 起時)
小本	9.3 (北東 26日 01時38分)	15.6 (東北東 26日 03時11分)
宮古	9.9 (北北東 26日 04時57分)	17.8 (北北東 26日 05時47分)
紫波	9.7 (北北西 26日 08時13分)	13.5 (北 26日 08時10分)
花巻	8.9 (北 26日 09時05分)	13.4 (北北西 26日 09時27分)
大船渡	8.2 (北北東 26日 01時19分)	17.3 (北 26日 05時04分)

(2) 被害状況

(単位：千円)

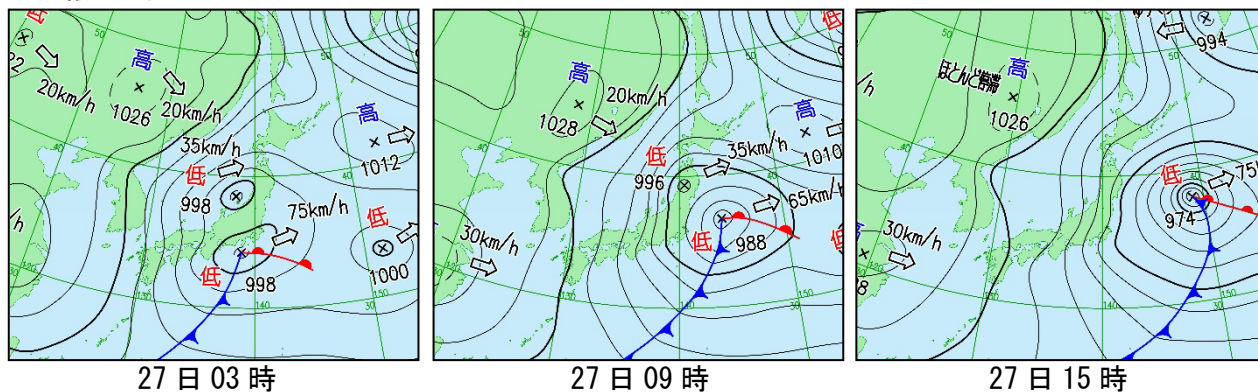
区分	被害額	被害状況	被害地域	
水産業	水産施設	50	水産施設破損 1 箇所	田野畑村
	漁具	11,400	定置網等 5 件	田野畑村
	養殖施設	1,400	わかめ養殖施設 14 台	田野畑村
	水産物	30	養殖用種苗 1 件	田野畑村
計	12,880		1 村	

17 12月27日の降雪災害

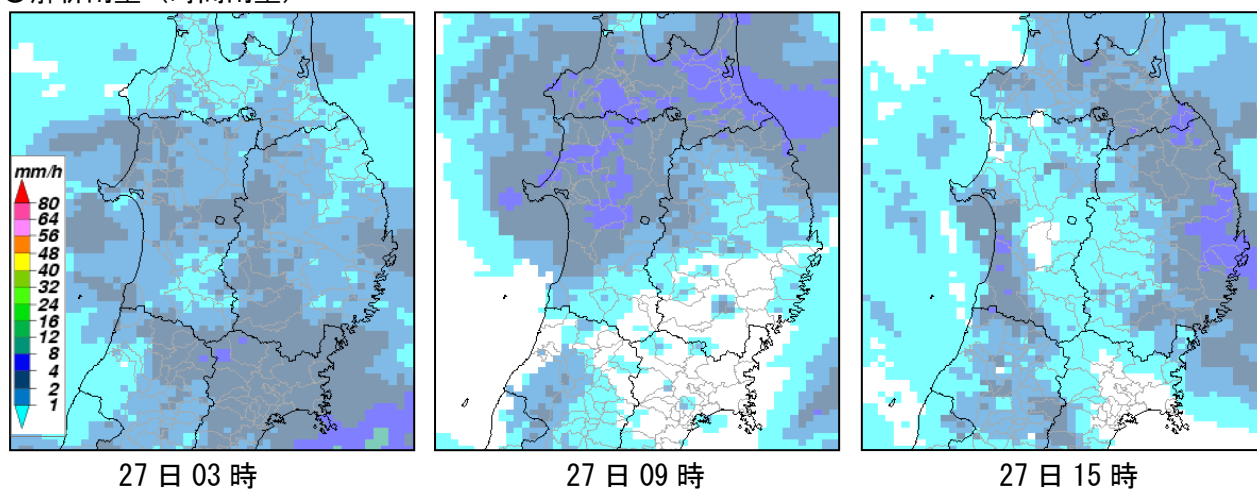
(1) 気象概況

12月27日、佐渡付近の低気圧が東北東へ進む。また、別の低気圧が東海道沖にあって発達しながら日本の東へ進み、東北地方は冬型の気圧配置となる。このため、岩手県では雪や雨が降った。

○速報天気図



○解析雨量（時間雨量）



○ 警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(12月27日)

種別	地域
大雪	二戸地域、盛岡地域、久慈地域
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雪	二戸地域、盛岡地域、花北地域、遠野市、奥州金ヶ崎地域、沿岸北部
強風	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
着雪	二戸地域、盛岡地域、花北地域、遠野市、奥州金ヶ崎地域、沿岸北部
風雪	岩手県
なだれ	二戸地域、盛岡地域、花北地域、遠野市、奥州金ヶ崎地域、沿岸北部
高潮	久慈市、普代村、野田村、宮古市、山田町、大槌町
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市

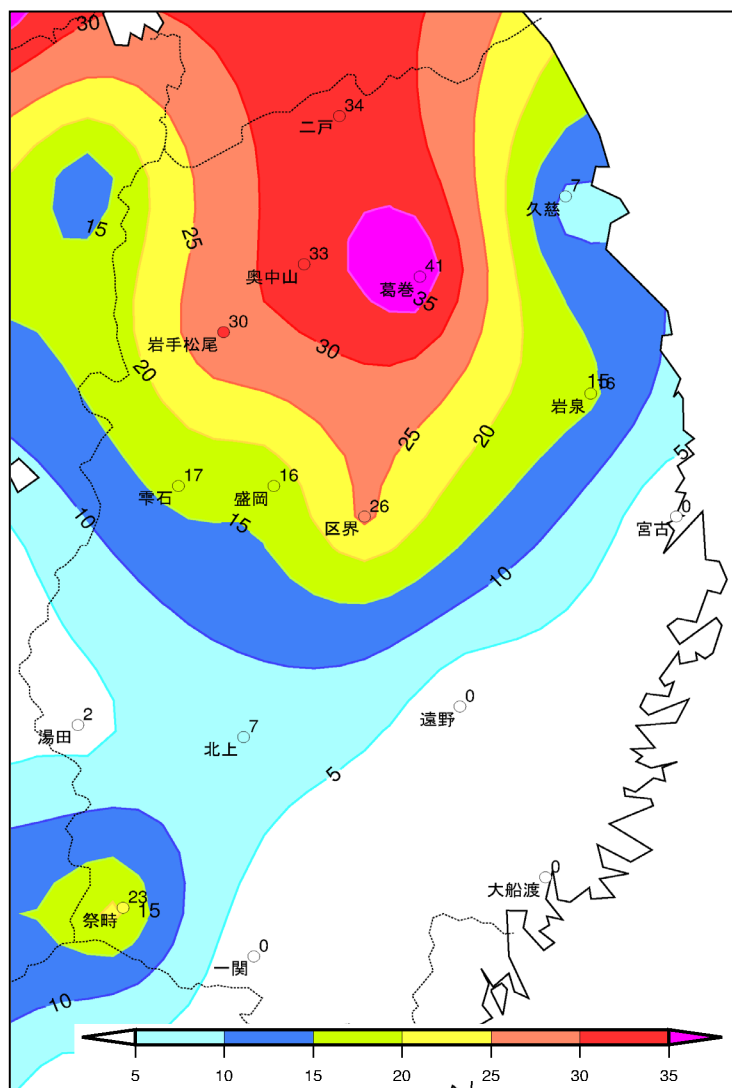
○ 岩手県気象情報の発表状況(12月27日)

発表日	時分	標 題
12月27日	13時37分	大雪に関する岩手県気象情報 第1号
12月27日	17時21分	高波と大雪に関する岩手県気象情報 第2号

○ 主な地点の積雪差合計（降雪量合計）と日最深積雪（12月27日）

地点名	積雪差合計(cm)	最深積雪(cm)（記時）
二戸	34	33（24時）
奥中山	33	49（19時）
葛巻	41	47（19時）
岩手松尾	30	37（14時）
岩泉	16	14（16時）
雫石	17	30（10時）
盛岡	16	17（14時）
区界	26	44（15時）
祭時	23	18（24時）

○ 積雪差合計（降雪量：cm）の分布図(12月27日)



(2) 被害状況

(単位：千円)

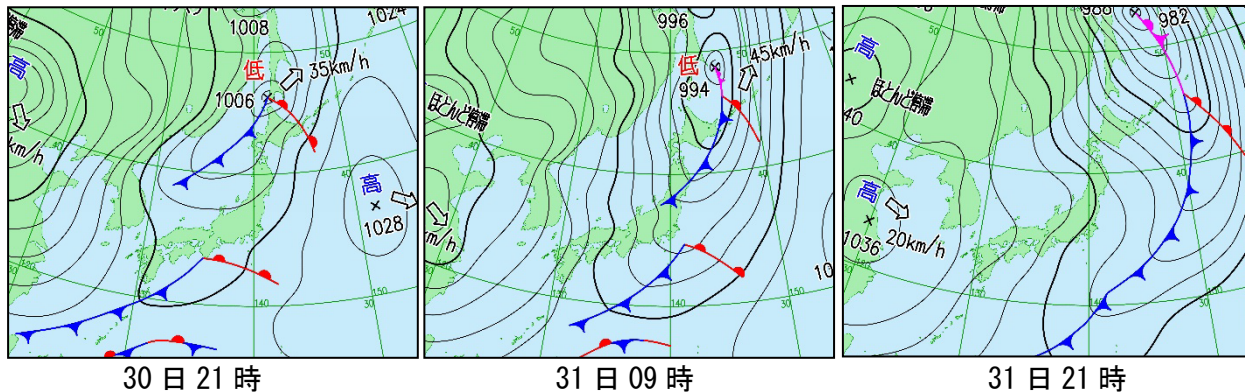
区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農業施設	30,000	鶏舎 2 棟	洋野町
計		30,000		1 町

18 12月31日の暴風雪災害

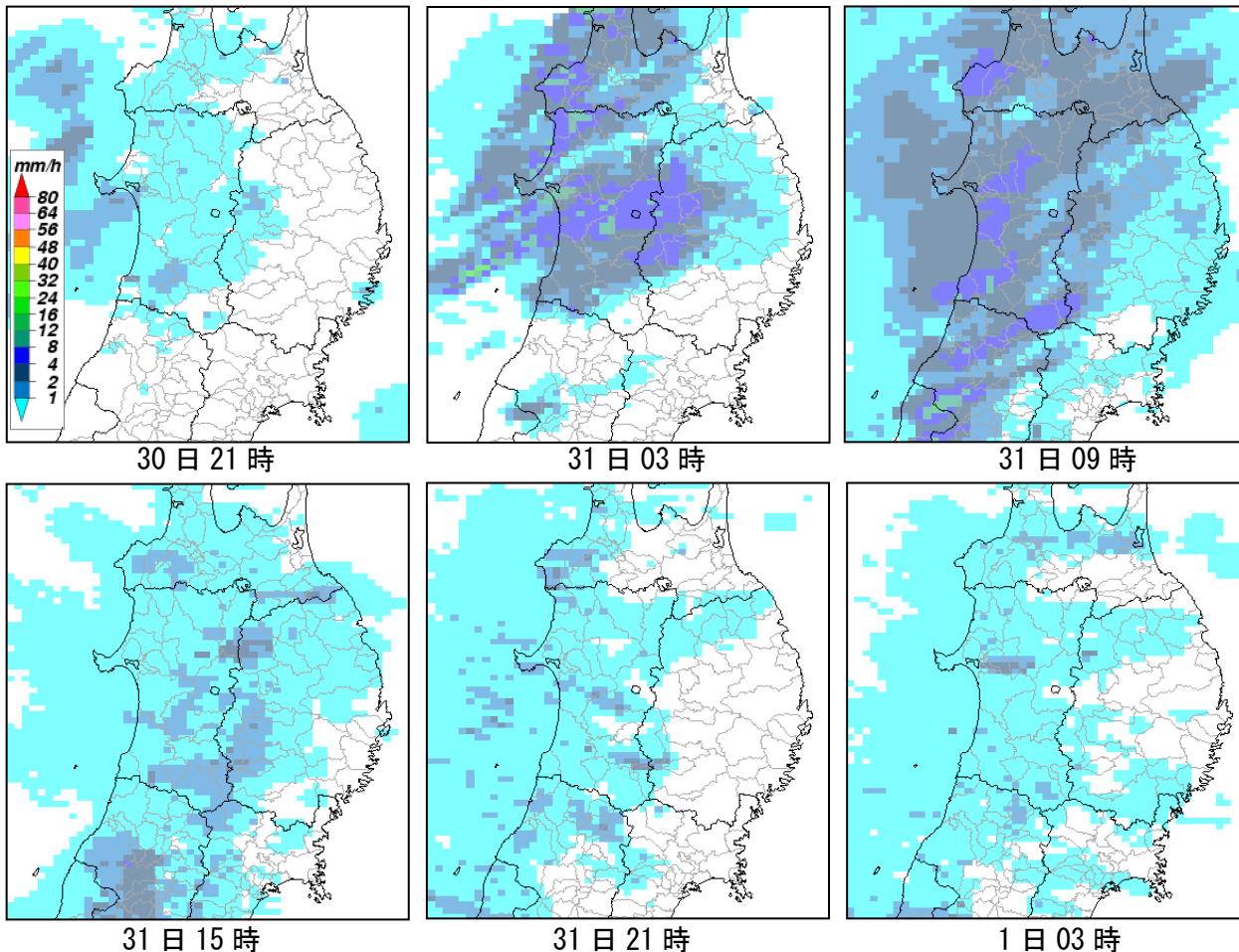
(1) 気象概況

12月30日、間宮海峡付近の低気圧が北東へ進みこの低気圧からのびる寒冷前線が北日本を通過し、前線の通過後は冬型の気圧配置となったため、岩手県内は31日から1月1日にかけて雨や雪が強くなった。

○速報天気図



○解析雨量 (時間雨量)



○ 警報(赤)・注意報(黄)の発表状況(12月31日)

種別	地域
暴風雪	内陸
風雪	岩手県
雷	内陸
濃霧	岩手県
波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市

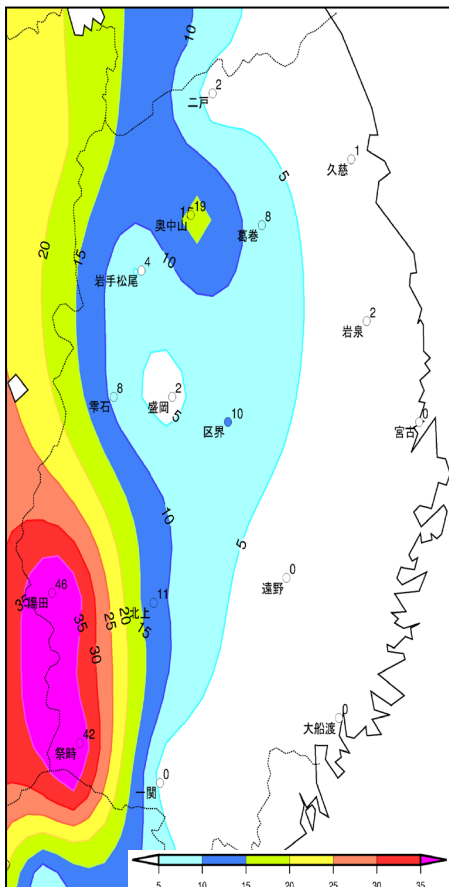
○ 岩手県気象情報の発表状況(12月30日から31日)

発表日	時分	標 題
12月30日	16時33分	風雪と高波に関する岩手県気象情報 第1号
12月31日	06時17分	風雪と高波に関する岩手県気象情報 第2号
12月31日	16時33分	風雪と高波に関する岩手県気象情報 第3号
12月31日	19時53分	暴風雪と高波に関する岩手県気象情報 第4号

○ 主な地点の期間積雪差合計(降雪量合計)と期間最深積雪(12月31日から1月1日)

地点名	積雪差合計(cm)	最深積雪(cm) (起時)
奥中山	19	44 (1月1日 24時)
区界	10	26 (1月1日 24時)
湯田	46	56 (1月1日 24時)
北上	11	11 (1月1日 24時)
祭時	42	33 (1月1日 24時)

○ 期間積雪差合計(降雪量合計:cm)分布図(12月31日から1月1日)



○ 主な地点の期間最大風速・風向（16方位）と期間最大瞬間風速・風向（16方位）
（12月31日から1月1日）

地点名	最大風速(m/s)（風向 起時）	最大瞬間風速(m/s)（風向 起時）
紫波	17.5（西 31日 19時41分）	24.0（西 31日 19時36分）
花巻	12.4（西 31日 19時33分）	21.6（西 31日 19時29分）
若柳	17.7（西北西 31日 19時33分）	27.0（西北西 31日 19時28分）
江刺	13.2（西北西 31日 23時08分）	21.7（西北西 31日 19時31分）
大船渡	12.6（北北西 31日 13時30分）	26.3（北北西 31日 18時12分）

(2) 被害状況

（単位：千円）

区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農業施設	60	パイプハウス3棟	奥州市
計		60		1市

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

1 6月22日から23日の豪雨災害

(1) 農作物被害

農業共済組合に対し、農業共済の対象となる農作物等について、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な損害評価の実施及び共済金の早期支払を要請した。

(2) 農地・農業用施設被害

被災した農地及び農業用施設のうち復旧事業費 40 万円以上の箇所について、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律（以下「暫定法」）に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し 5 箇所 17,185 千円の採択を申請した。

国による災害査定は、9月2日から9月3日にかけて実施され、5箇所 16,084 千円が採択された。

(3) 林業関係被害

被災した林業施設（林道）について、管理者である市町村が単独事業により自力復旧を計画。市町村に対して、事業の円滑な実施に向けた復旧計画の立案や技術的な助言を行った。

2 10月12日から13日の台風第19号災害

(1) 農作物被害

① 被災農家への対策

被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(公財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業（貸付当初5年間実質無利子化）について、関係機関へ周知した。

② 復旧対策事業

農作物災害復旧事業（県単）により、畜産農家の代替粗飼料の購入経費を支援した。

(2) 農業施設被害

① 被災農家への対策

被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(公財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業（貸付当初5年間実質無利子化）について、関係機関へ周知した。

農業共済組合に対し、農業共済の対象となる農作物や園芸施設（パイプハウス等）について、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な損害評価の実施及び共済金の早期支払を要請した。

② 復旧対策事業

台風第19号により農業施設等に被害を受けた農業者の農業経営の安定化を図るため、農産物の生産に必要な施設の再建等を、強い農業・担い手づくり総合支援交付金（被災農業者支援型）により、緊急的に支援した。

(3) 畜産関係被害

畜舎やその周辺の排水の徹底、敷料交換、排せつ物の除去、空気の入替え等による乾燥、消毒の実施について、10月10日及び15日に農作物技術情報（号外、台風対策）を発行し、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報提供を行った。

(4) 農地・農業用施設被害

被災した農地及び農業用施設のうち復旧事業費 40 万円以上の箇所について、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律（以下「暫定法」）に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し 123 箇所 681,361 千円の採択を申請した。

国による災害査定は、12月2日から12月25日にかけて実施され、123箇所 635,112 千円が採択された。

(5) 林業関係被害

① 林業施設被害

大雨等により被災した森林作業道の復旧に向け、市町村や事業者等へ指導を行い、98箇所の復旧を支援した。

被災した林業施設（林道）について、暫定法に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し79箇所7億3,924万円の採択を申請した。

国による災害査定は、12月16日から令和2年1月10日に実施され、79箇所6億8,743万円が採択された。

② 森林・林地荒廃被害

強風等により風倒木が発生した森林の復旧に向け、市町村や事業者等へ指導を行い、8箇所の復旧を支援した。

災害関連緊急治山事業と県単独治山事業により、林地荒廃被害による再度災害を防止するための治山対策を、13箇所で事業化した。

(6) 水産関係被害

水産業被災施設復旧整備事業と水産業復旧緊急支援対策事業により、被災したサケ・マスふ化場や水産施設等の復旧を支援した。

漁船や定置網の被害については、漁船保険、漁業共済に加入している場合の保険金や共済金による補てんも含め、所有者の自力復旧により対応した。生産物被害についても、漁業共済に加入している場合は、減収分の一定割合を補てんする共済金が支払われた。

(7) 漁港関係被害

① 漁港施設

公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法の採択基準を満たす被害があり、国に対し14箇所373,064千円の採択を申請した。

国による災害査定は、12月9日から12日にかけて実施され、14箇所365,478千円が採択された。

② 漁業用施設

農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律の採択基準を満たす被害があり、国に対し1箇所198,325千円の採択を申請した。

国による災害査定は、12月9日から12日にかけて実施され、1箇所193,567千円が採択された。

③ 漁業集落環境施設

災害関連漁業集落環境施設復旧事業の採択要件を満たす被害があり、国に対し2箇所17,277千円の採択を申請した。

国による災害査定は、12月9日から12日にかけて実施され、2箇所14,549千円が採択された。

【参考資料】

農林水産部災害対策実施マニュアル

農林水産部農林水産企画室

—農林水産部災害対策実施マニュアル目次—

I	災害対策に係る例規等の体系	1
II	災害応急対策の体系	
1	『岩手県地域防災計画』	1
2	『岩手県災害警戒本部』又は『岩手県災害対策本部』の設置	1
3	『岩手県災害対策本部規程』、『岩手県災害警戒本部設置要領』、『岩手県災害対策本部地方支部運営要領』	1
4	『農林水産部災害対策実施マニュアル』	1
III	配備体制	
1	職員の配備	3
2	配備職員への指示	3
3	本部連絡員	6
4	緊急初動特別班員	6
5	災害対策本部支援室、調査班への職員派遣	7
6	農林水産部調査班	7
7	現地作業班	7
8	標識の着用	7
IV	非常招集	
1	非常招集の方法	
(1)	配備指令による参集	7
(2)	自主参集	8
2	在勤公署に参集できない場合の対応	8
3	非常招集事務担当者	9
V	分掌事務等	
1	本庁各室課	9
2	広域振興局農林水産担当部等	14
3	出先機関	14
VI	災害情報の収集・伝達及び応急対策	
1	災害情報の収集・伝達	14
2	応急対策及び指示	15
VII	農林水産部災害対策会議	17
VIII	その他関係事項	
1	各所属等において措置すべき事項	18

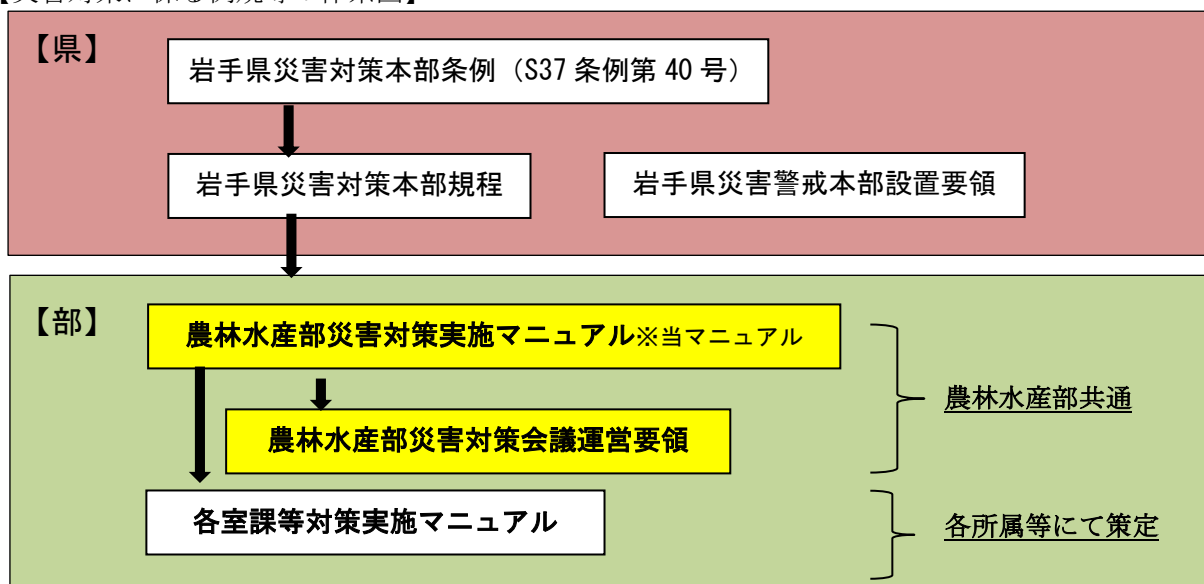
農林水産部災害対策実施マニュアル

制 定 平成 15 年 5 月 1 日
最終改定 令和 3 年 5 月 26 日

このマニュアルは、『岩手県災害対策本部規程（平成 8 年岩手県災害対策本部長訓令第 2 号）』第 9 条の規定により農林水産部の災害対策について必要な事項を定めたものである。

I 災害対策に係る例規等の体系

【災害対策に係る例規等の体系図】



II 災害応急対策の体系

1 『岩手県地域防災計画』

県の地域に災害が発生し、又は発生するおそれがある場合（以下「災害発生時」という。）において、県が行う災害応急対策は、『岩手県地域防災計画』第 3 章「災害応急対策計画」に定めるところにより実施する。

2 『岩手県災害警戒本部』、『岩手県災害特別警戒本部』又は『岩手県災害対策本部』の設置

災害予防及び災害応急対策は、災害発生規模等により岩手県災害警戒本部、岩手県災害特別警戒本部又は岩手県災害対策本部を設置して行われる。

また、岩手県災害警戒本部、岩手県災害特別警戒本部又は岩手県災害対策本部が設置された場合は、『岩手県災害警戒本部設置要領』別表又は『岩手県災害対策本部規程』別表第 5 に定める所管区域ごとに、関係する所管区域に地方支部が設置される。

なお、岩手県災害対策本部が設置された場合は、広域振興局に広域支部が設置される。

3 『岩手県災害対策本部規程』、『岩手県災害警戒本部設置要領』、『岩手県災害対策本部〇〇広域支部運営要領』、『岩手県災害対策本部〇〇地方支部運営要領』

岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部の防災活動又は応急対策の具体的な活動は、これらの要領等に基づいて実施される。

4 「農林水産部災害対策実施マニュアル」

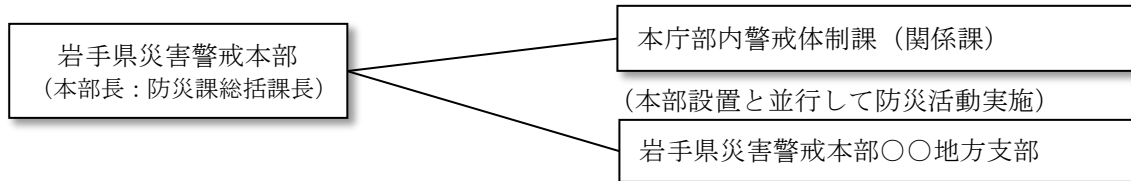
当マニュアルは、『岩手県地域防災計画』第 3 章「災害応急対策計画」及び上記要領等を踏まえ、農林水産部における災害対策に係る体制や具体的活動方法等を定めたものである。

《災害応急対策等の体系図》

★岩手県災害警戒本部の設置 【岩手県災害警戒本部設置要領】

主な設置基準

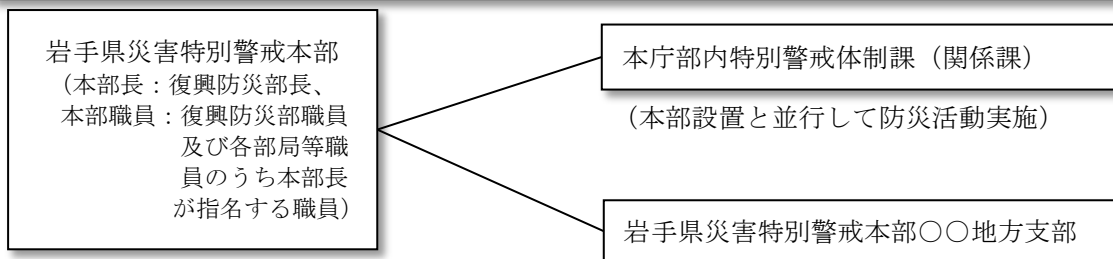
- 気象警報、高潮警報、波浪警報又は洪水警報が発表された場合
- 北上川上流洪水予報、雫石川洪水予報及び猿ヶ石川洪水予報のうちの氾濫警戒情報、氾濫危険情報又は氾濫発生情報（洪水警報）が発表された場合
- 大規模な火災、爆発等による災害が発生した場合において、防災課総括課長が必要と認めた場合
- 県内で震度4又は震度5弱を観測した場合
- 原子力事業者から原子力災害対策指針に示された警戒事態に該当する事象等の発生に関する通報があった場合



★岩手県災害特別警戒本部の設置 【岩手県災害警戒本部設置要領】

主な設置基準

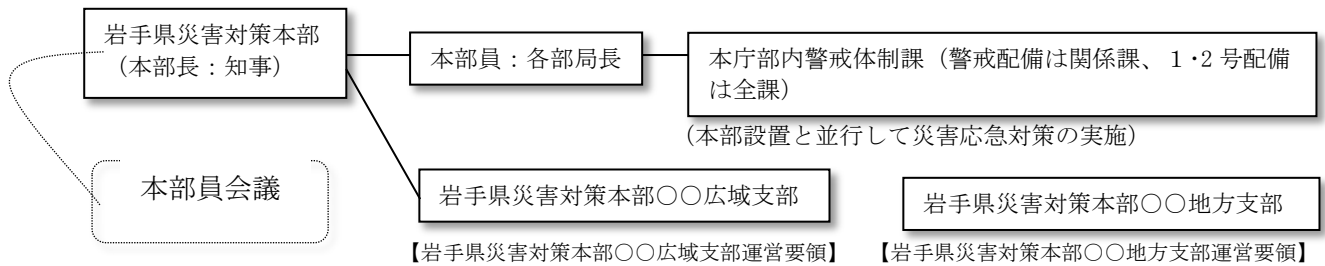
- 災害警戒本部の設置基準において、復興防災部長が応急措置の実施のため関係機関との調整が必要と判断したとき
- 津波注意報が発表された場合
- 岩手山、秋田駒ヶ岳又は栗駒山に噴火警報又は火口周辺警報のうち噴火警戒レベル3が発表された場合
- 原子力事業者から特定事象の発生に関する通報があった場合
- 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から県内での事業所外運搬事故の発生に関する通報があった場合



★岩手県災害対策本部の設置 【岩手県災害対策本部規程】

主な設置基準

- 相当規模の災害の発生のおそれがある場合
- 相当規模の災害が発生した場合
- 津波警報が発表された場合
- 県内で震度5強以上の地震が発生した場合
- 岩手山等の噴火警戒レベル4が発表された場合
- 原子力事業者から原子力緊急事態の発生に関する通報があり、緊急事態応急対策を講じる必要があるとき
- 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から事業所外運搬事故又は原子力緊急事態の発生に関する通報があり、緊急事態応急対策を講じる必要があるとき



Ⅲ 災害対策本部の配備体制

1 職員の配備（県災害対策本部規程第27条）

災害発生時における職員の配備は、岩手県災害対策本部が設置された場合の配備体制の区分に応じて実施する。

配備体制の区分は、①指定職員配備（1号）、②主査以上配備（2号）、③全職員配備（3号）となっている。

また、気象予報・警報が発表された場合は、必要に応じ関係課において独自に警戒態勢をとり、防災活動を実施する。

2 配備職員への指示

配備体制に伴う職員への指示は、次のとおりである。

- (1) 本部連絡員は、県災害対策本部の指示により執務する。
- (2) 部内各室課（「V 分掌事務等」に掲げる本庁各室課）の職員は、農林水産部長の指示を受けた所属長の指示により執務する。
- (3) 広域振興局農林水産担当部等（「V 分掌事務等」に掲げる広域振興局農林水産担当部等。以下同じ。）の職員は各地方支部長の指示を受けた所属長に指示により、出先機関（「V 分掌事務等」に掲げる出先機関。以下同じ。）の職員は所属長の指示により、それぞれ執務する。

指定職員配備体制

区 分	説 明
配備基準	<ol style="list-style-type: none"> 1 次に掲げる警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。 <ol style="list-style-type: none"> (ア) 気象警報 (イ) 高潮警報 (ウ) 波浪警報 (エ) 洪水警報 (オ) 北上川上流洪水予報、雫石川洪水予報及び猿ヶ石川洪水予報のうち氾濫警戒情報、氾濫危険情報又は氾濫発生情報（洪水警報） (カ) 水防警報（知事が指定した河川に係るものに限る。） 2 次に掲げる警報のいずれかが発表された場合 <ol style="list-style-type: none"> (ア) 気象特別警報 (イ) 高潮特別警報 (ウ) 波浪特別警報 3 大規模な火災、爆発等による相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。 4 津波警報が発表された場合 5 県内で震度5強を観測した場合 6 岩手山、秋田駒ヶ岳又は栗駒山に噴火警報（居住地域）又は噴火警報のうち噴火警戒レベル4が発表された場合 7 八幡平に噴火警報（居住地域）又は噴火警報が発表された場合

		<p>8 原子力事業者（原子力災害対策特別措置法（平成 11 年法律第 156 号。以下「原災法」という。）第 2 条第 3 号に規定する原子力事業者のうち本県に隣接する県の区域に同条第 4 号に規定する原子力事業所を設置するものをいう。以下同じ。）から原子力緊急事態（原災法第 2 条第 2 号に規定する原子力緊急事態をいう。以下同じ。）の発生に関する通報があり、かつ、当該原子力緊急事態の影響が本県の区域に及ぶ場合又は及ぶおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により緊急事態応急対策（原災法第 2 条第 5 号の規定する緊急事態応急対策をいう。以下同じ。）を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>9 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から事業所外運搬事故（原災法第 2 条第 2 号に規定する事業所外運搬に係る事故をいう。以下同じ。）による特定事象（原災法第 10 条第 1 項に規定する事象のことをいう。以下同じ。）又は原子力緊急事態の発生に関する通報があり、かつ、当該特定事象又は当該原子力緊急事態の影響が本県の区域に及ぶ場合又は及ぶおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により緊急事態応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>10 その他本部長が特に必要と認めた場合</p>	
本 庁	活 動 要 領	部 長	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。</p> <p>2 予測される災害に対処し、必要と認められる物資、車両、機材等を点検整備し、直ちに使用できるよう準備を整える。</p> <p>3 予測される災害に対処し、必要と認める予防措置を検討し、被害を最小限に止めるために必要な計画を検討する。</p> <p>4 状況の推移に応じて、次の配備体制に応じ得る体制を整える。</p>
		各 室 課 の 長	<p>(農林水産企画室長処理事項) 本庁関係課、広域振興局農林水産担当部及び出先機関から収集した情報を部長に報告し、かつ、災害対策本部長に報告する。</p> <p>(各室課の長共通処理事項) 1 マニュアルに従い、広域振興局農林水産担当部から収集した災害情報等の処理に当たる。 2 部長の指示、命令事項の処理に当たる。</p>
		配 備 職 員	農林水産企画室、農村建設課、林業振興課、森林整備課、森林保全課、漁港漁村課の長及び主査相当職以上の職員で部長が指名した職員
産 担 当 部 等	活 動 要 領	産 担 当 部 等 の 長	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。</p> <p>2 車両、機材等を点検し、災害応急対策に活用できるよう措置する。</p> <p>3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、本庁関係課及び農林水産企画室長に報告する。</p> <p>4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、支部長に対し応援を要請する。</p>
		配 備 職 員	広域振興局農林水産担当部長等が指名した職員
出 先 機 関	活 動 要 領	出 先 機 関 の 長	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。</p> <p>2 車両、機材等を点検整備し、災害応急対策に活用できるよう措置する。</p> <p>3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、農林水産企画室長に報告する。</p> <p>4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、農林水産企画室長に対し応援を要請する。</p>
		配 備 職 員	部長が特に必要と認める出先機関の課長以上の職員及び各出先機関の長が指名した職員

主 査 以 上 配 備 体 制

区 分		説 明	
配備基準		<p>1 次に掲げる警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が、主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>(ア) 気象警報 (イ) 高潮警報 (ウ) 波浪警報 (エ) 洪水警報 (オ) 気象特別警報 (カ) 高潮特別警報 (キ) 波浪特別警報 (ク) 北上川上流洪水予報、雫石川洪水予報及び猿ヶ石川洪水予報のうちの氾濫警戒情報、氾濫危険情報又は氾濫発生情報（洪水警報） (ケ) 水防警報（知事が指定した河川に係るものに限る。）</p> <p>2 大規模な火災、爆発等による相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>3 津波警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において本部長が主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>4 県内で震度6弱を観測した場合</p> <p>5 岩手山、秋田駒ヶ岳又は栗駒山に噴火警報（居住地域）又は噴火警報のうち噴火警戒レベル5が発表された場合</p> <p>6 原子力事業者から原子力緊急事態の発生に関する通報があり、かつ、原子力緊急事態宣言（原災法第15条第2項に規定する原子力緊急事態宣言をいう。以下同じ。）に規定する緊急事態応急対策を実施すべき区域に本県に隣接する県の区域が含まれる場合において、本部長が主査以上配備体制により緊急事態応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>7 その他本部長が特に必要と認めた場合</p>	
本 庁	活動要領	部長	指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、災害応急対策を実施する。
		長 各室課の	(農林水産企画室長処理事項) 指定職員配備体制における活動に準ずる。 (各室課の長共通処理事項) 指定職員配備体制における活動に準ずる。
	配備職員	すべての室課の主査相当職以上の職員及び各室課の長が指名した職員	
担当部等 広域振興局農林水産	活動要領	広域振興局農林水産担当部等の長	指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
	配備職員	すべての所属の主査相当職以上の職員及び広域振興局農林水産担当部等の長が指名した職員	

出先機関	活動要領	出先機関の長	指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
	配備職員		すべての出先機関の主査相当職以上の職員及び各出先機関の長が指名した職員

全職員配備体制

区分		説明
配備基準		1 大規模な災害が発生した場合において、本部長が本部のすべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。 2 津波警報が発表された場合 3 県内で震度6強又は震度7を観測した場合 4 原子力緊急事態宣言がなされた場合において当該原子力緊急事態宣言に規定する緊急事態応急対策を実施すべき区域に本県の区域が含まれる場合又は本県の区域が含まれることが想定される時。 5 その他本部長が特に必要と認めた場合
本庁	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員
等産局広 担農域 当林振 部水興	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員
関出 先機	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員

【備考】出先機関の配備体制は、次のとおりとする。

- 1 当該機関の周辺区域において上記の配備基準に該当する災害が発生した場合等に、各配備体制をとるものとする。
- 2 農林水産企画室長からの配備指令があるまでの間の配備体制について、各機関で作成した行動マニュアルに上記と異なる規定をした場合は、それによることができる。

3 本部連絡員（県災害対策本部規程第8条）

本部に、本部連絡員を置き、農林水産部長が部内の職員のうちから指名する。

本部員連絡員の職務

災害対策本部が設置された場合に、本部長の命令伝達、各部門・部内の連絡調整及び情報収集の事務を担当する。

4 緊急初動要員（県災害対策本部規程第28条の2）

本部（及び地方支部）に、緊急初動要員を置き、本部にあっては農林水産部長が部内の職員のうちから指名する。

緊急初動要員の職務

本部（又は地方支部）の体制が整うまでの間、災害応急対策に係る情報収集・指示、本部支援室・地方支部・関係機関との連絡調整等に関する事務を行う。

5 災害対策本部支援室、調査班への職員派遣（県災害対策本部規程第 23 条、第 25 条）

岩手県災害対策本部に本部支援室が設けられた場合、班員に指名された職員は、支援室各班の業務に従事する。また、調査班が設けられた場合、部内職員が班員に指名され、災害地に派遣されることがある。

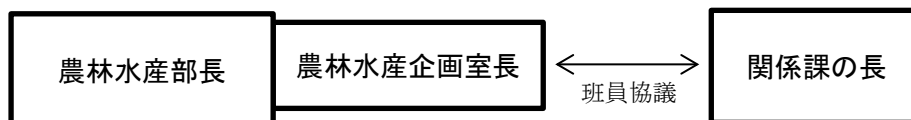
本部支援室班員は復興防災部長が、調査班員は本部支援室長が、それぞれ農林水産部長と協議して指名する。



6 農林水産部調査班

農林水産部長が必要と認めた場合、県災害対策本部の調査班とは別に部調査班を設け、現地に職員を派遣することがある。

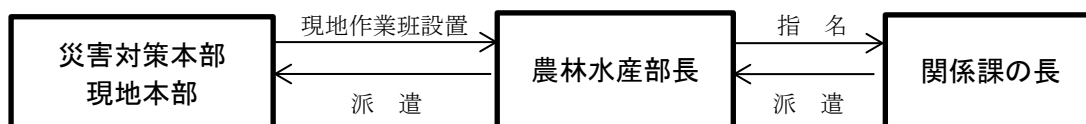
班員は、農林水産企画室長が部内関係課総括課長と協議して指名する。



7 現地作業班（県災害対策本部規程第 26 条）

本部長は、災害地における応急対策活動上必要があると認められるときは、現地作業班（医療班、防疫班等）を設け、災害地に派遣する。

農林水産部所掌業務に係る「現地作業班」が設置された場合は、班長、副班長及びその他の班員を農林水産部長が指名する。



8 標識の着用（県災害対策本部規程第 35 条）

災害応急対策事務に従事するとき、又は災害応急対策業務に自動車を使用するときは、定められた腕章又は標識旗を着用する。

IV 非常招集

1 非常招集の方法

(1) 配備指令による参集（県災害対策本部規程第 29 条）

① 農林水産部長は、県災害対策本部長から配備指令を受けたときは、速やかに「農林水産部非常招集系統図」（別途定める）により本庁各室課の長に連絡する。

【県災害対策本部長からの配備指令は、携帯電話（災害用）を利用して、部長のほか、副部長、各担当技監及び本部連絡員にも伝えられる。】

② ①の連絡を受けた本庁各室課の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

③ 広域振興局農林水産担当部等の長は、所轄の地方支部長から配備体制の指令を受けたときは、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

④ 農林水産企画室長は、必要に応じて関係する出先機関の長に連絡する。

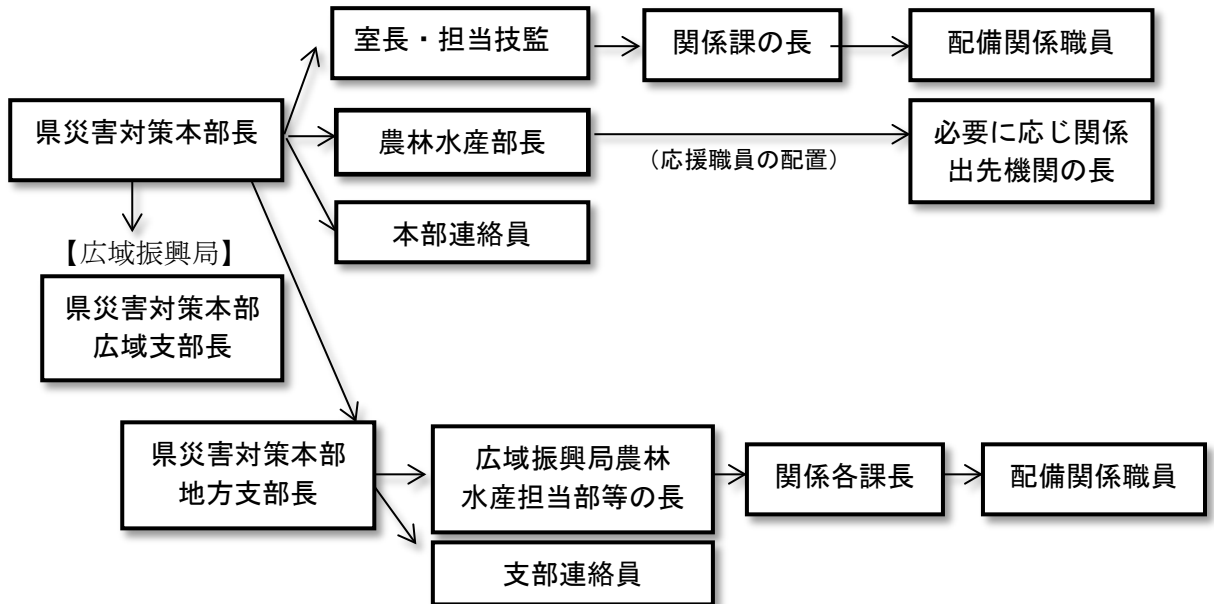
⑤ ④の連絡を受けた出先機関の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に

連絡する。

⑥ ①から⑤の連絡を受けた職員は、速やかに参集し、配備体制をとるものとする。

《非常招集体系図》

【本庁・出先機関】



(2) 自主参集（県災害対策本部規程第 30 条）

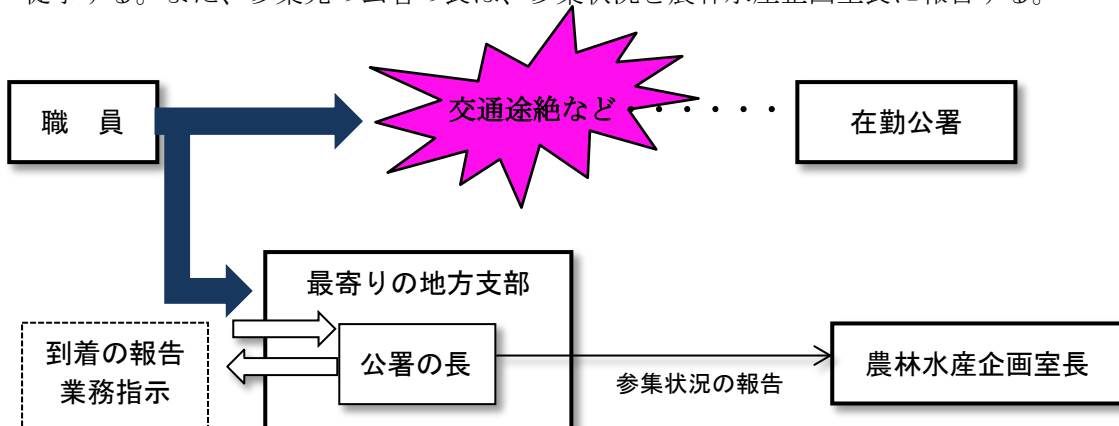
配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外において、配備基準に該当する事態が発生したと認められるときは、配備指令を待たずに、直ちに、在勤公署に参集する。

【自主参集の対象となる災害発生状況と参集職員の範囲は、「Ⅲ 配備体制 1 職員の配備」と同様である。】

2 在勤公署に参集できない場合の対応（県災害対策本部規程第 31 条）

配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外に災害が発生した場合において、交通機関の途絶など、やむを得ない事情により在勤公署に参集できないときは、在勤公署の長に連絡のうえ、最寄りの地方支部に参集することができる。

この場合、参集先の公署の長に到着の報告を行うとともに、その指示に従い、必要な事務に従事する。また、参集先の公署の長は、参集状況を農林水産企画室長に報告する。



3 非常招集事務担当

本庁各室課の長、広域振興局農林水産担当部等の長及び各出先機関の長は、あらかじめ所属職員の中から非常招集事務担当者を指名する。

非常招集事務担当者の職務

- 1 非常招集系統図(配備体制がわかるもの)の作成に関する事。
- 2 災害発生時における職員の出勤状況の把握、職員及びその家族の安否確認に関する事。
- 3 安否不明の職員がある場合、農林水産企画室総務管理担当へその旨報告する事。

V 分掌事務等

災害発生時における本庁各室課、広域振興局農林水産担当部及び各出先機関の分掌事務は、次のとおりとする。

1 本庁各室課

所 属 等	県 災 害 対 策 本 部 規 程 で 定 め る 主 な 担 当 業 務	県 地 域 防 災 計 画 (災 害 応 急 対 策 計 画) で 定 め る 担 当 内 容	そ の 他 の 分 掌 事 務
農 林 水 産 企 画 室	<ol style="list-style-type: none"> 1 部内各課等の統括に関する事。 2 農畜産物、農業施設、農地・農業用施設、林業施設、水産施設、漁港施設等の被害調査及び応急対策の総括に関する事。 3 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関する事(原子力災害の場合及び所管事項(岩手県知事部局行政組織規則第12条に規定する農林水産部の分課の分掌事務のことをいう。以下同じ。)に係るものに限る。) 4 災害特別警戒本部の対応に関する事。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設被害情報の収集 ・農作物等被害情報の収集 ・家畜等被害情報の収集 ・水産関係被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設被害報告 ・農作物等被害報告 ・家畜等被害報告 ・水産関係被害報告 3 広報広聴計画 <ul style="list-style-type: none"> ・所管業務に係る広報資料の収集、作成整理 4 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農業施設被害情報の収集 ・農作物等被害情報の収集 ・家畜等被害情報の収集 	
団 体 指 導 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 農業共済に関する事。 2 農業金融、林業金融及び水産金融に関する事。 3 他課等に対する応援に関する事。 		
流 通 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 食料品、生活必需品等の物資の調達及びあっせんに関する事。 2 食料品取扱機関との連絡に関する事 3 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関する事(原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 県、市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・米穀の調達に係る農林水産省政策統括官に対するあっせん要請 ・農産副食物の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部に対するあっせん要請 ・畜産副産物の調達に係る畜産加工品製造業者に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 2 食料、生活必需品等供給計画 <ul style="list-style-type: none"> ・食料品、生活必需品等の物資の調達 	

		及びあっせん ・食料品取扱機関との連絡	
農業振興課	1 経営構造対策事業、山村等振興対策事業等で整備した施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 他課等に対する応援に関すること。		1 農作物気象災害の取りまとめに関すること。
農業普及技術課	1 農作物の被害の技術対策に関すること。 2 農業気象に関すること。 3 肥料の輸送及びあっせんに関すること。 4 病虫害防除用の資機材の調達及びあっせんに関すること。 5 病虫害防除に関すること。 6 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 7 他課等に対する応援に関すること。	1 県、市町村等応援協力計画 ・肥料及び病虫害防除用資機材の調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 2 農畜産物応急対策計画 ・病虫害防除に係る技術指導	1 低温・日照不足の異常気象による被害防止対策や関係機関や団体に対する適時適切な情報提供等に関すること。
農村計画課	1 他課等に対する応援に関すること。		
農村建設課	1 防災ダムの洪水調節及び応急対策に関すること。 2 農地・農業用施設、農村生活環境施設並びに農地の保全に係る海岸保全施設及び地すべり防止施設の被害調査及び応急対策に関すること（県土整備部下水環境課の主管に属するものを除く。）。	1 活動体制計画 ・農地農業用施設被害情報の収集 ・農林水産省農村振興局所管海岸保全施設被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 ・農地農業用施設被害報告 ・農林水産省農村振興局所管海岸保全施設被害報告 3 公共土木施設・鉄道施設等応急対策計画 ・各公共土木施設（農林水産省農村振興局所管海岸保全施設）に係る被害状況調査及び応急対策の実施 4 林野火災応急対策計画 ・農地農業用施設被害情報の収集 ・農業用ダムの流量調整に係る連絡調整	
農産園芸課	1 農作物の種苗、蚕桑の輸送及びあっせんに関すること。 2 農作物（養蚕を含む）の被害に対する応急対策に関すること。 3 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。	1 県、市町村等応援協力計画 ・農作物の種苗及び蚕種に調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請	

	4 他課等に対する応援に関する事。		
畜産課	<ol style="list-style-type: none"> 1 国庫事業により整備された施設の被害調査及び応急対策に関する事。 2 畜産物の被害の応急対策に関する事。 3 家畜、家さん及び家畜飼料の被害の応急対策に関する事。 4 家畜伝染病予防及び家畜防疫対策に関する事。 5 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関する事（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜伝染病被害報告 2 県、市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜飼料の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部等に対するあつせん要請 ・上記物資の農水省に対するあつせん要請 3 農畜産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜対策全般 	
林業振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 食料品、生活必需品の物資の調達及びあつせんに関する事。 2 林産及び特用林産施設の被害調査及び応急対策に関する事。 3 林産物（苗木を除く）の被害調査及び応急対策に関する事。 4 国有林関係被害の情報収集に関する事。 5 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関する事（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産及び特用林産施設被害報告 ・林産物（苗木を除く）被害報告 ・国有林関係被害報告 2 県、市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・木材の調達に係る県木材協同組合連合会及び県木材産業協同組合に対するあつせん要請 ・木炭の調達に係る県木炭協会及び県木炭移出協同組合に対するあつせん要請 3 食料、生活必需品等供給計画 <ul style="list-style-type: none"> ・食料品、生活必需品等の物資の調達及びあつせん 4 応急仮設住宅の建設等及び応急修理計画 <ul style="list-style-type: none"> ・応急仮設住宅の供与及び被災住宅の応急修理に係る木材の確保 5 農畜産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・管理に係る技術指導 6 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産及び特用林産施設被害情報の収集 ・林産物（苗木を除く）被害情報の収集 ・国有林関係被害情報の収集 	
森林整備課	<ol style="list-style-type: none"> 1 森林火災の予防及び森林火災発生状況の把握に関する事。 2 林業種苗の調達及びあつせんに関する事。 3 作業道（県有林を除く）及び苗畑施設の被害調査及び応急対策に関する事。 4 林産物（苗木を除く。）の被害調査及び応急対策に関する事。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・作業道（県有林を除く）及び苗畑施設被害報告 ・林産物（苗木）被害報告 ・国有林及び県有林以外の森林被害報告 2 県、市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林業種苗の調達に係る種苗業者に対するあつせん要請 ・上記物資の農水省に対するあつせん要請 	

	<p>5 国有林及び県有林以外の森林の被害調査及び応急対策に関すること。</p> <p>6 他課等に対する応援に関すること。</p>	<p>3 農畜産物応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害防除に係る技術指導 <p>4 林野火災応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防資機材の調達及びあっせん ・作業道（県有林を除く）及び苗畑施設被害情報の収集 ・林産物（苗木）被害情報の収集 ・国有林及び県有林以外の森林被害情報の収集 	
森林保全課	<p>1 治山施設の被害調査及び応急対策に関すること。</p> <p>2 県有林の被害調査及び応急対策に関すること。</p> <p>3 林地荒廃の被害調査及び応急対策に関すること。</p> <p>4 林道施設の被害調査及び応急対策に関すること。</p> <p>5 他課等に対する応援に関すること。</p>	<p>1 情報の収集・伝達計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設被害報告 ・県有林関係被害報告 ・林地荒廃被害報告 ・林道施設関係被害報告 <p>2 公共土木施設・鉄道施設等応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各公共土木施設（治山施設）に係る被害状況調査及び応急対策の実施 <p>3 林野火災応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設被害情報の収集 ・県有林関係被害情報の収集 ・林地荒廃被害情報の報告 ・林道施設被害情報の収集 	
水産振興課	<p>1 水産関係の応急対策に関すること。</p> <p>2 食料品、生活必需品等の物資の調達及びあっせんに関すること</p> <p>3 漁船による海上輸送に関すること。</p> <p>4 漁業災害補償に関すること。</p> <p>5 海上災害に係る連絡調整及び応急対策に関すること。</p> <p>6 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。</p>	<p>1 交通確保・輸送計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁船による海上輸送の要請 <p>2 県、市町村等応援協力計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産食品の調達に係る県漁業協同組合連合会及び県水産加工業共同組合連合会に対するあっせん要請 ・上記物資の水産庁に対するあっせん要請 <p>3 食料、生活必需品等供給計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料品、生活必需品等の物資の調達及びあっせん要請 <p>4 農畜産物応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・管理に係る技術指導 <p>5 海上災害応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁連、漁協との連絡調整 ・港外にいる漁船に対する災害の周知 	
漁港漁村課	<p>1 漁港施設及び漁港区域に係る海岸保全施設の被害調査及び応急対策に関すること。</p> <p>2 漁場施設の被害調査及び応急対策に関すること。</p> <p>3 応急対策に係る漁港の利用に関すること。</p> <p>4 所管道路の車両の移動等に係る措置に関すること。</p> <p>5 所管道路の車両の移動等に伴う損失の補償に関すること。</p> <p>6 他課等に対する応援に関すること。</p>	<p>1 活動体制計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設等被害情報の収集 ・水産庁所管海岸保全施設被害情報の収集 <p>2 情報の収集・伝達計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設被害報告 ・水産庁所管海岸保全施設被害報告 <p>3 交通確保・輸送計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県管理漁港施設に係る応急復旧 ・災害対策基本法に基づく車両の移動等 <p>4 廃棄物処理・障害物除去計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁港関係障害物の除去 <p>5 公共土木施設・鉄道施設等応急対策計画</p>	

		<ul style="list-style-type: none"> ・各公共土木施設（水産庁所管海岸保全施設、漁港施設）に係る被害状況調査及び応急対策の実施 6 海上災害応急対策計画 ・所管漁港又は港湾に係る保全措置 ・在港船舶に対する災害の周知 ・災害防止のための応急措置 	
競馬改革推進室	1 他課等の応援に関すること。		
県産米戦略室	1 他課等の応援に関すること。		

備考 災害対策本部規程に定める「主な担当業務」の欄に「他課等の応援に関すること。」と記載されている課等が、大規模災害時において応援を行う課等は、『岩手県災害対策本部規程の運用について』（H24.3.30 付け総防第 1213 号県災害対策本部通知）により次表のとおりとされていること。

応援を実施する課等		応援を受ける課等	
部 局	所 属	部 局	所 属
農林水産部	団体指導課	保健福祉部	保健福祉企画室
	農業振興課	商工労働観光部	商工企画室
	農業普及技術課	ふるさと振興部	市町村課
	農村計画課	商工労働観光部	経営支援課
	農産園芸課	農林水産部	流通課
	森林整備課	保健福祉部	地域福祉課（災害ボランティアに関すること。）
	森林保全課	商工労働観光部	産業経済交流課
	漁港漁村課	商工労働観光部	産業経済交流課
	競馬改革推進室	ふるさと振興部	市町村課

2 広域振興局農林水産担当部等

広域振興局 農政（林）部 林務部 水産部 農林振興センター 農村整備センター 水産振興センター 農村整備室 林務室 林務出張所 家畜保健衛生所 漁業取締事務所 水産技術センター	1 本庁関係課又は農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命じられたこと。		
--	--	--	--

3 出先機関

病虫害防除所 生物学研究所 農業研究センター 林業技術センター 内水面水産技術センター 農業大学校 農業改良普及センター	1 農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命じられたこと。		
--	---	--	--

本庁各室課の長、広域振興局農林水産担当部等の長及び出先機関の長は、それぞれの業務について、実施マニュアルを作成しておくものとする。

VI 災害情報の収集・伝達及び応急対策

1 災害情報の収集・伝達

災害情報は次の種類別に区分される。

種類	内容	報告様式	伝達手段	伝達者
初期情報報告	災害発生直後にその概要を報告するとともに、災害応急対策の内容とその進捗状況について、逐次、報告するもの	岩手県地域防災計画（様式1）	原則として、インターネットや県情報通信基盤を使用した電子メール等によるものとし、防災行政情報通信ネットワーク衛星系等によるFAXはバックアップ用として利用するものとする。	市町村本部～地方支部～防災課
	災害の規模やその状況が判明するまでの間（災害発生初期）に、種類別に報告するもの	岩手県地域防災計画（様式F及び3、10～16）		市町村本部～地方支部～農林水産部～防災課
被害額等報告	被害額等が判明したときに、種類別に報告するもの	同上		市町村本部～地方支部～農林水産部～防災課
その他の報告	前記の報告以外で、必要な事項について報告するもの	任意様式		市町村本部～地方支部～農林水産部～防災課

※報告様式・・・農林水産部関係を掲載していること。

上記災害報告に関し、当部における具体的な情報伝達経路を次のとおりとする（体系は16頁）。

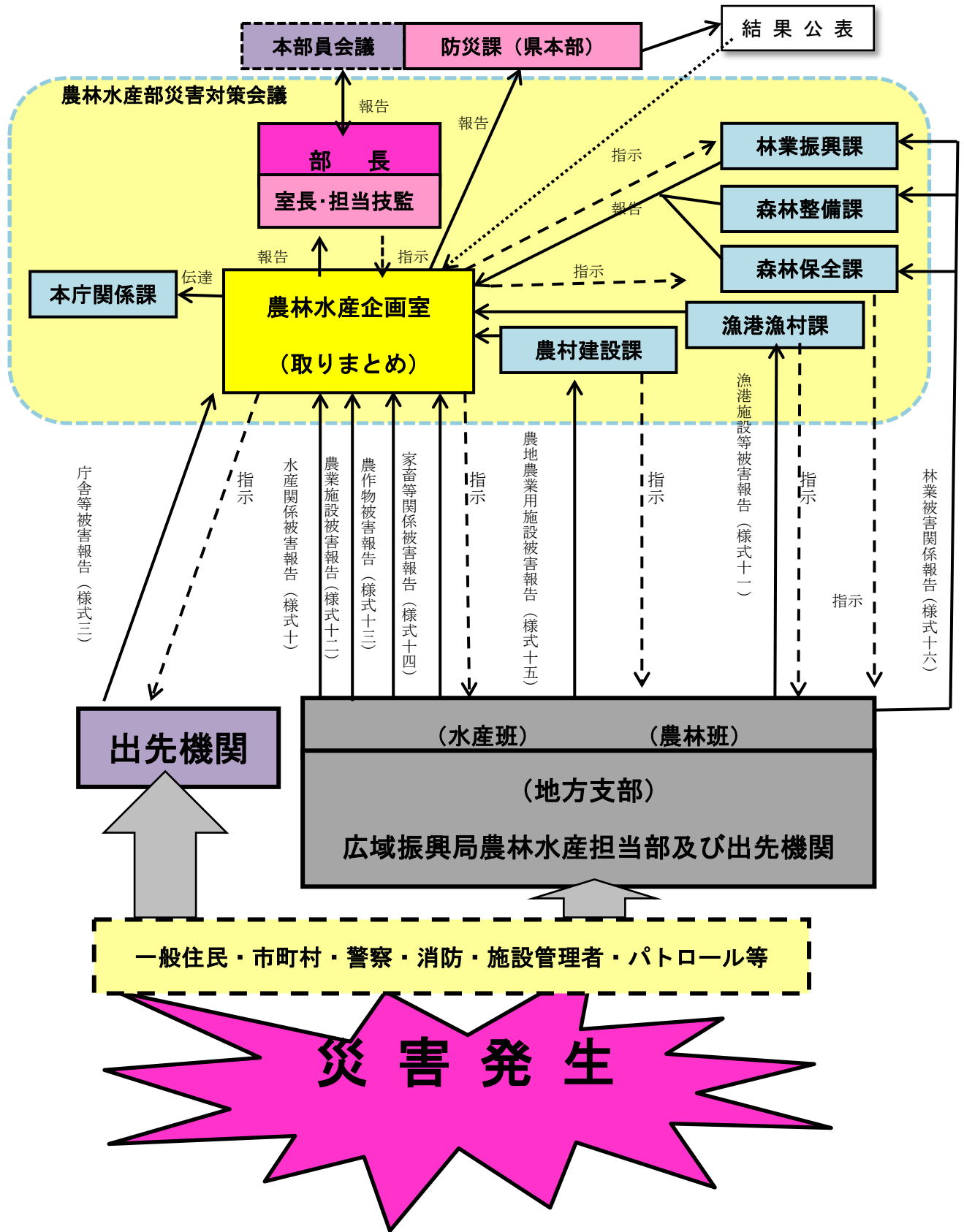
報告事項	報告様式	報告者	報告先	報告・伝達	最終報告先
庁舎等被害報告	様式 3	出先機関	農林水産 企画室	関係課に伝 達	農林水産 部長
農業施設被害報告	様式 12	市町村本部			
農作物等被害報告	様式 13	↓ 広域振興局 等（農林水 産担当部） 及び出先機 関			
家畜等関係被害報告	様式 14				
水産関係被害報告	様式 10				
農地農業用施設、農林水 産省農村振興局所管海岸 保全施設被害報告	様式 15	農林水産企 画室に報告	農林水産企 画室に報告	県災害対策 本部長（防 災課）	
林業関係被害報告 （林産・特用林産施設、 林産物（苗木以外））	様式 16				
林業関係被害報告 （作業道（県有林以外）、 苗畑施設、林産物（苗木）、 森林（国有林・県有林以 外））	様式 16				
林業関係被害報告 （治山施設、県有林関係、 林地荒廃、林道施設）	様式 16				
漁港施設等、水産庁所 管海岸保全施設被害報 告	様式 11				農村建設課
			林業振興課		
			森林整備課		
			森林保全課		
			漁港漁村課		

2 応急対策及び指示

- (1) 広域振興局農林水産担当部等の長及び出先機関の長は、所管施設等において災害が発生し又は発生するおそれがある場合は、速やかに所要の応急措置を講ずるものとする。
- (2) ただし、相当規模の災害等で、農林水産部長の指示を要すると認める場合にあっては、その指示に基づいて応急対策を講ずるものとする。

報告事項	報告様式	報告者	報告先	最終報告先
応急対策実施（又は部 長の指示確認）	別紙様式 1	広域振興局農林水 産担当部等及び出 先機関	農林水産企画室又は本 庁関係課（情報伝達と 同様）	農林水産部長

災害情報収集・報告区分別系統図



VII 農林水産部災害対策会議

災害対策の連絡調整及び重要事項を協議するため、部内に農林水産部災害対策会議を置き、その構成及び運営については、別途「農林水産部災害対策会議運営要領」で定める。

【会議の概要】

	内 容	備 考
構 成	部長、室長、担当技監、各課総括課長	状況に応じて、部長が指定した者によって開催できる
協議事項	1 災害情報 2 災害に関する予防措置の検討、諸計画の樹立 3 応急対策 4 応急対策に関する部内職員の配置及び応援職員の派遣 5 その他	
招 集	県災害対策本部設置基準に該当する災害が発生するおそれがある場合、又は発生した場合に部長が招集	
庶 務	農林水産企画室総務管理担当者	

【災害に応じた主な構成員】

災害の種類	主 な 構 成 員		
	緊急を要する場合 (警戒配備による招集課長等) ※ここでの課長は、総括課長（農林水産企画室の課長を除く。）をいう。	拡大構成員 ※左記に同じ。	その他
震度5強以上の地震	農林水産企画室長、担当技監、農林水産企画室課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	状況に応じて、部長が指定した者
津 波	農林水産企画室長、担当技監、農林水産企画室課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、水産振興課長、漁港漁村課長	農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
台 風	農林水産企画室長、担当技監、農林水産企画室課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	
大 雨	農林水産企画室長、担当技監、農林水産企画室課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
山 火 事	農林水産企画室長、担当技監、農林水産企画室課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長		
火 山 噴 火	農林水産企画室長、担当技監、農林水産企画室課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
その他の災害	状況に応じて、部長が指定した者		

※1 本表は、勤務時間外で、概ね災害直後に招集される会議を想定しているものであること。

※2 勤務時間内については、原則全構成員の対応となること。

※3 拡大構成員は、何らかの応急措置を伴う課（V分掌事務等参照）の長が対象となること。

Ⅷ その他関係事項

1 各所属等において措置すべき事項

対象者	措置すべき事項	措置する時期	備考
農林水産企画室長	農林水産部非常招集系統図作成	毎年度当初	本庁のみ
農林水産部長	本部連絡員の指名	毎年度当初	本庁のみ
部長 (広域振興局農林水産担当部等の長)	緊急初動要員の指名協議	毎年度当初	本庁及び広域振興局等
本庁各室課の長 広域振興局農林水産担当部等の長 出先機関の長	非常招集系統図(配備体制区分がわかるもの)作成	毎年度当初	農林水産企画室に提出
同上	各分掌事務に係る実施マニュアル及び職員の事務分担作成	毎年度当初	
同上	非常招集事務担当者の指名	毎年度当初	

農作物等気象災害防止対策本部設置要綱

(設置)

第1 岩手県地域防災計画（災害応急対策計画）に基づき、農作物等気象災害の未然防止及び災害が発生した場合における対策の迅速かつ適切な実施を図るため、農作物等気象災害防止対策本部（以下「本部」という。）を置く。

(所掌事務)

第2 本部は、次に掲げる事項に関し必要な調査及び連絡調整を行う。

- (1) 気象災害に係る情報の収集、広報及び啓発に関すること
- (2) 気象災害による農作物等被害の防止及び回復に関すること
- (3) 気象災害の発生に対処する農業経営安定化対策の推進に関すること
- (4) 関係機関及び関係団体との協調推進に関すること
- (5) その他必要な対策に関すること

(組織)

第3 本部は、本部長、副本部長及び委員をもって組織する。

- 2 本部長は農林水産部長を、副本部長は農林水産企画室長及び農政担当技監をもって充てる。
- 3 委員は別表1に掲げる職にある者をもって充てる。

(本部長及び副本部長)

第4 本部長は、部務を総理し、会議を主宰する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、本部長があらかじめ定める順序により、その職務を代理する。

(会議)

第5 本部の会議は、必要に応じて本部長が招集する。

- 2 災害発生時において、農林水産部災害対策実施マニュアルに基づく農林水産部災害対策会議（以下「対策会議」という。）が設置された場合には、本部協議事項は対策会議において協議する。

(幹事長及び幹事)

第6 本部に幹事長及び幹事を置く。

- 2 幹事長は、農林水産企画室企画課長をもって充てる。
- 3 幹事は、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 4 幹事長及び幹事は、本部の所掌事務につき委員を助ける。

(地方支部)

第7 広域振興局及び広域振興局農林振興センター（以下「広域振興局等」という。）の所管区域（別表3に掲げる区域をいう。）ごとに地方支部を置く。

- 2 地方支部の所掌事務及び会議の招集は、本部に準ずるものとする。
- 3 地方支部は、地方支部長、副地方支部長及び委員をもって組織する。
- 4 地方支部長は広域振興局等の農政部長、農林部長又は広域振興局農林振興センター所長をもって充て、副地方支部長は、盛岡広域振興局農政部にあっては農業振興室長、その他の広域振興局等の農政部、農林部及び農林振興センターにあっては農作物等気象災害防止対策の事務を所掌する課長及び所管区域を所掌する農業改良普及センターの所長をもって充てる。
- 5 委員は、地方支部長が関係出先機関の職員のうちから指名する者をもって充てる。
- 6 地方支部長及び副地方支部長については、第4の規定中、本部長にあっては地方支部長と、副本部長にあっては副地方支部長とそれぞれ読み替えて準用する。

(庶務)

第8 本部の庶務は、農林水産企画室において処理する。

(補則)

第9 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は本部長が定める。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

この要綱は、平成17年8月8日から施行する。

この要綱は、平成18年8月17日から施行する。

この要綱は、平成21年7月28日から施行する。

この要綱は、平成26年3月24日から施行する。

この要綱は、平成 27 年 7 月 2 日から施行する。

この要綱は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

別表 1（要綱第 3 関係）

職 名	
農林水産企画室	企画課長
団体指導課	総括課長
流通課	総括課長
農業振興課	総括課長
農業普及技術課	総括課長
農業普及技術課	農業革新支援課長
農村計画課	総括課長
農村建設課	総括課長
農産園芸課	総括課長
畜産課	総括課長
県産米戦略室	県産米戦略監

別表 2（要綱第 6 関係）

職 名	
農林水産企画室	主任主査
団体指導課	金融共済担当課長
流通課	6 次産業化推進担当課長
農業振興課	担い手対策課長
農業普及技術課	普及担当課長
農業普及技術課	農業革新支援担当課長
農村計画課	団体指導・国営担当課長
農村建設課	水利整備・管理担当課長
農産園芸課	水田農業課長
畜産課	畜政担当課長
県産米戦略室	主任主査

別表3 (要綱第7関係)

広域振興局等	所管区域
盛岡広域振興局	盛岡市、八幡平市、滝沢市、岩手郡、紫波郡
県南広域振興局	奥州市、胆沢郡
花巻農林振興センター	花巻市、北上市、和賀郡
遠野農林振興センター	遠野市
一関農林振興センター	一関市、西磐井郡
沿岸広域振興局	釜石市、上閉伊郡
宮古農林振興センター	宮古市、下閉伊郡（普代村を除く。）
大船渡農林振興センター	大船渡市、陸前高田市、気仙郡
県北広域振興局	久慈市、下閉伊郡のうち普代村、九戸郡（軽米町及び九戸村を除く。）
二戸農林振興センター	二戸市、九戸郡のうち軽米町及び九戸村、二戸郡

農業共済事業の種類と仕組み

1 制度共済（共済掛金国庫負担金対象）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
農作物共済	水稻 麦	気象災害（冷害・風水害・干害等）、病虫害、鳥獣害、火災 水稻の品質方式・麦の災害収入共済方式にあつては、上記事故による減収又は品質の低下を伴う生産金額の減少	・水稻及び麦の耕作面積の合計が10a以上	【一筆・半相殺・全相殺・地域インデックス方式】 共済金額（全損被害時に支払われる最高補償額）＝単位当補償金額×基準収穫量×補償割合（組合が事業規程に定める補償割合の中から組合員が選択した割合） 【水稻品質・麦災害収入共済方式】 基準生産金額の4～9割
	りんご ぶどう	【減収総合・地域インデックス・全相殺減収方式】 気象災害（冷害、風水害、干害等）、病虫害、鳥獣害、火災 【特定危険方式】 特定の事故のみの限定方式（暴風雨、降ひょう、凍傷、降霜） 【品質方式】 気象災害（冷害、風水害、干害等）、病虫害、鳥獣害、火災による減収・品質の低下	・栽培面積が類区分ごとに5a以上 【特定危険方式】 ・上記に加えて、20a以上の栽培面積で栽培経験5年以上	【半相殺・全相殺・樹園地単位・地域インデックス方式】 共済金額（全損被害時に支払われる最高補償額）＝単位当補償金額×標準収穫量×補償割合（組合が事業規程に定める最低割合～最高補償割合の中から組合員が選択した割合）
	大豆	・気象災害（冷害・風水害・干害等） ・病虫害、鳥獣害、火災	・栽培面積5a以上	【一筆方式】 耕地ごとの基準収穫量の7割×単位当補償金額 【半相殺・全相殺方式】 農家ごとの基準収穫量の6～8割（半相殺）または7～9割（全相殺）×単位当補償金額 【地域インデックス方式】 市町村ごとの基準収穫量の7～9割×単位当補償金額
	そば			【全相殺方式】 農家ごとの基準収穫量の6～8割×単位当補償金額 【地域インデックス方式】 市町村ごとの基準収穫量の7～9割×単位当補償金額
畑作物共済	ホップ			【全相殺方式】 農家ごとの基準収穫量の6～8割×単位当補償金額
	蚕繭 （春・初秋・晩秋）	蚕繭の桑葉 ・気象災害、病虫害、火災 蚕繭の蚕児 ・気象災害、病虫害、鳥獣害、火災	蚕種の掃立量 春蚕繭（1箱以上） 初秋蚕繭（0.5箱以上） 晩秋蚕繭（0.5箱以上）	【全相殺方式】 基準収繭量の6～8割×単位当補償金額（蚕期ごと（小蚕期ごと）に計算）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
家畜共済	牛 馬 豚	【死亡廃用共済】 死亡 廃用（牛の胎児・肉豚を除く） 【疾病傷害共済】 病傷	【死亡廃用共済】 ・搾乳牛、育成乳牛 ・繁殖用雌牛、育成・肥育牛 ・繁殖用雌馬、育成・肥育馬 【疾病傷害共済】 ・種豚、肉豚 ・乳用牛 ・肉用牛 ・一般馬 ・種豚	・共済価額×付保割合 （共済価額：家畜個体評価額の合計額、付保割合：2～8割（豚は4～8割）の間で選択） ・高被害率農家（死廃事故多発農家）には、共済金の支払いに一定の限度が設けられるが、火災や自然災害、伝染病による死廃事故の場合は限度適用前の共済金額の範囲内で支払われる。
園芸施設共済	プラスチックハウス・ガラス室・鉄骨ハウス	・気象災害（風水害、雪害、地震等） ・火災、破裂、爆発 ・航空機の墜落及び接触等 ・車両の衝突等 ・病虫害、鳥獣害	・組合員であり、ハウスを所有し農作物を栽培管理していること ・園芸施設共済のみで組合員となるには、0.5a以上のハウスを設置	・共済金額＝共済価額（施設時価額）×付保割合（40～80%の範囲で選択） ・付帯施設、施設内農作物、撤去費用、復旧費用については、本体の加入に合わせて、追加で選択加入可。

2 任意共済（共済掛金国庫負担金対象外）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
建物共済	建物 家具類 農機具	【火災共済】 ・火災、落雷、破裂・爆発、漏水（自然災害除く）、落下等、盗難に伴う汚損等 【総合共済】 ・火災共済に加え、風水害、雪害、地震、噴火、津波、土砂崩れ、地滑り	・所有又は管理している住宅、農作業場、畜舎等 ・上記住宅に收容されている家財 ・農作業場等に收容されている小農器具	共済期間：掛金納入日の午後4時から1年間（火災事故） ・一部損害の場合：加入額の比率（加入割合）によって支払。加入割合80%以上であれば損害額は加入共済金額を限度として全額補償。 損害共済金＝損害額×（加入共済金額／建物・家具類等の価額×加入割合）で算定される額 （風水害事故） ・損害の割合によって支払 ・損害額が再建築価額の5%又は1万円を超えた場合に支払 ・損害割合80%以上の場合 損害共済金＝損害額×（加入共済金額／建物価額）
農機具共済	農機具	【火災共済】 ・火災、落雷、鳥獣害、盗難、衝突等 【総合共済】 ・火災共済に加え、墜落、転覆、自然災害	・所有または管理している未使用の状態で購入した農機具 ・中古で購入した農機具は、特約を付けることにより加入可	共済期間：掛金納入日の午後4時から1年間 ・農機1台ごとに新調達価額の範囲内で、5～2,000万円まで加入できる。 ・共済金額＝損害額×（1-免責割合）×（加入共済金額／新品価格）で算定される額
保管中農産物補償共済	農産物	火災、自然災害、地震、盗難、加入者などが輸送中の事故	・農作物・果樹・畑作物共済に加入しているもの	・Aタイプ：加入者が選択した日から連続した120日を補償。1品目1口（100万円当たり）2,500円。 ・Bタイプ：加入者が選択した日から1年間を補償。1品目1口（100万円当たり）6,500円。 ・損害の額に相当する金額を共済金として支払う（地震等の場合は損害額の30%）。共済目的の種類ごとの共済金額が支払限度。

漁業共済事業の種類と仕組み

引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
漁獲共済	1号漁業	採貝採藻業のうちわかめこんぶあわび	【収穫高保険方式】 漁獲金額が不漁等により減少した場合の損失補償	【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに全員加入 【連合加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者がまとまって加入	【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式 【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補する方式 【支払上限付低事故てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式 【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震若しくは噴火又はこれらによる津波により操業の制限を受け、かつ、責任期間中の漁獲金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式 【地震等比例てん補付約定限度内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式
	2号漁業	漁船漁業 定置漁業		【義務加入】 漁協ごと・漁業区分ごとに全員加入 【連合加入】 漁協ごと・漁業区分ごとに漁業者がまとまって加入 【任意加入】 1人からでも加入できる	

引受対象	補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
特定養殖共済	<p>わかめ こんぶ ほたて貝 かき えぞいしかげ貝 ほや</p> <p>過去5年間の養殖単位当たり生産金額のうち最高と最低を除く3年平均</p> <p>× 契約年の養殖施設の台数、または幹縄の延長数</p> <p>× 一定割合(養殖種類ごとに一律)</p>	<p>【収穫高保険方式】</p> <p>生産金額が不作等により減少した場合の損失補償</p>	<p>【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに全員加入</p> <p>【連合加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者がまとまって加入</p> <p>【任意加入】 1人からでも加入できる</p>	<p>【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式</p> <p>【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補する方式</p> <p>【支払上限付低事故てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式</p> <p>【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震若しくは噴火又はこれらによる津波により操業の制限を受け、かつ、責任期間中の生産金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式</p> <p>【地震等比例てん補付約定限定内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式</p>

引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法	
漁業施設共済	漁具	定置網	新調価格 × 引受現存率	【物損保険方式】 漁業に供用中の 漁具・養殖施設 が受けた損害 (戦争、盗難等を 除く)を補償	【漁具】 定置網ごとに加入 【養殖施設】 水域ごと、養殖種類ごと、 個人ごとにすべての施設を 加入	【漁具】 【全損】 全部損害の場合に補償 【各網全損】 定置網を構成する網(垣網、囲い 網、箱網)ごとに全損の場合に補償 【各網分損】 定置網を構成する網(垣網、囲い 網、箱網)ごとに3割以上の損害の 場合に補償 【養殖施設】 【全損契約】 全部損害の場合に補償 【分損特約】 3割以上の損害の場合に補償 【地震等限定低てん補特約】 地震若しくは噴火又はこれらによ る津波が原因で損害が発生した場 合に補償 (地震等限定低てん補特約が付され ていない契約の2分の1を補償)
		はえ縄 いかだ 網いけす				
地域共済	休漁補償共済	漁船漁業 定置漁業	漁獲共済の 共済限度額 × 10% (漁獲共済 の共済限度 額×10%が 3千万円を 超える場合 は3千万円) または5% (漁獲共済 の共済限度 額×5%が1 千5百万円を 超える場合 は1千5百万 円)	漁船又は定置網 に生じた不慮の 事故によって、 当該漁業の操業 が10日以上制限 され、漁獲金額 が減少した場合 に補償。 また、漁船に生 じた不慮の事故 によって、代船 を借り上げて当 該漁業を操業し た場合に補償。	漁獲共済とのセット加入	【一般損害】 推定減収額の50% (3分の1のてん補特約が付されて いる場合は推定減収額の3分の1) 【費用損害】 代船の借上げに最低限必要な経費
		ほたて貝 かき ほや の種苗	特定養殖共 済の共済限 度額 × 20% (特定養殖 共済に加入 できない者 は、当該地域 の養殖業の 事情を勘案 して組合が 決める額)	地震若しくは噴 火又はこれらに よる津波により 養殖施設に垂下 している種苗が 被災した場合に 補償(漁業施設 共済で全損共済 金が支払われる 場合に限る)	特定養殖共済及び漁業施設 共済とのセット加入	【一般損害】 種苗が被災したことによる損害額 の80% (補償限度額が上限)

森林災害復旧造林事業と被害森林整備事業の概要

区分	森林災害復旧造林事業			特定森林再生事業（被害森林整備）		
根拠法	激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（激甚災害法）			森林法		
目的	激甚災害を受けた森林の復旧			気象害等の被害を受けた森林の復旧		
対象 災害の 範囲	激甚災害 国民経済に著しい影響を及ぼし、かつ、特別の助成等が特に必要と認められる災害で、政令で指定するもの			火災（山林火災）、気象災（風倒害、雪害等）、 病虫獣害等		
事業を 実施で きる地 域	農林水産大臣が告示する市町村 激甚災害による森林被害額が1,500万円以上で、かつ、要復旧面積が90ha以上の市町村 （激甚災害が暴風雨による場合） 森林被害額が4,500万円以上、かつ、要復旧面積が40ha以上の市町村			① 森林所有者の自助努力等によっては適切な整備が期待できない森林において、人工造林等を実施するため、事業主体が森林所有者等との協定を締結していること ② 1施行地の面積が0.1ha以上		
事業 内容	人工林被害跡地に おける被害木等の 伐採・搬出及び造林	倒伏した造 林木の引き こし	作業路 の開設	被害森林におけ る被害木等の伐 採・搬出及び人工 造林等	倒伏木の引 起こし	森林作業 道の開設 及び改良
事業 主体	都道府県、市町村、森林組合、生産森林組合、 森林組合連合会、任意団体等			都道府県、市町村、森林組合等、特定非営利 活動法人等、森林経営計画策定者（ただし、 事業主体が自ら所有する森林で実施する場合 を除く。）		
補助率	国：1／2、県：1／6			国：3／10、県：1／10 （査定係数 170）		
事業費 査定	あり			なし		

森林保険の制度と仕組み

引受対象	保険支払対象事故	加入方法（保険料）	補償方法
<p>人工林</p> <p>・樹種、林齢、面積等に制限なし。ただし、竹林や天然林は対象外</p>	<p>・火災</p> <p>・気象災害 (風害・水害・雪害・干害・凍害・潮害)</p> <p>・噴火災</p> <p>※地震、病虫獣害は対象外</p>	<p>・契約者が、付保率等を選択し、保険金額を設定</p> <p>・保険料は、設定した保険金額に対して保険料率（保険金額 1,000 円につき年間 2.02 円～5.36 円）を乗じて算出</p>	<p>保険金は、契約保険金額の範囲内で損害に応じて支払</p> <p>【保険金＝損害額×保険金額／保険価額】</p> <p>[保険金支払責任を負わない場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損害が保険契約者又は被保険者の故意又は重大な過失によって生じたとき ・保険契約者又は被保険者が、ご契約森林に損害が生じてからその通知をせずに3年（平成22年3月31日以前の契約については2年）経過したとき ・損害が戦争その他の変乱又は地震によって生じたとき ・保険金のお支払い額が1契約内訳当たり4,000円未満のとき <p>[支払対象とならない損害]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倒木起し等通常の林業的手段により復旧可能な損害 ・補植等の必要もなく、成林に支障のない程度の軽微な損害 ・立木の枯損の主たる原因が、適地適木の誤り若しくは苗木、植付、育林の不良等明らかに造林技術上の欠陥によるもの又は病虫獣害等によるものと認められる損害 ・1月～7月植えの場合は植栽年の12月末、8月～12月植えの場合は、植栽翌年の10月末までの間に活着不良等により通常生じる枯損による損害

農作物災害対策要綱

(昭和61年4月1日制定)

(平成8年3月25日一部改正)

(平成13年4月1日一部改正)

(平成17年9月6日一部改正)

(平成19年12月11日一部改正)

(平成28年12月2日一部改正)

(趣旨)

第1 この要綱は、暴風雨、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、低温、渇水、降ひょうその他の異常気象による災害（以下「気象災害」という。）による農作物の被害の未然防止並びに軽減、回復及び拡大防止のための対策を促進することにより、農作物の生産確保及び再生産を図り、もって農業経営及び農家生活の安定に資するために必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2 この要綱において、「対策」とは、気象災害による農作物の被害が生じた場合に農業協同組合、農業者が組織する団体等が実施する次に掲げる対策をいう。

- (1) 緊急病虫害防除対策
- (2) 播き直し、改植又は代作
- (3) 生育回復対策
- (4) 前3号に掲げる対策以外の対策で、農業経営の維持に必要なものとして知事が特に認める対策

(被害の把握等)

第3 県は、別に定める農業被害報告要領に基づきとりまとめた農業被害状況を第4に規定する助成の措置を実施する基礎とする。

(助成措置の適用)

第4 県は、原則として、次の各号の全てに該当する場合は、対策に要する経費に対し、助成する措置を講ずるものとする。

- (1) 2以上の市町村における農作物の被害額が1億円以上の場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (2) 被害率が31パーセント以上（第2第2号に掲げる対策を実施する場合にあっては、71パーセント以上）の農作物がある場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (3) 第2の各号に掲げる対策を実施することにより、気象災害による農作物の被害の未然防止又は軽減、回復若しくは拡大防止の効果が大きいと認められる場合
- (4) 気象災害の発生（発生が予測される場合を含む。）の都度、別に定める補助金交付要綱等に基づき交付される県の補助金の見込額が、1市町村1作目当たり15万円以上であり、かつ、1市町村における県の補助金の見込額が30万円以上となる場合

(対策の推進体制)

第5 第3に規定する被害の把握については農林水産企画室長が、第4に規定する助成の措置の適用については農産園芸課総括課長が所管する。

農作物災害復旧対策事業の実施状況（県単 昭和61年～令和元年被害（農作物被害額1億円以上））

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況					
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考
S61	8月4日～5日	台風10号	3,272.8	500,232	水稻	病虫害防除	1,272.6	8,336	2,775	一関市等6市町村
					大豆	代作	10.2	2,881	959	一関市等3市町村
					野菜	代作	3.9	1,175	391	川崎村
						生育回復	4.9	92	30	川崎村
					小計	8.8	1,267	421	7市町村	
	桑	生育回復	60.3	2,603	865	北上市等5市町村				
計	1,351.9	15,087	5,020	7市町村						
9月7日	降雹	112.5	100,740	果樹	病虫害防除	78.0	3,779	1,259	大東町	
年度計							1,429.9	18,866	6,279	
S62	5月6日	凍霜害	4,640.0	1,201,346	果樹	病虫害防除	551.9	14,798	4,851	盛岡市等14市町村
						生育回復	121.7	27,193	9,058	松尾村等9市町村
						小計	673.6	41,991	13,909	14市町村
					野菜	改植	10.0	2,961	986	滝沢村
						生育回復	232.2	5,445	1,792	葛巻町等15市町村
	葉たばこ	生育回復	1,547.1	5,828	1,902	大迫町等10市町村				
	計	2,462.9	56,225	18,589	25市町村					
	8月16日～18日	大雨洪水	3,670.5	678,589	水稻	病虫害防除	1,424.5	11,924	3,973	一関市等5市町村
						病虫害防除	2.1	11	3	藤沢町
					豆類	代作	2.8	596	198	藤沢町、川崎村
	小計	4.9	607	201		2町村				
	8月29日	大雨洪水	970.4	236,652	野菜	代作	39.6	8,394	2,794	岩手町、一関市、平泉町
						生育回復	5.5	59	19	川崎村
	9月22日	降雹	10,582.1	1,479,501	果樹	病虫害防除	139.0	4,355	1,440	紫波町等4市町村
						代作	3.2	689	224	紫波町
計					142.2	5,044	1,664	4市町村		
年度計							4,163.7	86,710	28,723	
S63	6月18日	降雹	221.0	110,806	野菜	病虫害防除	2.8	29	9	安代町
						改植	5.0	672	224	安代町
					果樹	病虫害防除	31.0	1,126	374	二戸市
						計	38.8	1,827	607	2市町村
	8月28日～31日	大雨	3,942.8	1,145,609	水稻	病虫害防除	435.9	2,812	935	胆沢町等5市町村
						病虫害防除	100.4	839	278	金ヶ崎町等4市町村
					大豆	代作	10.0	1,640	546	金ヶ崎町
						小計	110.4	2,479	824	4市町村
					野菜	病虫害防除	114.2	4,643	1,529	紫波町等5市町村
						代作	34.8	8,040	2,636	岩手町等5市町村
小計	149.0	12,683	4,165	6市町村						
桑	生育回復	52.0	2,398	798	川崎村、北上市					
計	747.3	20,372	6,722	11市町村						
夏期	低温・日照不足	95,026.0	30,127,805	別途対策事業を実施						
年度計							786.1	22,199	7,329	
H元	6月10日～11日	降霜	2,770.8	240,701	大豆	播き直し	64.0	1,814	604	軽米町、九戸村
						小豆	播き直し	6.4	156	52
					野菜	播き直し	54.2	8,344	2,764	二戸市等3市町村
						果樹	生育回復	9.0	177	59
					とうもろこし	播き直し	99.7	4,832	1,609	岩泉町等6市町村
	計	233.3	15,323	5,088	6市町村					
7～8月	少雨	1,799.4	309,224	水稻	病虫害防除	110.2	2,622	873	紫波町	
8月下旬～9月下旬	長雨	714.8	401,839		揚水機購入	61団地	23,079	7,617	紫波町等4市町村	
				計	110.2	25,701	8,490	4市町村		
年度計							529.0	45,947	15,201	
H2	7月24日	降雹	351.8	276,326	レタス	病虫害防除	80.7	2,553	850	川井村、一戸町
						代作	13.3	4,112	1,369	川井村、一戸町
					小計	94.0	6,665	2,219	2町村	
	キャベツ	病虫害防除	10.0	161	53	一戸町				
		計	104.0	6,826	2,272	2町村				
	8月26日	降雹	810.9	277,266	りんご	病虫害防除	57.0	2,056	684	東和町、北上市
	9月19日～20日	台風19号	4,489.2	671,624	だいこん	病虫害防除	2.0	23	7	紫波町
						代作	8.0	1,031	343	紫波町
					小計	10.0	1,054	350		
					ねぎ	病虫害防除	2.0	17	5	花巻市
						代作	2.0	258	85	花巻市
					小計	4.0	275	90		
					ほうれんそう	播き直し	4.9	631	210	遠野市、宮守村
					ブロッコリー	病虫害防除	4.0	28	9	花巻市
						代作	4.0	515	171	花巻市
小計					8.0	543	180			
レタス	代作	3.0	386	128	遠野市					
ごぼう	代作	2.0	258	85	花巻市					
わさび	植え直し	0.3	2,039	679	宮守村					
計	32.2	5,186	1,722	4市町村						
年度計							193.2	14,068	4,678	

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
H3	8月30日～31日	台風14号	357.3	104,153	りんどう	改植	0.8	2,080	665	安代町	
	9月27日～28日	台風19号	5,875.2	2,418,472	ほうれんそう	播き直し	67.6	9,118	3,013	岩手町等7市町村	
					りんご	病害虫防除	842.7	31,930	10,575	盛岡市等15市町村	
						改植	3,300本	3,400	1,131	盛岡市等5市町村	
	計						842.7	35,330	11,706	15市町村	
夏期	長雨・日照不足・低温	100,360.6	25,761,883	別途対策事業を実施							
年度計							911.1	46,528	15,384		
H4	6月14日	降雹	445.7	144,624	りんご	病害虫防除	30.0	534	178	盛岡市	
年度計							30.0	534	178		
H5	7月28日～29日	大雨洪水	311.5	112,727	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
夏期	異常低温・日照不足	141,252.0	102,690,977	別途対策事業を実施							
H6	6月17日	降雹	112.8	105,419	レタス	病害虫防除	24.8	521	173	岩手町、一戸町	
						改植・代作	11.6	4,593	1,531	岩手町、一戸町	
						計	36.4	5,114	1,704	2町	
	7月～8月	高温乾燥・少雨	49,533.0	4,372,730	レタス	改植・代作	27.8	14,695	4,894	岩手町、遠野市、一戸町	
						だいこん	改植・代作	10.0	1,249	416	岩手町
						キャベツ	改植・代作	5.0	1,874	624	一戸町
						はくさい	改植・代作	2.0	626	208	一戸町
						さといも	改植・代作	23.0	14,924	4,974	北上市
						牧草	改植・代作	20.0	694	197	金ヶ崎町
	計	87.8	34,062	11,313	5市町村						
9月30日	台風26号	2,824.4	155,193	農作物災害復旧対策事業は実施せず							
年度計							124.2	39,176	13,017		
H7	8月2日～7日	大雨洪水	2,784.9	1,338,377	水稻	病害虫防除	1,295.0	15,214	5,056	一関市等4市町村	
	11月7日～9日	暴風雪	1,010.0	293,169	りんご	病害虫防除	23.0	464	154	大東町	
						改植	7.3	6,825	2,272	盛岡市、紫波町、石鳥谷町	
						小計	30.3	7,289	2,426	4市町村	
	ぶどう	改植	23.0	8,580	2,764	紫波町、石鳥谷町、大迫町					
		ぶどう棚復旧	37.1	53,069	17,688	紫波町、石鳥谷町、大迫町					
		小計	60.1	61,649	20,452	3市町村					
計	90.4	68,938	22,878	5市町村							
年度計							1,385.4	84,152	27,934		
H10	5月11日	凍霜害	158.7	142,760	ぶどう	薬剤散布	51.5	3,491	1,163	紫波町、大迫町	
	8月26日～9月1日	大雨洪水	2,821.7	1,261,302		雨よけ被覆	6.9	30,101	10,033	紫波町、大迫町	
						改植	1,949本	3,306	1,102	紫波町、大迫町	
						計	58.4	36,898	12,298	2町	
	9月15日～16日	台風5号	850.5	235,454	りんご	病害虫防除	42.6	2,057	685	藤沢町、田野畑村	
計	47.2	4,782	1,593	2町村							
年度計							1,825.4	58,728	19,570		
H11	7月12日～14日	大雨	705.0	115,411	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	7月下旬～8月中旬	高温乾燥	5,988.1	552,407	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	10月27日～28日	大雨	920.5	217,022	りんどう	改植	0.6	4,365	1,455	軽米町、九戸村	
					スプレーギク	改植	0.1	601	200	九戸村	
計	0.7	4,966	1,655	2町村							
年度計						0.7	4,966	1,655			
H12	7月4日	降雹	180.1	100,900	葉たばこ	代作	1.5	1,898	632	宮守村	
7月8日～9日	台風3号	3,061.8	545,492	農作物災害復旧対策事業は実施せず							
年度計							1.5	1,898	632		
H13	4月下旬	凍霜害	1,959.7	1,883,809	キャベツ	改植	8.8	3,129	1,042	岩手町、西根町	
						病害虫防除	613.2	43,202	14,388	二戸市等13市町村	
						代作	0.9	1,164	387	二戸市	
						花粉購入	7.8	157	51	滝沢村、江刺市、軽米町	
						小計	621.9	44,523	14,826	13市町村	
	おうとう	病害虫防除	9.2	1,304	434	二戸市、一戸町					
	西洋なし	病害虫防除	57.5	4,517	1,503	紫波町等4市町村					
計	697.4	53,473	17,805	14市町村							
8月30日～31日	大雨洪水	1,615.6	173,156	農作物災害復旧対策事業は実施せず							
年度計							697.4	53,473	17,805		
H14	7月10日～11日	台風6号	7,274.9	1,381,338	きゅうり	緊急薬剤散布	1.03	19	6	北上市	
						播き直し	0.07	134	45	北上市	
						ごぼう	代作(キャベツ)	0.6	450	150	北上市
						スイートコーン	代作(キャベツ)	0.87	648	216	北上市
						水稻	緊急薬剤散布	314.7	4,160	1,385	川崎村、藤沢町、東山町
	計	317.27	5,411	1,802							
	8月	長雨・日照不足	1,467.5	686,136	レタス	緊急薬剤散布	164.0	9,871	3,290	一戸町、岩手町	
						キャベツ	緊急薬剤散布	33.0	791	263	一戸町、岩手町
						だいこん	緊急薬剤散布	28.18	1,285	428	川井村
						計	225.18	11,947	3,981		
年度計							542.45	17,358	5,783		
H15	6月下旬以降	低温・日照不足	95,685.6	32,906,921	水稻	緊急薬剤散布	1,889.4	10,889	3,625	滝沢村等6市町村	
						代作	10.9	7,928	2,637	雫石町等6市町村	
						計	1,900.3	18,817	6,262		
年度計							1,900.3	18,817	6,262		

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
H16	4月下旬～5月上旬	凍霜害	532.6	115,327	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	8月20日	台風15号	1,758.8	392,461	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	8月31日	台風16号	1,042.4	209,739	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	9月30日	台風21号	522.7	100,785	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	9月～11月	降雨による品質低下	3,018.6	363,914	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							0.0	0	0		
H17	4月以降	豪雪	970.0	562,000	水稲	生育回復	6.5	1,391	463	沢内村	
					りんどう	生育回復	17.5	826	275	沢内村	
	年度計							24.0	2,217	738	
H18	6月22日	降雹	68.7	192,883	りんご	緊急薬剤散布	35.0	3,282	1,094	北上市、奥州市(江刺区)	
						生育回復対策	35.0	388	129	北上市、奥州市(江刺区)	
	年度計							70.0	3,670	1,223	
H19	6月6～8日	降雹	108.7	127,976	りんご	緊急薬剤散布	29.3	584	194	二戸市	
						生育回復対策	29.3	269	89	二戸市	
					おうとう	緊急薬剤散布	2.5	363	121	二戸市	
						生育回復対策	2.5	103	34	二戸市	
	年度計							63.6	1,319	438	
9月17～20日	大雨・洪水	2,975.0	620,553	りんどう	改植	1.0	3,601	1,200	八幡平市、奥州市衣川区		
				大豆	代作	76.8	8,263	2,750	一関市、平泉町		
				飼料用稲	代替粗飼料確保	28.2	8,958	2,984	一関市、平泉町		
				年度計			106.0	20,822	6,934		
年度計							169.6	22,141	7,372		
H20	4～5月	低温	186.1	110,481	りんご	緊急薬剤散布	20.5	857	285	軽米町	
						生育回復対策	20.5	1,405	468	軽米町	
					加工もも	生育回復対策	16.5	986	329	軽米町	
年度計							57.5	3,248	1,082		
H21	7月10日、13日	強風	134.2	113,632	ホップ	緊急薬剤散布	30.0	1,003	334	遠野市	
						生育回復対策	30.0	456	152	遠野市	
	年度計							60.0	1,459	486	
	10月8日	台風18号	1,114.33	387,157	りんご	改植	0.279	1,494	498	江刺市	
緊急薬剤散布						29.79	669	223	江刺市		
年度計							30.069	2,163	721		
年度計							90.069	3,622	1,207		
H22	7月8日、17～25日	降雹・大雨	273.0	197,391	キャベツ	緊急薬剤散布	5.85	289	96	岩手町	
						まき直し	6.00	2,038	679	岩手町	
						改植	4.00	2,335	778	岩手町	
						代作(大根)	4.47	1,014	337	岩手町	
	7月から8月	暑熱	630.9	498,018	ほうれんそう	まき直し	15.80	2,921	950	岩手町	
年度計							43.01	10,160	3,360		
H23	9月21～22日	台風15号	2,174.0	417,985	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							0.0	0	0		
H24	6月4日、6日	降雹	60.0	150,454	りんご	緊急薬剤散布	50.0	1,713	571	一関市	
						生育回復対策	45.5	701	234	一関市	
	年度計							95.5	2,414	805	
H25	6月8日～8月9日	大雨・洪水	2,589.9	723,914	果菜・葉菜	播き直し等	25.4	8,274	2,758	盛岡市他3町	
						花き	播き直し等	3.6	13,621	4,540	雫石町他2町
					畜産	菌床の更新	90.1	1,174	391	雫石町	
						代替粗飼料の購入	40.6	12,786	4,262	雫石町他2町	
	年度計							159.8	35,855	11,952	
年度計							159.8	35,855	14,765		
H27	10月1日～2日	大雨・暴風	227.3	123,923	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							0.0	0	0		
H28	8月30日～31日	台風10号	981.0	577,670	ほうれんそう	播き直し	1.1	968	317	洋野町	
					畑わさび	播き直し	16.0	2,395	798	岩泉町	
					畜産	代替粗飼料の購入	27.3	19,367	6,444	久慈市他3市町	
	年度計							44.4	22,730	7,559	
年度計							44.4	22,730	7,559		
H29	9月17日～18日	台風18号	993.2	595,337	畜産	代替粗飼料の購入	81.3	57,036	19,005	花巻市他6市町	
年度計							81.3	57,036	19,005		
R1	10月12日～13日	台風19号	1088.4	404,013	畜産	代替粗飼料の購入	36.7	5,705	1,901	一関市他2町	
							年度計				

1億円以上の被害額となった災害：60災害（S61～H30） ※平成8、9、26、30年には1億円以上の被害額となった災害は発生していない。
うち農作物災害復旧対策事業を実施した災害：43災害

平成元年以降の農林水産業気象災害

(単位：千円)

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
H元	1月24日～27日にかけての波浪災害													37,430	37,430	37,430
	2月26日大雪災害		4,395		4,395						15,300				15,300	19,695
	3月21日～22日にかけての波浪災害									200	8,180	12,355	390,918	26,888	438,541	438,541
	4月8日～9日及び11日～12日にかけての大雨等災害	1,001	129	265,000	266,130	104,484			104,484							370,614
	5月14日～15日にかけての強風災害	650			650											650
	5月15日の降雹災害	9,110			9,110											9,110
	6月3日の降雹災害	3,434			3,434											3,434
	6月10日～11日にかけての降霜災害	240,701			240,701											240,701
	7月～8月にかけての少雨による被害	468,709			468,709											468,709
	8月15日～16日にかけての台風14号による波浪災害										11,250				11,250	11,250
	8月27日～28日にかけての台風17号による大雨洪水等災害	56,414	7,172	607,000	670,586	19,498			19,498		2,630		800		3,430	693,514
	8月下旬～9月下旬にかけての長雨による被害	401,839			401,839	80,000			80,000							481,839
	9月4日～5日にかけての大雨災害					3,883			3,883							3,883
	9月5日～8日にかけての大雨洪水等災害	26,013		665,000	691,013	50,000			50,000							741,013
	9月9日～10日にかけての大雨洪水災害			41,000	41,000	1,379			1,379							42,379
	11月2日の地震、波浪災害			131,000	131,000						1,300	40	3,175		4,515	135,515
12月15日～16日にかけての波浪災害										1,730				1,730	1,730	
H2	4月8日～9日にかけての強風災害		8,559		8,559											8,559
	4月15日～16日にかけての降雪災害	278	5,647		5,925											5,925
	4月22日～23日にかけての大雨洪水災害	5,194		587,000	592,194	108,404			108,404				300		300	700,898
	5月25日の凍霜災害	80,209			80,209											80,209
	6月21日～22日にかけての豪雨災害			20,000	20,000											20,000
	6月26日～28日にかけての豪雨災害	2,145		263,000	265,145											265,145
	7月4日～5日にかけての豪雨災害			21,000	21,000											21,000
	7月17日～19日にかけての大雨洪水災害	23,117		312,000	335,117	30,157		1,799	31,956							367,073
	7月24日の降雹等災害	276,326	550	18,000	294,876											294,876
	7月25日～26日にかけての豪雨災害			59,000	59,000											59,000
	8月10日～11日にかけての台風11号による大雨等災害	14,003	3,119	111,000	128,122	18,186			18,186	18,820					18,820	165,128
	8月16日～18日にかけての豪雨災害			327,000	327,000											327,000
	8月26日の降雹等災害	277,266	5,812		283,078											283,078
	9月3日の豪雨災害			39,000	39,000											39,000
	9月11日～12日にかけての豪雨災害			121,000	121,000											121,000
	9月19日～20日にかけての台風19号による大雨等災害	671,624	1,568	2,930,000	3,603,192	400,461		100,320	500,781	22,080	65,428	8,400	13,095		109,003	4,212,976
	10月24日の波浪災害									3,080	146,031	3,300	7,320		159,731	159,731
	10月26日～27日にかけての大雨等災害	20,209		905,000	925,209	295,380		26,402	321,782							1,246,991
	11月4日～5日にかけての大雨洪水等災害	99,507	13,332	3,747,000	3,859,839	1,794,597	6,172	381,635	2,182,404	10,518	134,530	43,174	187,116	720,267	1,095,605	7,137,848
	11月11日～12日にかけての強風災害	13,994			13,994											13,994
11月30日～12月1日にかけての台風28号から変わった温帯低気圧による大雨等災害		4,404	3,000	7,404					3,820	31,940	18,435	84,744		138,939	146,343	
H3	1月19日の波浪災害										2,600				2,600	2,600
	2月15日～17日にかけての低気圧災害	24,089	48,692	10,000	82,781			2,954,892	2,954,892	483,419	391,886	554,518	3,586,701	2,781,730	7,798,254	10,835,927
	2月28日～3月1日にかけての強風災害	8,437	21,105		29,542											29,542
	3月6日～7日にかけての強風災害		1,690		1,690											1,690

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
H16	8月8日降雹災害	763			763											763
	8月9日大雨災害			16,000	16,000											16,000
	8月20日台風15号災害	392,461	81,398		473,859					2,781	1,943				4,724	478,583
	8月31日台風16号災害	209,739	19,254		228,993					2,113	1,900	1,260	3,660		8,933	237,926
	7月1日～8月31日高温被害	94,626			94,626											94,626
	9月8日台風18号災害	87,312	26,993		114,305					1,004					1,004	115,309
	9月21日～22日大雨被害			28,000	28,000											28,000
	9月30日台風21号災害	100,785	27,286	1,836,000	1,964,071	316,236		800	317,036	6,127	2,100				8,227	2,289,334
	10月10日台風22号災害	1,011	491		1,502											1,502
	11月27日強風災害	12,998	146,165		159,163	9,015		3,681	12,696	3,899	6,760	34,119	55,150	2,400	102,328	274,187
	9月～11月降雨による品質低下減収被害	363,914			363,914											
H17	1月17日大雪・波浪災害	71	220		291			543	543	2,773	49,270	12,347	46,760	539,300	650,450	651,284
	平成16年末からの積雪による被害	13,171	90,357		103,528			2,863	2,863							106,391
	4月7日強風災害		4,795		4,795											4,795
	4月7日落雷災害			2,000	2,000											2,000
	4月29日・5月1日強風災害		1,645		1,645											1,645
	5月19日強風災害		130		130											130
	5月20日地すべり災害					98,115			98,115							98,115
	5月27日落雷災害			8,000	8,000											8,000
	6月4日大雨災害	1,438			1,438											1,438
	6月11日大雨災害					224		42	266							266
	6月19日・20日降雹災害	93,263			93,263											93,263
	6月27日大雨災害	140		119,000	119,140											119,140
	7月26日台風7号災害		20		20	9,937			9,937			1,560			1,560	11,517
	7月31日大雨災害			3,000	3,000											3,000
	8月の高温災害	22,583			22,583											22,583
	8月14日～15日大雨災害			5,000	5,000	57,900		162	58,062							63,062
	8月16日地震災害		4,000	22,000	26,000	1,006	3,000		4,006	90					90	30,096
	8月20日降雹災害	1,864			1,864											1,864
	8月21日落雷災害			3,000	3,000											3,000
	8月23日落雷災害		50		50											50
	8月22～23日大雨災害			11,000	11,000	4,161			4,161							15,161
	9月7日台風14号災害	9,723	848		10,571	4,100		137	4,237							14,808
	10月22日から23日大雨及び低気圧災害			9,000	9,000					50	100				150	9,150
11月8日強風災害		50		50											50	
11月15日地震災害			16,000	16,000											16,000	
12月20日強風災害		100		100											100	
H18	平成18年豪雪災害	17,227	505,764	13,000	535,991	5,039	500	234,538	240,077							776,068
	2月の低温災害			36,000	36,000											36,000
	3月20日強風災害		18,787		18,787											18,787
	4月11日地すべり災害					10,000			10,000							10,000
	4月21日地すべり災害					9,724			9,724							9,724
	5月16日落雷災害			3,000	3,000											3,000

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
H20	7月24日の岩手県沿岸北部を震源とする地震	1,810	29,203	65,000	96,013	25,061		419,086	444,147	10,662		100		7,750	18,512	558,672
	7月27日から29日の大雨災害	1,830		143,000	144,830	21,000			21,000							165,830
	8月21日から22日の大雨災害							90,745	90,745							90,745
	8月23日から25日の大雨災害			69,000	69,000											69,000
	8月28日から31日の大雨災害			241,000	241,000	1,506		162,800	164,306							405,306
	7月から8月の暑熱災害	14,903			14,903											14,903
	9月12日の大雨災害			6,000	6,000											6,000
	10月24日の大雨災害							101,019	101,019							101,019
	11月3日から8日の強風災害	64,860	2,511		67,371											67,371
	11月28日の強風災害		192		192											192
	H21	1月9日から11日にかけての低気圧接近による災害		4,221		4,221	3,300			3,300	200	4,905	4,536	18,380	20,583	48,604
1月30日から31日にかけての暴風雪災害			763		763					270		300			570	1,333
2月7日の強風災害			105		105											105
2月14日の強風災害		7	9,803		9,810											9,810
2月20日から21日にかけての暴風雪災害			2,842		2,842											2,842
3月7日の強風災害			696		696											696
3月10日の強風災害			774		774											774
3月23日の強風災害			882		882											882
3月30日の融雪災害						6,500			6,500							6,500
4月21日から22日にかけての大雨災害						4,900			4,900							4,900
4月23日の強風災害			28		28											28
4月25日から26日にかけての強風、波浪災害											4,407	4,660		700	9,767	9,767
4月25日から27日にかけての大雨災害				10,000	10,000			224	224							10,224
4月から5月にかけての降雹災害		16,199			16,199											16,199
5月17日から18日にかけての強風災害			5,064		5,064						800	50			850	5,914
6月5日から7日にかけての大雨災害				1,000	1,000	18,305			18,305					1,500	1,500	20,805
7月10日から13日にかけての強風災害		111,054	10,355		121,409											121,409
7月19日の大雨災害				8,000	8,000	75,800			75,800							83,800
7月26日の大雨災害				2,000	2,000											2,000
8月31日から9月2日にかけての台風11号による災害			79		79			40,000	40,000							40,079
10月8日から9日にかけての台風18号による災害		387,157	59,641	117,000	563,798	35,233		321,811	357,044	3,701	703,880	1,460	642	37,020	746,703	1,667,545
11月15日の強風災害		440		440											440	
12月7日の強風災害		327		327											327	
H22	1月1日から2日にかけての暴風雪、波浪災害	29	1,081		1,110						100				100	1,210
	1月13日の大雪災害		17,760		17,760											17,760
	2月28日の津波災害									1,800		656,379	1,157,146		1,815,325	1,815,325
	3月10日から11日にかけての大雪災害	805	72,867		73,672			200	200		900				900	74,772
	3月13日から14日にかけての強風災害		739		739											739
	3月21日の強風災害	83	4,638		4,721											4,721
	4月13日から14日にかけての強風災害	97	7,613		7,710											7,710
	4月21日から25日にかけての強風災害		320		320											320
	4月28日から29日にかけての大雨災害			2,000	2,000	16,152		41,180	57,332	1,200	1,100			5,020	7,320	66,652
5月24日から25日にかけての大雨災害					14,700		2,000	16,700							16,700	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
H23	9月4日の台風12号による災害		100		100											100
	9月21日から22日にかけての台風15号による災害	429,985	19,527	1,278,000	1,727,512	318,994	2,300	663,962	985,256	10,281	175,630		15,315	12,700	213,926	2,926,694
	12月3日から4日にかけての強風、波浪災害	831	29,858		30,689						500				500	31,189
H24	1月29日の波浪災害										3,950			391,010	394,960	394,960
	3月12日の大雪災害	24	25,039		25,063											25,063
	4月3日から4日の暴風・波浪災害	1,672	279,838		281,510	17,946	1,360	859	20,165	3,400	14,150	35,734	50,880	1,197	105,361	407,036
	5月3日から4日の大雨災害	477	30	132,000	132,507	206,060		70,650	276,710		1,102	37,937	234,480	4,900	278,419	687,636
	5月6日の降雹災害	4,329	131		4,460											4,460
	5月11日から12日の波浪災害										1,000				1,000	1,000
	5月28日の降雹災害	2,102			2,102											2,102
	6月4日の降雹災害	144,684		9,000	153,684											153,684
	6月6日の降雹災害	5,770			5,770											5,770
	6月7日の波浪災害										2,200				2,200	2,200
	6月20日の台風4号災害	4,932	340		5,272						600				600	5,872
	7月16日の大雨災害			15,000	15,000											15,000
	9月4日の大雨災害			5,000	5,000											5,000
	9月25日の降雹災害	15,272			15,272											15,272
	7月から9月の暑熱・少雨災害	102,808			102,808											102,808
	10月1日の台風17号災害	1,668	120	15,000	16,788	64,000		18	64,018		1,130				1,130	81,936
	11月26日から27日の強風災害	5,024	2,987		8,011											8,011
12月4日の大雨・降雹・波浪災害	788	50		838			40,000	40,000		1,000				1,000	41,838	
H25	1月25日から26日の大雪災害		1,500		1,500											1,500
	3月2日の暴風雪災害		1,786		1,786											1,786
	3月10日の暴風雪災害		20,959		20,959											20,959
	4月6日から8日の暴風雨災害	53	18,444		18,497	17,900			17,900	10,420	17,730	8,100	77,802	93,880	207,932	244,329
	5月8日の低温被害	925			925											925
	6月7日の降雹被害	499			499											499
	6月14日の少雨高温被害	28,924			28,924											28,924
	6月25日の降雹災害	20,286			20,286											20,286
	7月15日の大雨災害	25,170		42,000	67,170											67,170
	7月26日から28日の大雨・洪水災害	108,705	6,480	1,969,000	2,084,185	297,118	2,126	486,617	785,861		150			3,500	3,650	2,873,696
	8月9日の大雨洪水災害	597,212	12,642	5,298,000	5,907,854	763,328	2,600	2,273,533	3,039,461							8,947,315
	9月16日の台風18号災害	337,329	119,808	2,785,000	3,242,137	184,350		253,916	438,266	40,100	2,130	100	17,450	100	59,880	3,740,283
	10月16日の台風26号災害	309,785	71,840	48,000	429,625	12,821			12,821	15,940	506,727	7,334	125,312	826,630	1,481,943	1,924,389
	10月26日から27日の大雨災害													350	350	350
11月7日の強風災害	4,326	200		4,526											4,526	
12月15日の強風災害		100		100											100	
12月20日から21日の暴風雪災害										19,370	1,570		500	21,440	21,440	
H26	2月9日の大雪・波浪災害	3,181	166,223		169,404											169,404
	2月15日から16日の大雪・暴風雪・波浪災害	5,316	1,425,105		1,430,421	29,743		8,592	38,335	840	2,310	6,201	265,051	180,300	454,702	1,923,458
	3月20日から21日の大雪・暴風雪・波浪災害	442	101,037		101,479			5,564	5,564		10,981				10,981	118,024
	3月30日の暴風雪災害		120		120						600	310	1,490		2,400	2,520

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
H26	4月3日チリ地震により発生した津波災害												7,000		7,000	7,000
	4月20日の降雹災害	10,379			10,379											10,379
	5月29日の降雹災害	11,713			11,713											11,713
	6月16日の降雹災害	7,158			7,158											7,158
	7月11日の台風8号大雨災害			5,000	5,000											5,000
	8月8日の大雨災害	52			52											52
	8月10日から11日の台風11号大雨災害	48,153	2,670	13,000	63,823	1,200			1,200		1,501				1,501	66,524
	8月15日の大雨災害	137		20,000	20,137			23,000	23,000							43,137
	8月22日の大雨・降雹災害	404	120	1,000	1,524											1,524
	9月12日の降雹災害	18,230	4,000		22,230											22,230
	10月6日の台風18号災害										1,000	50	1,705		2,755	2,755
	10月14日の台風19号災害	84,406	3,688	5,000	93,094	4,000		4,000	8,000		300	398	13,754		14,452	115,546
	10月17日の強風災害	48,569	1,347		49,916											49,916
	11月2日から3日の強風災害	6,385	20		6,405											6,405
	12月3日の降雪災害		25,993		25,993											25,993
	12月17日の暴風雪災害		2,620		2,620						2,046				2,046	4,666
H27	1月7日の暴風雪災害		3,372		3,372						1,000				1,000	4,372
	2月13日の暴風雪災害	574	19,550		20,124											20,124
	3月9日から11日の大雨暴風雪災害	22	9,436	23,000	32,458	7,300			7,300		1,686			1,600	3,286	43,044
	5月13日の地震災害		500	9,000	9,500	1,400			1,400							10,900
	5月14日、17日の強風災害		342		342											342
	6月4日の強風災害	807			807											807
	6月6日の降雹災害	18,672			18,672											18,672
	6月14日の降雹災害	43,899			43,899											43,899
	6月16日の大雨・降雹災害	43,717		10,000	53,717											53,717
	6月20日の落雷災害			10,000	10,000											10,000
	6月27日から28日の大雨・波浪災害			2,000	2,000	31,500			31,500				46,300		46,300	79,800
	7月25日の大雨災害	2,889		24,000	26,889											26,889
	9月10日から11日の大雨災害	12,276	300	314,000	326,576	68,650		106,000	174,650	268	1,000				1,268	502,494
	9月18日の大雨災害	95			95											95
	4月～9月の暑熱災害	48,050			48,050											48,050
	10月1日から2日の大雨災害	123,923	4,024		127,947											127,947
	10月8日の台風23号災害	36,446	7,157		43,603					28,161	1,650	1,800	54,462	786,430	872,503	916,106
	11月27日の強風災害		160		160											160
11月の暑熱災害	690			690											690	
H28	1月18日から21日の暴風雪・波浪災害	2,847	124,305		127,152		66,118	66,118	22,915	41,965	34,192	579,562	5,538,647	6,217,281	6,410,551	
	2月14日の強風災害	129	2,018		2,147											2,147
	4月17日の強風災害	41	108,245		108,286	342			342	4,300				4,300	112,928	
	5月4日から5日及び8日の強風災害		7,874		7,874											7,874
	6月20日の落雷・波浪災害、竜巻災害	1	10		11							12			12	23
	7月3日の強風災害	453			453											453
	8月2日から3日の大雨災害	391		16,000	16,391											16,391
	8月9日の台風第5号災害									100	2,250	1,100	30,890	18,040	52,380	52,380

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
	5月2日の強風災害		400		400											400
R元	5月11日の降霜災害	56			56											56
	6月1日の降雹災害	363			363											363
	6月5日の降雹・落雷災害	4,902		2,000	6,902											6,902
	6月15日から16日の豪雨災害			3,000	3,000											3,000
	6月22日から23日の豪雨災害	32		467,000	467,032											467,032
	8月27日から28日の豪雨災害	3		2,000	2,003	62,030		100	62,130					13,230	13,230	77,363
	10月4日の豪雨災害					2,500			2,500							2,500
	10月12日から13日の台風第19号災害	437,654	194,024	1,343,000	1,974,678	1,602,071	2,139	3,386,261	4,990,471	771,606	295,932	24,663	178,056	1,428,395	2,698,652	9,663,801
	10月25日の台風第21号災害									50	11,400	1,400	30		12,880	12,880
	12月27日の降雪災害		30,000		30,000											30,000
	12月31日の暴風雪災害		60		60											60

1 全災害のうち、被害額の大きい順 (単位:千円)

順	年	災 害 名	被害額計
1	H23	3月11日の東日本大震災津波	663,321,169
2	H5	異常低温・日照不足等による災害	102,690,977
3	H28	8月30日の台風第10号災害	33,555,456
4	H15	6月下旬以降の異常気象に伴う農作物被害	32,906,921
5	H3	長雨、日照不足、低温による災害	25,761,883
6	H14	台風6号による災害	18,275,300
7	H11	10月27日～28日の大雨による災害	13,626,009
8	H3	2月15日～17日にかけての低気圧災害	10,835,927
9	H20	6月14日の平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震	10,618,956
10	R元	10月12日から13日の台風第19号災害	9,663,801

2 大雨・台風等災害のうち、被害額の大きい順 (単位:千円)

順	年	災 害 名	被害額計
1	H28	8月30日の台風第10号災害	33,555,456
2	H3	長雨、日照不足、低温による災害	25,761,883
3	H14	台風6号による災害	18,275,300
4	H11	10月27日～28日の大雨による災害	13,626,009
5	R元	10月12日から13日の台風第19号災害	9,663,801
6	H25	8月9日の大雨洪水災害	8,947,315
7	H10	8月26日～9月1日の大雨洪水による災害	8,613,398
8	H18	10月6日から8日の低気圧による大雨、暴風、高波災害	8,492,826
9	H2	11月4日～5日にかけての大雨洪水等災害	7,137,848
10	H6	9月18日～22日の台風24号による波浪災害	5,310,727

3 大雪等災害のうち、被害額の大きい順 (単位:千円)

順	年	災 害 名	被害額計
1	H3	2月15日～17日にかけての低気圧災害	10,835,927
2	H23	12月30日から1月2日にかけての大雪、暴風、波浪災害	7,570,483
3	H28	1月18日から21日の暴風雪・波浪災害	6,410,551
4	H15	3月7日から10日の暴風雪、大雪及び波浪による災害	4,726,357
5	H14	1月27日～28日にかけての暴風雪による災害	3,690,969
6	H26	2月15日から16日の大雪・暴風雪・波浪災害	1,923,458
7	H22	12月22日から23日にかけての大雨、暴風、波浪、大雪災害	1,458,232
8	H18	平成18年豪雪災害	776,068
9	H7	11月7日～9日の暴風雪・波浪による災害	417,258
10	H9	1月6日～7日にかけての大雪災害	301,084

4 地震・津波災害のうち、被害額の大きい順 (単位:千円)

順	年	災 害 名	被害額計
1	H23	3月11日の東日本大震災津波	663,321,169
2	H20	6月14日の平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震	10,618,956
3	H10	9月3日の内陸北部地震による災害	4,719,667
4	H15	5月26日に発生した三陸南地震(震度6弱)による被害	1,943,800
5	H22	2月28日の津波災害	1,815,325
6	H6	10月4日の北海道東方沖地震津波による災害	1,238,240
7	H20	7月24日の岩手県沿岸北部を震源とする地震	558,672
8	H15	平成15年十勝沖地震に伴う津波被害	433,502
9	H元	11月2日の地震、波浪災害	135,515
10	H7	1月7日の地震による災害	120,325

5 干害等災害のうち、被害額の大きい順 (単位:千円)

順	年	災 害 名	被害額計
1	H6	7月～8月の高温乾燥と少雨による災害	4,541,905
2	H11	7月下旬～8月中旬の高温乾燥による災害	677,408
3	H22	6月から8月にかけての暑熱災害	550,893
4	H元	7月～8月にかけての少雨による被害	468,709
5	H12	7月下旬～8月中旬の高温による災害	186,950
6	H24	7月から9月の暑熱・少雨災害	102,808
7	H16	7月1日～8月31日高温被害	94,626
8	H27	4月～9月の暑熱災害	48,050
9	H23	7月から9月にかけての暑熱災害	30,652
10	H13	7月下旬の高温による災害	30,063

6 冷害災害のうち、被害額の大きい順 (単位:千円)

順	年	災 害 名	被害額計
1	H5	異常低温・日照不足等による災害	102,690,977
2	H15	6月下旬以降の異常気象に伴う農作物被害	32,906,921
3	H13	1月18日～4月9日の低温による災害	199,000
4	H13	9月22日～23日の低温・降霜による災害	99,945
5	H14	11月の低温による災害	5,184
6	H28	11月25日の低温災害	1,609

7 降霜等災害のうち、被害額の大きい順 (単位:千円)

順	年	災 害 名	被害額計
1	H13	4月下旬の低温・降雹による災害	1,883,809
2	H元	6月10日～11日にかけての降霜災害	240,701
3	H16	4月～5月降霜被害	115,327
4	H20	4月から5月の降霜災害	110,481
5	H13	9月22日～23日の低温・降霜による災害	99,945
6	H14	4月下旬～5月上旬にかけての降霜による災害	97,363
7	H2	5月25日の凍霜災害	80,209
8	H15	4月下旬から5月上旬にかけての降霜災害	21,152
9	R元	4月20日の降霜災害	10,838
10	H22	5月31日の降霜災害	1,211

8 降雹等災害のうち、被害額の大きい順 (単位:千円)

順	年	災 害 名	被害額計
1	H13	4月下旬の低温・降雹による災害	1,883,809
2	H2	7月24日の降雹等災害	294,876
3	H2	8月26日の降雹等災害	283,078
4	H18	6月22日降雹災害	192,883
5	H24	6月4日の降雹災害	153,684
6	H4	6月14日の降雹災害	144,624
7	H10	5月11日の降雹による災害	142,760
8	H22	7月8日の降雹災害	142,571
9	H19	6月6日から8日の降雹災害	128,246
10	H9	6月23日の雷雨と降雹による災害	109,105